SC-S70650
SC-S50650
SC-S30650

ユーザーズガイド

本製品の基本的な操作方法、日常お使いいただく上で必要な事項などを説明しています。

NPD4674-02 JA

商標

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

インクカートリッジは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

もくじ

操作パネルのメニューの使い方 86

困ったときは 101

付録 111

ご使用の前に

マニュアルの種類と使い方

マニュアルの構成

本製品には以下のマニュアルが付属しています。
PDF マニュアルは、本製品付属のソフトウェアディスクに収録されています。PDF マニュアルは、Adobe Reader やプレビュー（Mac OS X）などでご覧ください。

セットアップガイド（冊子）	本機を箱から取り出した以降から、本機を使用可能にするまでの作業を説明しています。作業を安全に行うために、必ずご覧ください。
ユーザーズガイド（本書）	本機の基本的な操作方法や日常お使いいただく上で必要な事項、メンテナンス作業、困ったときの対処方法などを説明しています。
ネットワークガイド（PDF）	ネットワークプリンターとして使用するための情報を記載しています。

製品マニュアルの最新版 PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。
http://www.epson.jp/support/

マークの意味

安全に関するマーク

マニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

!重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足説明や参考情報を記載しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。参照先が青字で記載されているときは、青字の部分をクリックすると該当のページが表示されます。
[プリンター設定]	操作パネルやコンピューターの画面に表示される文字列は[ ]で囲んで示します。
【OK】ボタン	操作パネルのボタン名称を示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なることがあります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となることがありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 7 の画面を使用しています。

掲載イラスト

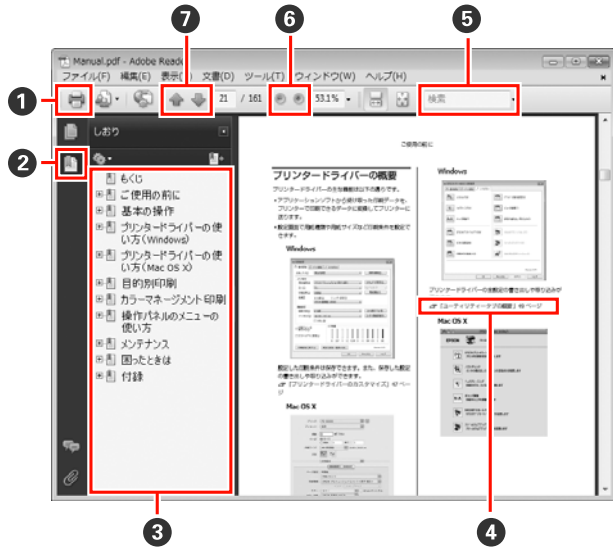
本書に掲載するイラストは、特に指定がない限り SC-S30650 を使用しています。

OS の表記

Windows の表記

Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows XP」、「Windows Vista」、「Windows 7」と表記しています。またこれらの総称として「Windows」を使用しています。

PDF マニュアルの見方

Adobe Reader で PDF マニュアルを見る際の基本的な操作を Adobe Reader9 で表示したときを例に説明します。

❶ PDF マニュアルを印刷するときにクリックします。

❷ クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。

❸ タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。

❹ 参照先が青字で記載されているときは、青字の部分をクリックすると該当のページが表示されます。
元のページに戻るときは、以下のように行います。
Windows の場合
【Alt】キーを押したまま【←】キーを押します。
Mac OS X の場合
［表示］メニュー-［移動］-［前の画面］の順でクリックします。

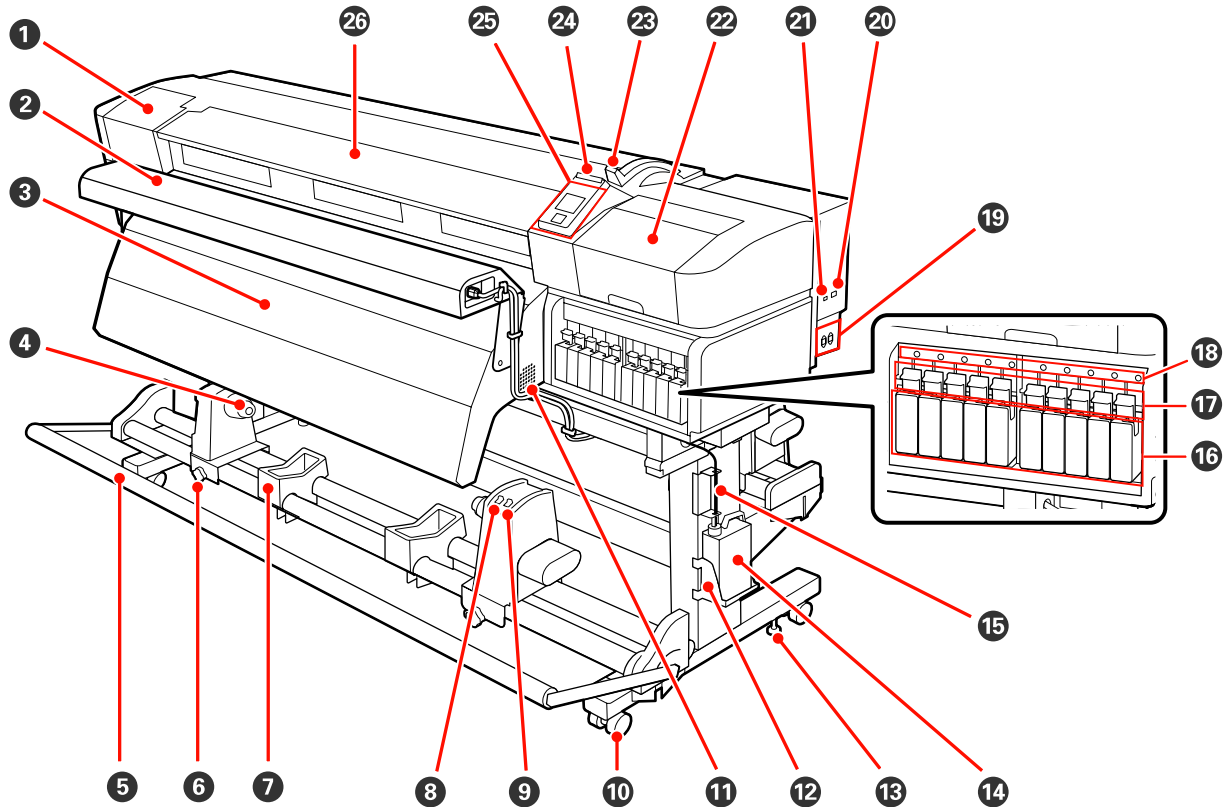
❺ 確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。

❻ 表示中の文字が小さくて見えにくいときは をクリックすると拡大します。 をクリックすると縮小します。イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。
Windows の場合
PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで［マーキーズーム］を選択します。ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇所を範囲指定します。
Mac OS X の場合
【Command】キーを押したまま【スペース】キーを押すとポインターが虫眼鏡に変わります。そのまま虫眼鏡のポインターで拡大したい箇所を範囲指定します。

❼ 前ページ/次ページを表示します。

各部の名称と働き

正面（SC-S70650、SC-S50650）

SC-S50650 のイラストで説明します。

❶ **メンテナンスカバー（左）**

プリントヘッドを清掃するときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。

☞「プリントヘッド周辺の清掃」74 ページ

❷ **外付け乾燥ファンユニット**

印刷後のインクをすばやく乾かすことができます。SC-S70650 ではオプションです。

☞『外付け乾燥ファンユニットセットアップガイド』（冊子）

❸ **アフターヒーター**

印刷後のインクをすばやく乾かすことができます。

☞「ヒーター/乾燥設定」56 ページ

❹ **紙管ホルダー**

メディア巻き取り用の使用済みの紙管を装着します。左右両側にあります。

☞「メディアの取り付けと巻き取り」49 ページ

❺ **テンショナー**

メディアを巻き取るとき、メディアがたるまないように張りを保ちます。

❻ **紙管ホルダー固定ネジ**

紙管を紙管ホルダーに装着後、このネジで紙管ホルダーを固定します。左右両側にあります。

❼ **ロールサポート**

巻き取り終わったメディアを取り外す作業中に一旦メディアを置く台です。左右両側にあります。

❽ **Auto スイッチ**

自動巻き取りの方向を設定するスイッチです。Off にすると巻き取りません。

❾ **Manual スイッチ**

手動巻き取りの方向を設定するスイッチです。Auto スイッチが Off のときに機能します。

❿ **キャスター**

左右の脚部に、2 つずつ付いています。本機を設置後は前面のキャスターを常にロックした状態でお使いください。

⑪ 通風口

内部の空気を排出します。通風口を塞がないでください。

⑫ 廃インクボトルホルダー

廃インクボトルをここに設置します。

⑬ 固定具

本機を固定するときに使います。本機を設置後は、確実に固定した状態でお使いください。

⑭ 廃インクボトル

廃インクをためる容器です。
廃インクがボトルのラインの付近までたまったら、新しい廃インクボトルと交換してください。

⑮ 廃インクチューブ

このチューブから廃インクが排出されます。チューブの先を必ず廃インクボトルに入れた状態でお使いください。

⑯ インクカートリッジ/代替カートリッジ

選択するカラーモードによりセット数が異なります。
SC-S70650：8 色、10 色
SC-S50650：4 色、5 色
8 色または 4 色を選択したときは代替カートリッジも使用して、全スロットにカートリッジを装着してください。

⑰ ロックレバー

インクカートリッジを取り外すときは、ロックレバーを上げてロックを解除します。インクカートリッジ装着後は、ロックレバーを下げてロックします。

⑱ カートリッジチェックランプ

インクカートリッジにエラーが発生すると点灯します。

点灯	：	エラーが生じています。エラーの内容は操作パネルの画面で確認できます。
消灯	：	問題ありません。

⑲ 電源コネクター#1/電源コネクター#2

電源コードを接続します。必ず両方とも接続してください。

⑳ LAN ポート

☞「LAN ポート」14 ページ

㉑ USB ポート

USB ケーブルを接続します。

㉒ メンテナンスカバー（右）

定期メンテナンスをするときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。

☞「定期メンテナンス」71 ページ

㉓ メディアセットレバー

メディアをセット後に、メディアセットレバーを下げてメディアを押さえます。メディアを取り外すときは、メディアセットレバーを上げてメディアを解放します。

㉔ 大型アラートランプ

エラーが発生すると点灯/点滅します。

点灯/点滅	：	エラーが生じています。点灯/点滅はエラーの内容によって異なります。エラーの内容は操作パネルの画面で確認できます。
消灯	：	問題ありません。

㉕ 操作パネル

☞「操作パネル」15 ページ

㉖ 前面カバー

メディアのセットや内部の清掃、メディア詰まり時に開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。

正面（SC-S30650）

❶ **メンテナンスカバー（左）**
プリントヘッドを清掃するときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。
☞「プリントヘッド周辺の清掃」74 ページ

❷ **アフターヒーター**
印刷後のインクをすばやく乾かすことができます。
☞「ヒーター/乾燥設定」56 ページ

❸ **紙管ホルダー**
メディア巻き取り用の使用済みの紙管を装着します。左右両側にあります。
☞「メディアの取り付けと巻き取り」49 ページ

❹ **テンショナー**
メディアを巻き取るとき、メディアがたるまないように張りを保ちます。

❺ **紙管ホルダー固定ネジ**
紙管を紙管ホルダーに装着後、このネジで紙管ホルダーを固定します。左右両側にあります。

❻ **ロールサポート**
巻き取り終わったメディアを取り外す作業中に一旦メディアを置く台です。左右両側にあります。

❼ **Auto スイッチ**
自動巻き取りの方向を設定するスイッチです。Off にすると巻き取りません。

❽ **Manual スイッチ**
手動巻き取りの方向を設定するスイッチです。Auto スイッチが Off のときに機能します。

❾ **キャスター**
左右の脚部に、2 つずつ付いています。本機を設置後は前面のキャスターを常にロックした状態でお使いください。

❿ **通風口**
内部の空気を排出します。通風口を塞がないでください。

⓫ **廃インクボトルホルダー**
廃インクボトルをここに設置します。

⓬ **固定具**
本機を固定するときに使います。本機を設置後は、確実に固定した状態でお使いください。

⑬ 廃インクボトル
廃インクをためる容器です。
廃インクがボトルのラインの付近までたまったら、新しい廃インクボトルと交換してください。

⑭ 廃インクチューブ
このチューブから廃インクが排出されます。チューブの先を必ず廃インクボトルに入れた状態でお使いください。

⑮ インクカートリッジ
インクカートリッジは、全スロットに装着してください。

⑯ ロックレバー
インクカートリッジを取り外すときは、ロックレバーを上げてロックを解除します。インクカートリッジ装着後は、ロックレバーを下げてロックします。

⑰ カートリッジチェックランプ
インクカートリッジにエラーが発生すると点灯します。

点灯 ： エラーが生じています。エラーの内容は操作パネルの画面で確認できます。

消灯 ： 問題ありません。

⑱ 電源コネクター#1/電源コネクター#2
電源コードを接続します。必ず両方とも接続してください。

⑲ LAN ポート
☞「LAN ポート」14 ページ

⑳ USB ポート
USB ケーブルを接続します。

㉑ メンテナンスカバー（右）
定期メンテナンスをするときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。
☞「定期メンテナンス」71 ページ

㉒ メディアセットレバー
メディアをセット後に、メディアセットレバーを下げてメディアを押さえます。メディアを取り外すときは、メディアセットレバーを上げてメディアを解放します。

㉓ 大型アラートランプ
エラーが発生すると点灯/点滅します。

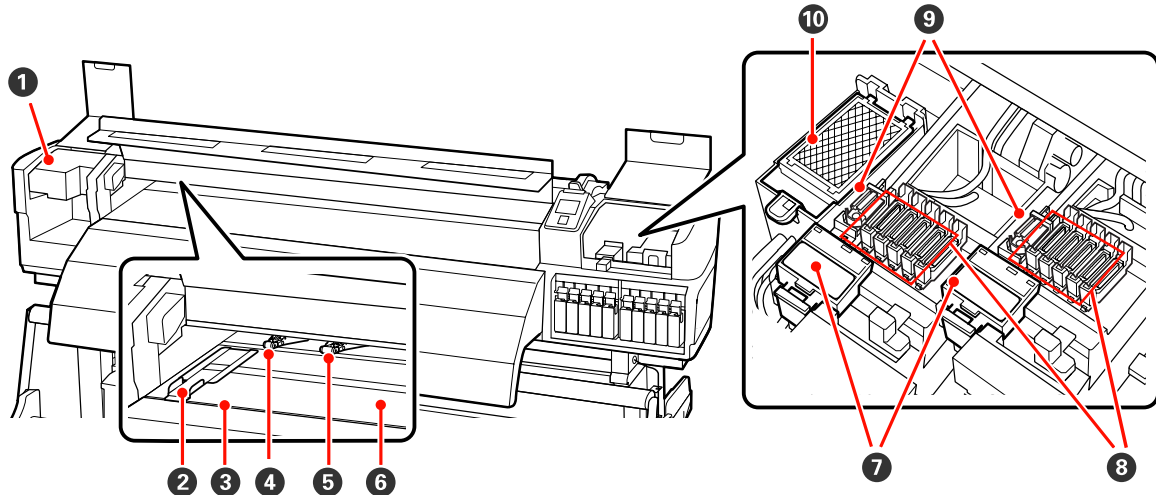
点灯/点滅 ： エラーが生じています。点灯/点滅はエラーの内容によって異なります。エラーの内容は操作パネルの画面で確認できます。

消灯 ： 問題ありません。

㉔ 操作パネル
☞「操作パネル」15 ページ

㉕ 前面カバー
メディアのセットや内部の清掃、メディア詰まり時に開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。

内部（SC-S70650、SC-S50650）

以下の各部位が汚れると、良好な印刷結果が得られません。各項目に記載の参照ページをご覧になり、定期的に清掃や交換をしてください。SC-S70650 のイラストで説明します。

❶ **プリントヘッド**

左右に移動しながらインクを吐出して印刷します。左側が Head1、右側が Head2 になります。週に 1 度、清掃することをお勧めします。

☞「プリントヘッド周辺の清掃」74 ページ

❷ **メディア押さえ板**

メディアの浮き上がりやメディア裁断面の毛羽がプリントヘッドに触れるのを防ぎます。メディアの左右端に取り付けて印刷します。

☞「メディアのセット方法（SC-S70650、SC-S50650 の場合）」27 ページ

❸ **カッター溝**

メディアをカットするとき、この溝に沿って市販のカッターの刃を移動してカットします。

❹ **加圧ローラー（強）**

10 個あるローラーの内、両端の 2 つになります。レイヤー印刷時にメディアの両端を上から押さえます。

☞「プラテンヒーター・加圧ローラー・メディア押さえ板の清掃」67 ページ

レイヤー印刷 ☞「高画質印刷」18 ページ

❺ **加圧ローラー（弱）**

10 個あるローラーの内、両端の 2 つを除いたローラーになります。通常の印刷時（レイヤー印刷以外）にメディアを上から押さえます。メディアの幅により使用する個数が異なります。

☞「プラテンヒーター・加圧ローラー・メディア押さえ板の清掃」67 ページ

❻ **プラテンヒーター**

インクの定着を安定させます。

☞「ヒーター/乾燥設定」56 ページ

☞「プラテンヒーター・加圧ローラー・メディア押さえ板の清掃」67 ページ

❼ **ワイパークリーナー**

ワイパーに付いたインクを拭き取ります。ワイパークリーナーは消耗品です。6 ヵ月に 1 度を目安に交換してください。

☞「ワイパークリーナーとワイパーの交換」79 ページ

❽ **キャップ**

印刷時を除き、このキャップでプリントヘッドのノズルを塞いで乾燥を防ぎます。週に 1 度、清掃することをお勧めします。

☞「定期清掃の方法」73 ページ

❾ **ワイパー**

プリントヘッドのノズルに付いたインクを拭き取ります。週に 1 度、清掃することをお勧めします。ワイパーは消耗品です。6 ヵ月に 1 度を目安に交換してください。

☞「定期清掃の方法」73 ページ

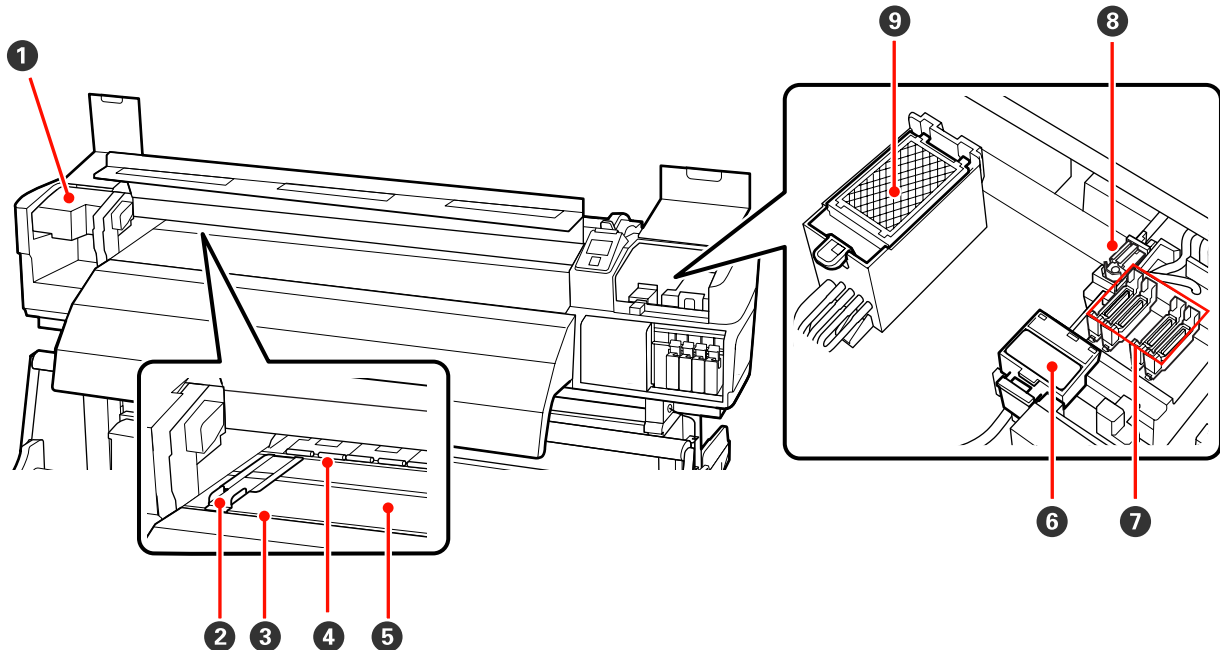
☞「ワイパークリーナーとワイパーの交換」79 ページ

❿ **フラッシング用吸収材**

フラッシング時にインクがここに排出されます。フラッシング用吸収材は消耗品です。6 ヵ月に 1 度を目安に交換してください。

☞「フラッシング用吸収材の交換」80 ページ

内部（SC-S30650）

以下の各部位が汚れると、良好な印刷結果が得られません。各項目に記載の参照ページをご覧になり、定期的に清掃や交換をしてください。

❶ プリントヘッド

左右に移動しながらインクを吐出して印刷します。週に 1 度、清掃することをお勧めします。

☞「プリントヘッド周辺の清掃」74 ページ

❷ メディア押さえ板

メディアの浮き上がりやメディア裁断面の毛羽がプリントヘッドに触れるのを防ぎます。メディアの左右端に取り付けて印刷します。

☞「メディアのセット方法（SC-S30650 の場合）」36 ページ

❸ カッター溝

メディアをカットするとき、この溝に沿って市販のカッターの刃を移動してカットします。

❹ 加圧ローラー

印刷時にメディアを上から押さえます。

☞「プラテンヒーター・加圧ローラー・メディア押さえ板の清掃」67 ページ

❺ プラテンヒーター

インクの定着を安定させます。

☞「ヒーター/乾燥設定」56 ページ
☞「プラテンヒーター・加圧ローラー・メディア押さえ板の清掃」67 ページ

❻ ワイパークリーナー

ワイパーに付いたインクを拭き取ります。ワイパークリーナーは消耗品です。6 ヵ月に 1 度を目安に交換してください。

☞「ワイパークリーナーとワイパーの交換」79 ページ

❼ キャップ

印刷時を除き、このキャップでプリントヘッドのノズルを塞いで乾燥を防ぎます。週に 1 度、清掃することをお勧めします。

☞「定期清掃の方法」73 ページ

❽ ワイパー

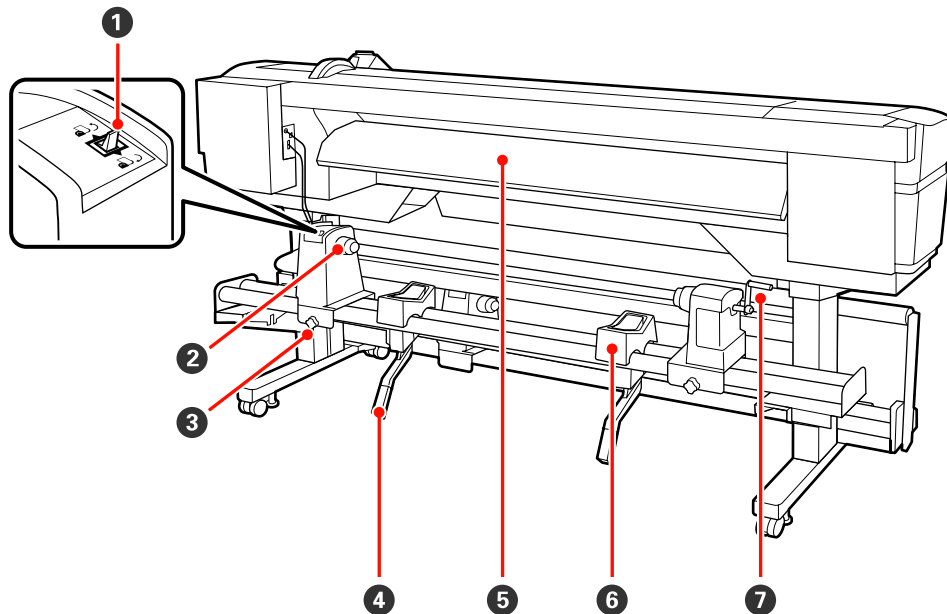
プリントヘッドのノズルに付いたインクを拭き取ります。週に 1 度、清掃することをお勧めします。ワイパーは消耗品です。6 ヵ月に 1 度を目安に交換してください。

☞「定期清掃の方法」73 ページ
☞「ワイパークリーナーとワイパーの交換」79 ページ

❾ フラッシング用吸収材

フラッシング時にインクがここに排出されます。フラッシング用吸収材は消耗品です。6 ヵ月に 1 度を目安に交換してください。

☞「フラッシング用吸収材の交換」80 ページ

背面

❶ **駆動スイッチ**
メディアセット時にメディアを送ったり、メディア交換時に巻き戻したりできます。

❷ **ロールホルダー**
メディアを装着します。左右両側にあります。

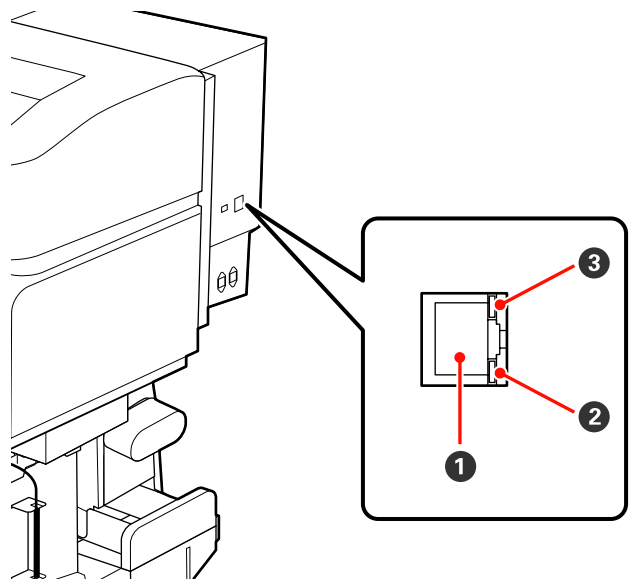
❸ **ロールホルダー固定ネジ**
メディアをロールホルダーに装着後、このネジでロールホルダーを固定します。左右両側にあります。

❹ **リフトレバー**
メディアをロールホルダーに装着する際に重いと感じるときは、このレバーを使うと負担なくメディアをロールホルダーの位置まで持ち上げられます。左右両側にあります。

❺ **プリヒーター**
印刷前にメディアを予熱して、印刷部が急激に温度変化しないようにします。

❻ **ロールサポート**
メディアをロールホルダーに装着するとき、一旦ここに置いてから装着作業をします。左右両側にあります。

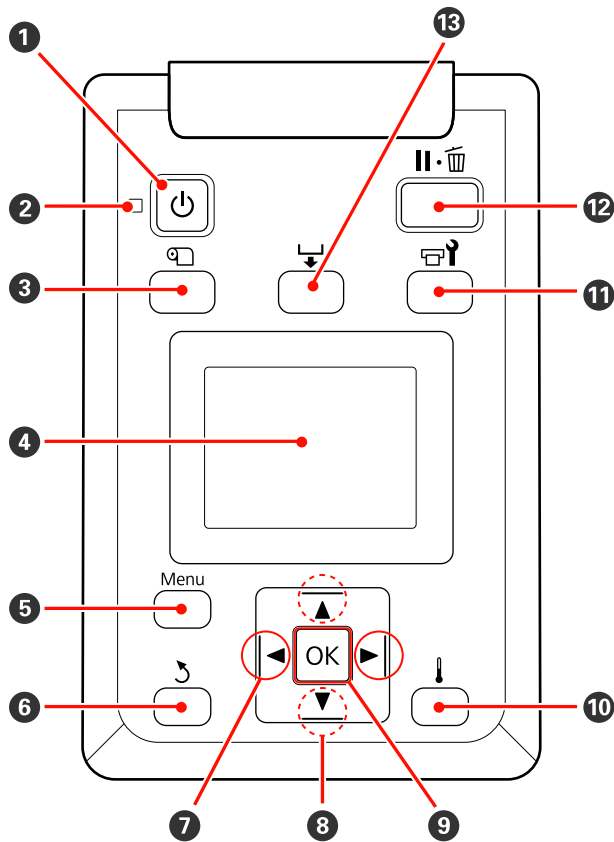
❼ **ハンドル**
メディアを右側のロールホルダーに装着後、ハンドルを回すとロールホルダーが押し込まれメディアの紙管に加圧します。

LAN ポート

❶ **RJ-45 コネクター**
LAN ケーブルを接続します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5 以上）を使用してください。

❷ **データランプ**
接続状態またはデータの受信状態を示します。

❸ **ステータスランプ（緑/赤）**
ネットワークの速度を示します。

データランプ	ステータスランプ（緑／赤）	状態
点灯	緑点灯	1000Base-T で接続されている状態
点滅		1000Base-T でデータ受信中
点灯	赤点灯	100Base-TX で接続されている状態
点滅		100Base-TX でデータ受信

操作パネル

❶ 【⏻】ボタン（電源ボタン）

本機の電源を入れたり、切ったりします。

❷ ⏻ランプ（電源ランプ）

本機の動作状態が点灯/点滅で示されます。

点灯　：電源が入っています。

点滅　：データ受信中または本機の電源を切る、ヘッドクリーニングなどの処理中です。

消灯　：電源が入っていません。

❸ 【】ボタン(メディア管理ボタン)

画面にメディア管理メニューが表示され、［メディア残量管理］や［メディア選択］、［メディア設定変更］、［設定内容の印刷］が行えます。印刷中に押したときは、動作しません。

☞「メディア管理メニュー」91 ページ

❹ 画面

本機の状態やメニュー、エラーメッセージなどが表示されます。☞「画面の見方」16 ページ

❺ 【Menu】ボタン

画面に設定メニューが表示されます。☞「操作パネルのメニューの使い方」86 ページ

❻ 【】ボタン（戻るボタン）

設定メニュー表示中にひとつ上の階層に戻るときに押します。☞「メニューの操作」86 ページ

❼ 【◀】/【▶】ボタン（左右ボタン）

設定メニューで［設定名の登録］や［IP アドレス］などを任意に設定する際、入力する文字の位置を指定するときに押します。

❽ 【▲】/【▼】ボタン（メディア送りボタン）

- メディアがセットされているときは、【▼】ボタンを押すとメディアが送られ、【▲】ボタンを押すと巻き戻ります。【▼】ボタンを押し続けるとメディアを最大 103cm まで送ることができます。【▲】ボタンを押し続けるとメディアを最大 25cm まで戻すことができます。
  なお、【▲】ボタンでメディアを巻き戻したとき、メディアの先端が印刷開始位置に達すると巻き戻しが停止します。一旦ボタンから指を離して再度押すと巻き戻しが再開します。
- 設定メニュー表示中に押すと、メニューや設定値を選択できます。☞「メニューの操作」86 ページ

❾ 【OK】ボタン

- 設定メニューでメニュー項目を選択した状態で押すと、そのメニューのひとつ下の階層に進みます。
- 設定メニューで設定値を選択した状態で押すと、その設定値が有効に設定されるか、あるいは実行されます。

❿ 【】ボタン（ヒーター/乾燥設定ボタン）

画面にヒーター/乾燥設定メニューが表示され、［ヒーター温度設定］が行えます。オプションの外付け乾燥ファンユニット（SC-S50650 は標準）を装着しているときは［乾燥ファン設定］も行えます。印刷中に押して調整できます。

☞「メディア管理メニュー」91 ページ

⓫ 【】ボタン（メンテナンスボタン）

画面にメンテナンスメニューが表示され、［ノズルチェック］や［クリーニング］、［ヘッド洗浄］、［ヘッドメンテナンス］、［廃インクカウンタークリア］が行えます。印刷中に押したときは、動作しません。

☞「メンテナンスメニュー」97 ページ

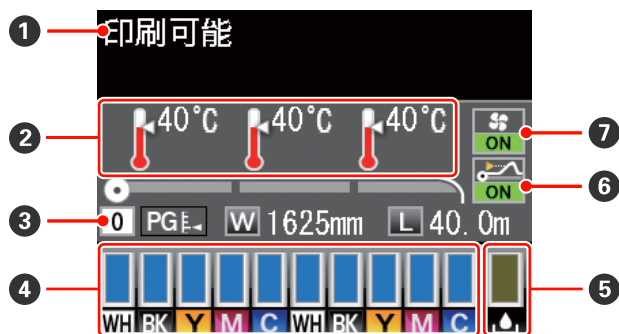
⓬ 【II·🗑】ボタン（ポーズ/キャンセルボタン）

- 印刷中に押すと、一時停止（ポーズ）状態になります。ポーズ状態を解除するには、再度【Ⅱ·⊡】ボタンを押すか、画面の［ポーズ解除］を選択して【OK】ボタンを押します。画面で［ジョブキャンセル］を選択して【OK】ボタンを押すと処理中の印刷をキャンセルできます。
- 設定メニューを表示中に押すと、メニューを終了し印刷可能状態に戻ります。

⑬【 ⤓ 】ボタン（メディア送りボタン）

- 印刷可能状態でこのボタンを押し、次に【OK】ボタンを押すと、印刷後のメディアがカット位置まで送られます。
  ☞「メディアのカット」47 ページ
- 印刷中に押すと、印刷中のメディアのメディア送り補正ができます。
  ☞「メディア送り補正（手動補正）」60 ページ

画面の見方

SC-S50650 の画面で説明します。

❶ メッセージ

本機の状態や操作、エラーメッセージが表示されます。
☞「メッセージが表示されたとき」101 ページ

❷ ヒーター温度

左からプリヒーター、プラテンヒーター、アフターヒーターの設定している温度の値が表示されます。温度計アイコンは、現在のヒーター温度の目安を以下のように表しています。

：ヒーターの温度が設定温度に達しています。

：ヒーターの温度が設定温度に達していません。

❸ メディア情報

- 左から、選択しているメディア設定、プラテンギャップ、メディア幅、メディア残量が表示されます。
- 印刷メディアの選択で、本機に登録されているメディア設定番号を選択したときは、1〜30 の該当する番号が表示されます。［RIP 設定］を選択したときは、0 が表示されます。
- プラテンギャップの設定値により、アイコンが以下のように変わります。

PG：1.5

PG：2.0

PG：2.5

- メディア残量は［メディア残量管理］で［残量管理設定］を［OFF］に設定しているときは表示されません。
  ☞「メディア管理メニュー」91 ページ

❹ インクカートリッジの状態

インク残量の目安や状態が表示されます。この表示は、インクが残り少なくなったときやエラーが生じると以下のように変わります。

1 状態表示

インクカートリッジの状態が次のように示されます。

：印刷できます。インジケーターの高さはカートリッジ内のインクの量に応じて変わります。

：インクが残り少ないため、新しいインクカートリッジの準備が必要です。

：インク残量が限界値以下のため、新しいインクカートリッジと交換してください。

：インクカートリッジがロックされていません。ロックレバーを下げてロックしてください。

：インクカートリッジが未装着です。インクカートリッジを装着し、ロックレバーを下げてロックしてください。

：エラーが生じています。画面のメッセージを確認し、エラーを解除してください。

：クリーニングカートリッジが装着されています。インジケーターの高さはカートリッジ内の洗浄液の量に応じて変わります。

インク残量は、設定メニューのインク残量表示メニューでも確認できます。

☞「インク残量表示メニュー」98 ページ

2 インク色の略号

SC-S70650

MS ：メタリックシルバー

GY ：グレー

BK ：ブラック

C ：シアン

M ：マゼンタ

Y ：イエロー

OR ：オレンジ

LC ：ライトシアン

LM ：ライトマゼンタ

WH ：ホワイト

SC-S50650

WH ：ホワイト

BK ：ブラック

Y ：イエロー

M ：マゼンタ

C ：シアン

SC-S30650

BK ：ブラック

Y ：イエロー

M ：マゼンタ

C ：シアン

❺ 廃インクボトルの状態

廃インクボトルの空き容量の目安や状態が表示されます。この表示は、空き容量が残り少なくなったときやエラーが生じると以下のように変わります。

正常時　　警告・エラー発生時

1 状態表示

廃インクボトルの状態が次のように示されます。

：問題ありません。インジケーターの高さは空き容量に応じて変わります。

：廃インクボトルがもう少しでいっぱいになります。新しい廃インクボトルの準備が必要です。

：廃インクボトルが満杯です。新しい廃インクボトルと交換してください。

❻ メディア浮き検出の状態

SC-S50650 のみ表示されます。

：印刷中にメディアが浮いていないかを検出します。

：印刷中にメディアが浮いていないかを検出しません。

☞「メンテナンスメニュー」97 ページ

❼ 外付け乾燥ファンユニットの状態

オプションの外付け乾燥ファンユニット（SC-S50650 は標準）の設定が表示されます。

表示なし ：未接続、あるいは正しく接続されていません。

：乾燥ファンが機能します。

：乾燥ファンが機能しません。設定メニューの［乾燥ファン設定］を［ON］に切り替えると乾燥ファンが働きます。

☞「メディア管理メニュー」91 ページ

特長

本機は、1626mm（64 インチ）のロールメディアに対応した大判インクジェットカラープリンターです。本機の主な特長は以下の通りです。

高生産性を実現

3 つのヒーターを搭載

以下の 3 つのヒーターが印刷品質と生産性の向上をサポートします。
プリヒーター：印刷部が急激に温度変化しないように印刷前のメディアを予熱します。
プラテンヒーター：インクの定着を安定させます。
アフターヒーター：インクをすばやく乾かすことができます。

大容量ロールが装着できるメディア搬送ユニット

標準装備のメディア搬送ユニットには、外径 300mm、重量 40kg までの大容量メディアを装着できます。これにより、メディアの交換の頻度が軽減されます。
オプションの重量メディアユニットを使うと、さらに大容量の外径 300mm、重量 80kg までのメディアを装着できます。

自動巻取りユニットを標準装備

印刷後のメディアをきれいに、しわなく自動的に巻き取ることができます。バナー印刷や大量印刷、夜間の連続印刷に役立ちます。

大容量インクカートリッジ

高い生産性を実現するため、700ml（ホワイトは 600ml、メタリックシルバーは 350ml）の大容量インクカートリッジを提供しています。インクカートリッジ交換のわずらわしさが軽減されます。

高速印刷の実現

SC-S50650 は 2 ヘッドスタッガー配列により高速印刷を実現しています。また高速印刷に対応するため、各色 2 本ずつインクカートリッジをセットできます。

外付け乾燥ファンユニットをご用意

オプションの外付け乾燥ファンユニット（SC-S50650 は標準）を用いることでさらに乾燥性が高められ、より生産性が向上します。SC-S70650 の 10 色モードは、ホワイト、メタリックシルバーインクが乾きにくいため、使用をお勧めします。

高画質印刷

滑らかな階調性、高い色再現性の実現

SC-S70650 はライト系インク（グレー、ライトシアン、ライトマゼンタ）の搭載による粒状性の低減、滑らかな階調性の実現と、オレンジインクの搭載により広い色域を持つことで、高い色再現性を実現しています。そのため近接の屋内掲示板やファインアート、カーラッピングなどに必要な高画質印刷が可能です。

ホワイト、メタリックシルバーインクを搭載

SC-S70650 はホワイトとメタリックシルバーインク、SC-S50650 はホワイトインクの搭載により、様々な表現が可能です。ホワイトインクは高い遮蔽性を実現しているため、透明なメディアへの透けない表現（ウィンドウグラフィック）が可能です。またホワイト、メタリックシルバーインクの上にカラーインクを重ねること（レイヤー印刷）で、カラーインクの透けない表現や、様々なメタリックカラーの表現が可能です。

参考

レイヤー印刷時は以下の注意が必要です。

- データで設定した長さの 2%以上の長さを足したメディアが必要です。
- 自動巻取りユニットを使用すると、巻き取りが正常にできなかったり、印刷品質が低下したりすることがあります。
- ターポリンやキャンバスなど対応できないメディアがあります。メディアを大量に購入する際は、事前にそのメディアに印刷したときの仕上がり具合を確認しておくことをお勧めします。

優れた使いやすさ

メディアのセット・巻き取りが簡単

ロールホルダー、紙管ホルダーともスピンドルの無い構造のため、セット前にメディアをスピンドルにセットする必要がありません。メディアを運んで来てそのまま直接本機にセットできます。作業スペースが狭くても、長いスピンドルを取り回さずに簡単にセットできます。
さらにロールサポートにメディアを仮置きできるほか、リフトレバーを使って重たいメディアも負担なくロールホルダーの位置まで持ち上げられます。

匂いの少ないエコソルベントインク

溶剤インク特有の臭いを低減したエコソルベントインクです。印刷時の作業環境が改善されるばかりでなく、屋内の展示物も掲示場所を選ばず展示できます。

メディアの浮き上りを検出

SC-S50650 は、印刷中のメディアの浮き上りを検出する機能を搭載しています。印刷中にメディアが浮くと、プリントヘッドとのこすれを防ぐため印刷を停止します。停止することで印刷の失敗を防ぎ、インクやメディアの無駄な消費を抑えます。

メンテナンスの容易さ

印刷品質を維持するためには、日々のメンテナンスが欠かせません。本機は、メンテナンススペースが広く設計されており、メンテナンス作業が容易に行えます。

メール通知機能でエラー/ワーニング状態を通知

本機のネットワークインターフェイスに内蔵の EpsonNet Config（Web 版）にはメール通知機能が装備されています。メール通知設定を行うと、本機にエラーやワーニング発生時に、設定したアドレスにメールで状態が通知されます。これにより、夜間無人運転時なども安心して本機から離れることができます。
EpsonNet Config（Web 版）の起動方法 ☞『ネットワークガイド（PDF）』

大型アラートランプとブザーでエラーを通知

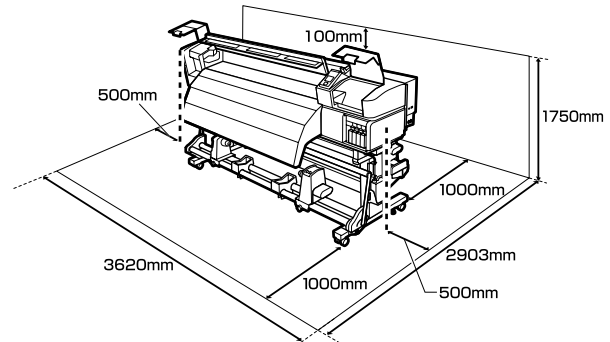
エラーが生じたときは、ブザー音と大型アラートランプが点灯してお知らせします。大型アラートランプは視認性が良いので、離れた位置からも確認できます。
同時にブザーでもお知らせしますので、エラーで印刷が止まっているのに気付かずにいたという時間の無駄使いを防止できます。

High-Speed USB/ギガビットイーサネット

High-Speed USB と 100Base-TX/1000Base-T 対応のネットワークインターフェイスを標準搭載しています。

使用・保管時のご注意

設置スペース

排紙や消耗品の交換を支障なく行うために、最小限、以下のスペースを確保して物などを置かないでください。
本機の外形寸法は、「仕様一覧」をご覧ください。
☞「仕様一覧」115 ページ

使用時のご注意

本機を使用する際は、故障や誤動作、印刷品質低下の原因となりますので、以下の点に注意してください。
ホワイトおよびメタリックシルバーインク使用時は下記以外にも注意事項があります。以下をご覧ください。
☞「特色インクについて」22 ページ

- 「仕様一覧」に記載の温度・湿度範囲を守って使用してください。☞「仕様一覧」115 ページ
  ただし、上記の条件を満たしていても使用するメディアの環境条件を満たしていないと、正しく印刷できないことがあります。必ずメディアの環境条件も満たした場所で使用してください。詳しくは、メディアのマニュアルをご覧ください。
  また、乾燥する地域やエアコンが稼動している環境、直射日光が当たる場所で使用するときは、乾燥に注意して条件範囲内の湿度を保つようにしてください。
- 送風機やエアコンなどの風が直接当たる場所、熱源のある場所での使用は避けてください。プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりが発生しすることがあります。
- 廃インクチューブを曲げたり、引っ張ったりしないでください。インクが本機の内部や周辺に漏れることがあります。

- 以下の箇所は、使用頻度に応じてまたは推奨の時期ごとの定期メンテナンスが必要です。メンテナンスを怠ると印刷品質劣化の原因となります。適切なメンテナンスをせずに使い続けると、プリントヘッドが損傷するおそれがあります。
☞「定期メンテナンス」71 ページ

清掃箇所	清掃の目安
プリントヘッド	• 週に 1 度 • ヘッドクリーニングをしても印刷がかすれたり、欠けたりするとき。
ワイパー	
キャップ	
ワイパーのレール	

交換部品	交換の目安
フラッシング用吸収材	6 ヵ月に 1 度
ワイパークリーナー	
ワイパー	

- メディアが詰まったときやエラーが起こったまま電源を切るとキャッピングされない（プリントヘッドが右端に位置しない）ことがあります。キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために自動的にプリントヘッドにキャップ（ふた）をする機能です。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。
- 本機の電源が入っている状態で、電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカーを落としたりしないでください。プリントヘッドがキャッピングされないことがあります。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。
- 印刷後一定時間が経つとプリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にヘッドクリーニングが行われます。
そのため、本機の電源が入っている状態では必ず廃インクボトルを装着してください。
定期クリーニング ☞「プリンター設定メニュー」95 ページ
- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作でインクが消費されます。

使用しないときのご注意

本機を使用しないときは、以下の点に注意して保管してください。保管状態が適切でないと、印刷再開時に正しく印刷できないことがあります。
ホワイトおよびメタリックシルバーインク使用時は下記以外にも注意事項があります。以下をご覧ください。
☞「特色インクについて」22 ページ

- メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面に加圧ローラーの跡が付くことがあります。また、メディアが波打ったり、反ったりしてメディア送り不良やプリントヘッドのこすれの原因となります。保管時はメディアを取り外してください。
- プリントヘッドがキャッピングされている（プリントヘッドが右端に位置している）ことを確認してから本機を保管してください。キャッピングせずに長時間放置すると、印刷不良の原因となります。

参考
キャッピングされていないときは、本機の電源を入れ、再度切ってください。

- 全てのカバーを閉めて保管してください。また、長期間使用しないときは、ホコリが入らないよう、静電気の発生しにくい布やシートなどを掛けておくことをお勧めします。プリンターのノズルは大変小さいものです。そのため、目に見えない小さなホコリがプリントヘッドに付着すると、目詰まりして正しく印刷できないことがあります。
- 本機を長期間使用しなかったときは、印刷を再開する前に必ずプリントヘッドの目詰まりの状態を確認してください。プリントヘッドに目詰まりが確認されたときは、ヘッドクリーニングを行ってください。
☞「ノズルの目詰まりチェック」68 ページ
- 本機を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で保管してください。

SC-S30650 使用時、または特色インク未使用時

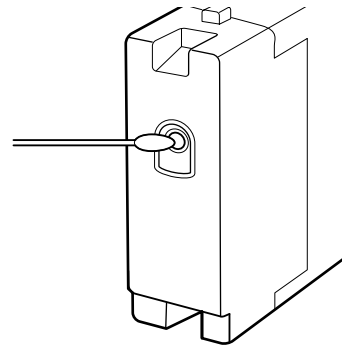
特色インクとはホワイトおよびメタリックシルバーインクのことを言います。

- 印刷しない期間が長くなると、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。プリントヘッドの目詰まりを防ぐために、7 日に 1 度は電源を入れてください。起動後、自動でヘッドクリーニングが行われます。ヘッドクリーニングを行うことで、印刷品質を維持できます。ヘッドクリーニングが終了するまで電源を切らないでください。

- 使用しないときは別売のクリーニングカートリッジを使って、全列のヘッド洗浄を実施してください。そのまま放置すると、ヘッドの目詰まりが解消できなくなります。
  使用しない期間の目安は製品ごと以下のように異なります。
  - SC-S70650（8 色モード）：2 週間以上
  - SC-S50650（4 色モード）：3 週間以上
  - SC-S30650：1 か月以上
  詳細は以下をご覧ください。
  ☞「メンテナンスメニュー」97 ページ

インクカートリッジ取り扱い上のご注意

インクカートリッジは、良好な印刷品質を保つために、以下の点に注意して取り扱ってください。
ホワイトおよびメタリックシルバーインク使用時は下記以外にも注意事項があります。以下をご覧ください。
☞「特色インクについて」22 ページ

- 購入直後のインク初回充填では、プリントヘッドノズルの先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。交換用のインクカートリッジをお早めにご準備ください。
- インクカートリッジは、直射日光を避けて常温で保管してください。
- 良好な印刷品質を得るために、以下の期日のうち早いほうの期日までに使い切ってください。
  - インクカートリッジ個装箱に印刷された推奨使用期限
  - インクカートリッジの袋を開封した日から 6 ヵ月
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移したときは、4 時間以上室温で放置してからお使いください。
- インクカートリッジの IC チップには触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジおよび代替カートリッジ（8 色/4 色モード選択時）は、全スロットに装着してください。全スロットに装着していないと印刷できません。
- インクカートリッジを取り外した状態で本機を放置しないでください。本機内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。本機を使用しないときも、インクカートリッジおよび代替カートリッジは全スロット装着した状態にしてください。
- インクカートリッジは IC チップでインク残量などカートリッジ固有の情報を管理しているため、本機から取り外しても再装着して使用できます。
- 使用途中で取り外したインクカートリッジは、付属のメンテナンスキットのクリーニング棒を使用してインク供給孔部に付着しているインクを拭き取ってください。供給孔部のインクが乾燥すると、再装着して使用するときにインク漏れの原因となります。

  また、インク供給孔部にホコリが付かないように保管してください。インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内にインクが残ります。
- インクカートリッジに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。
- 本機に装着した特色インク（ホワイトおよびメタリックシルバー）以外のインクカートリッジは 3 週間に 1 度、取り出してよく振ってください。
  振り方 ☞「交換方法」84 ページ
- 代替カートリッジは印刷中に抜き差ししないでください。

メディア取り扱い上のご注意

メディアの取り扱いや保管の際は、以下の点にご注意ください。メディアの状態が悪いと、良好な印刷結果が得られません。
必ず各メディアのマニュアルも併せてご覧ください。

取り扱い上のご注意

- メディアを折り曲げたり、印刷面を傷付けたりしないように注意してください。
- メディアの印刷面には触れないでください。手の皮脂や水分が印刷品質に影響します。
- メディアの端を持って取り扱ってください。また綿製の手袋を着用することをお勧めします。
- メディアを濡らさないでください。
- 個装箱や個装袋は、メディアの保管時に使用しますので、捨てないでください。
- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 使用しないメディアは、本機から取り外し、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。長期間セットしたまま放置すると、メディア品質が低下するおそれがあります。

印刷後メディア取り扱い上のご注意

印刷後は、良好な印刷結果を長期間保持するために以下の点に注意して適切に取り扱ってください。

- 印刷物をこすったり引っかいたりしないでください。こすったり引っかいたりするとインクが剥がれることがあります。
- 印刷物の表面は触らないでください。インクが剥がれることがあります。
- 印刷後のメディアは、重ねたり折り曲げたりせずに十分に乾燥させてください。乾燥させずに重ねると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。この跡はすぐにメディアを剥がして乾燥させればなくなりますが、そのまま放置すると跡が消えなくなります。
- 直射日光に当てないでください。
- 印刷後は、変色を防ぐためにメディアのマニュアルの指示に従って展示/保存してください。

特色インクについて

特色インクとは、ホワイトおよびメタリックシルバーインクのことを言います。ホワイトおよびメタリックシルバーインクはインクの特性上、沈降（成分が液の底に沈んでたまること）しやすくなっています。沈降したまま使用すると印刷品質が低下したり、本機に不具合が生じたりすることがあります。ここではホワイトおよびメタリックシルバーインクの使用に関係した注意事項などをまとめて記載します。SC-S30650 では使用できません。

ご注意

- 装着時は、本機未使用時の内部でのインク詰まりを防止するため、自動的にメンテナンスをしています。電源を切るとメンテナンスができずに故障する可能性がありますので、電源を切らずに使用することを推奨します。
- ホワイトおよびメタリックシルバーインクのカートリッジ保管時は、平置き（平らに寝かせた状態）にしてください。縦長方向に立てた状態で保管すると、ご使用前にかくはんをしても成分の沈降（インクの成分が液の底に沈んでたまること）を解消できないことがあります。
- 7 日以上使用しないときは別売のクリーニングカートリッジを使って、全列のヘッド洗浄を実施してください。そのまま放置すると、ヘッドの目詰まりが解消できなくなります。詳細は以下をご覧ください。
  ☞「メンテナンスメニュー」97 ページ

メンテナンス

本機では良好な印刷品質を保つため、日常実施いただくメンテナンスと、本機が自動で実施するメンテナンス機能があります。

自動メンテナンス機能

ホワイトおよびメタリックシルバーインクの沈降による不具合を防止するために、印刷が終了または電源を入れてから一定の時間が経過すると、自動的にインクを循環させます。自動メンテナンスは電源を入れるだけで、他の操作は不要です。

日常のメンテナンス

- 本機に装着したホワイトおよびメタリックシルバーインクカートリッジは 24 時間に 1 度、取り出してよく振ってください。
  振り方 ☞「交換方法」84 ページ

- 印刷結果にムラがあるときは、インク循環またはリフレッシュを実施してください。
☞「特色インクのメンテナンス」69 ページ

添付ソフトウェアの使い方

ソフトウェアディスクの内容

付属のソフトウェアディスクには、以下のソフトウェアが収録されています。必要に応じてインストールしてください。各ソフトウェアの詳細は『ネットワークガイド』(PDF)、または各ソフトウェアのオンラインヘルプを参照してください。

参考

- 付属のソフトウェアディスクにはプリンタードライバーは収録されていません。印刷を行うにはソフトウェア RIP が必要です。エプソンのホームページでは、付属のソフトウェアディスクに収録されていないソフトウェア(本機対応のソフトウェア RIP、プラグインソフトウェアなど)を紹介しています。
  http://www.epson.jp
- 最新版のアプリケーションソフトはエプソンのホームページからダウンロードしてください。
  http://www.epson.jp

Windows の場合

ソフトウェア名称	概要
LFP リモートパネル 2	LFP リモートパネル 2 はコンピューターから本機の設定メニューで設定したメディア設定のコピーやファームウェアのアップデートを行うソフトウェアです。 「LFP リモートパネル 2 の起動方法」25 ページ 「LFP リモートパネル 2 の終了方法」25 ページ
ドライバーとユーティリティー	Epson 通信ドライバー(EPSON SC-S70600 Series Comm Driver、EPSON SC-S50600 Series Comm Driver、EPSON SC-S30600 Series Comm Driver)がインストールされます。 Epson 通信ドライバーは、LFP リモートパネル 2 でメディア設定のコピーを行うのに必要な通信用のドライバーです。印刷用のプリンタードライバーではありません。また、コンピューターと本機を USB 接続して使用するときは、Epson 通信ドライバーがインストールされていないとソフトウェア RIP 上で本機のステータス表示をできないことがあります。ステータス表示機能の有無については、ソフトウェア RIP のマニュアルでご確認ください。
ネットワークユーティリティー	インストールを実行すると、ウィザード形式でネットワークに接続するためのアドレスの設定が簡単にできます。
EpsonNet Config	コンピューターから本機のネットワークに関する各種設定を行うソフトウェアです。キーボードを使ってアドレスや名称を入力できるので便利です。 インストールを行うとマニュアルも一緒にインストールされます。

Mac OS X の場合

ソフトウェア名称	概要
LFP リモートパネル 2	LFP リモートパネル 2 はコンピューターから本機の設定メニューで設定したメディア設定のコピーやファームウェアのアップデートを行うソフトウェアです。 「LFP リモートパネル 2 の起動方法」25 ページ 「LFP リモートパネル 2 の終了方法」25 ページ
ネットワークユーティリティー	インストールを実行すると、ウィザード形式でネットワークに接続するためのアドレスの設定が簡単にできます。
EpsonNet Config	コンピューターから本機のネットワークに関する各種設定を行うソフトウェアです。キーボードを使ってアドレスや名称を入力できるので便利です。 インストールを行うとマニュアルも一緒にインストールされます。

LFP リモートパネル 2 の起動方法

LFP リモートパネル 2 は、本機の画面に［印刷可能］と表示されていることを確認してから起動してください。

Windows

1 次のどちらかの方法で起動します。

- デスクトップの［LFP リモートパネル 2］アイコンをダブルクリックします。[LFP リモートパネル 2］アイコンは、本ソフトウェアをインストールすると作成されます。
- ［スタート］-［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［LFP リモートパネル 2］-［LFP リモートパネル 2］の順にクリックします。

2 LFP リモートパネル 2 のメイン画面で実行する項目をクリックします。

詳細は、LFP リモートパネル 2 のヘルプをご覧ください。

Mac OS X

［アプリケーション］-［Epson Software］-［EPSON LFP Remote Panel 2］-LFP リモートパネル 2 アイコンの順にダブルクリックすると、LFP リモートパネル 2 のメイン画面が表示されます。

LFP リモートパネル 2 の終了方法

LFP リモートパネル 2 のメイン画面で［終了］をクリックします。

ソフトウェアの削除

！重要

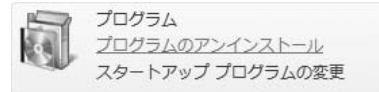
- 「コンピューターの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。
- 管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
- ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは終了してください。

Windows

LFP リモートパネル 2、Epson 通信ドライバーを例に削除方法を説明します。

1 本機の電源を切り、インターフェイスケーブルを外します。

2 ［コントロールパネル］の［プログラム］-［プログラムのアンインストール］をクリックします。

Windows XP の場合は、[コントロールパネル］の［プログラムの追加と削除］をクリックします。

3 削除するソフトウェアを選択して［アンインストールと変更］（または［変更と削除］）をクリックします。

以下を選択すると、Epson 通信ドライバーを削除できます。

- EPSON SC-S70600 Series Comm Driver プリンターアンインストール
- EPSON SC-S50600 Series Comm Driver プリンターアンインストール
- EPSON SC-S30600 Series Comm Driver プリンターアンインストール

LFP リモートパネル 2 を選択すると、LFP リモートパネル 2 を削除できます。

4 本機のアイコンをクリックして、[OK］をクリックします。

5 **この後は、画面の指示に従ってください。**

削除を確認するメッセージが表示されたら［はい］をクリックします。

Epson 通信ドライバーを再インストールするときは、コンピューターを再起動してください。

Mac OS X

LFP リモートパネル 2 の削除方法を説明します。

1 **LFP リモートパネル 2 を終了します。**

2 **［アプリケーション］フォルダ内の［EPSON Remote Panel 2］フォルダごと、［ゴミ箱］にドラッグ&ドロップして削除します。**

その他のソフトウェアの削除は「Uninstaller」を使います。再インストールやバージョンアップをするときは、対象のソフトウェアを削除してから行います。

入手方法

「Uninstaller」を弊社のホームページからダウンロードしてください。
アドレス　http://www.epson.jp/

操作手順

「Uninstaller」を入手時に手順も確認いただき、その手順に従ってください。

基本の操作

メディアのセットと交換

お使いの製品やメディア搬送ユニットにより、セット方法が異なります。お使いの状況にあったセット方法をご覧ください。

⚠注意

- ヒーターやメディア押さえ板は、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- 前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。
- メディアの端を手でこすらないでください。メディアの側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

!重要

メディアは印刷直前にセットしてください。メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面に加圧ローラーの跡が付くことがあります。また、メディアが波打ったり、反ったりしてメディア送り不良やプリントヘッドのこすれの原因となります。

本機で使用できるメディアの詳細は、以下をご覧ください。
☞「使用可能なメディア」113 ページ

メディアのセット方法（SC-S70650、SC-S50650 の場合）

装着しているメディア搬送ユニットが、標準装備のものかオプションの重量メディア対応のものかによって、メディアのセット方法が異なります。
標準メディア搬送ユニット装着時は、次項をご覧ください。
重量メディア搬送ユニット装着時 ☞「重量メディア搬送ユニット装着時（オプション）」32 ページ

標準メディア搬送ユニット装着時

本機に標準メディア搬送ユニットが装着されているときのメディアのセット方法を SC-S70650 のイラストで説明します。

⚠注意

メディアは重いので、1 人で運ばないでください。メディアをセットしたり取り外したりする際は、2 人以上で行ってください。

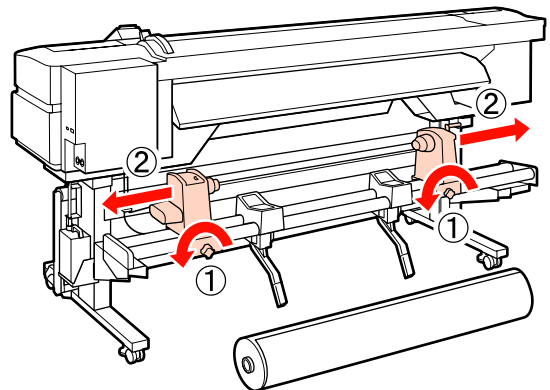
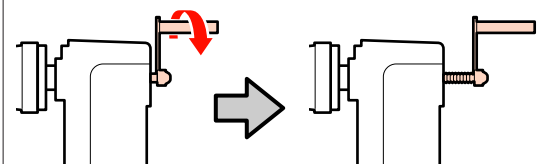
1 【⏻】ボタンを押して本機の電源を入れます。

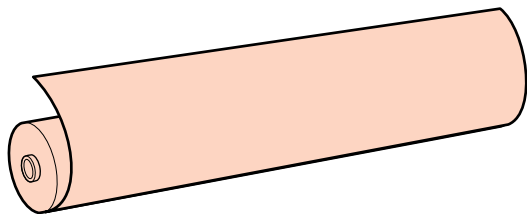
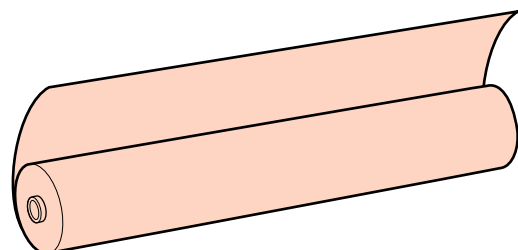
!重要

ホワイトおよびメタリックシルバーインク装着時は、本機未使用時の内部でのインク詰まりを防止するため、自動的にメンテナンスをしています。電源を切るとメンテナンスができずに故障する可能性がありますので、電源を切らずに使用することを推奨します。

2 ロールホルダー固定ネジを左右両側とも緩め、ロールホルダーをロールメディアの幅よりも外側に移動します。

ロールサポートが均等に配置されていないときは、均等になるように移動します。

!重要

右側のロールホルダーのハンドルの軸が見えていないときは、ハンドルを回らなくなるまで、手前に回します。ハンドルの軸が見えていないと、メディアを正しく取り付けられません。

3 メディアの巻き仕様に応じて、以下の向きでメディアをロールサポートに仮置きします。

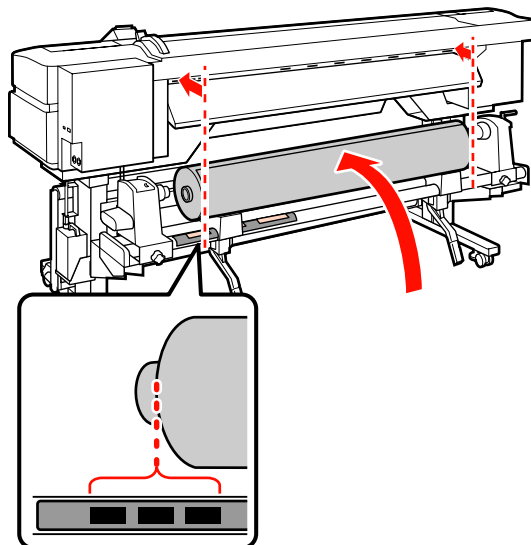
印刷面外巻き

印刷面内巻き

参考

セットしたメディアの巻き仕様と［メディア設定変更］メニューの［ロール巻き仕様設定］が一致するように設定してください。［ロール巻き仕様設定］のメーカー設定値は［印刷面外巻き］になっています。印刷面内巻きのメディアをセットしたときは、セット後に必ず［印刷面内巻き］に変更してください。
設定方法の詳細 ☞「ロール巻き仕様設定」57 ページ

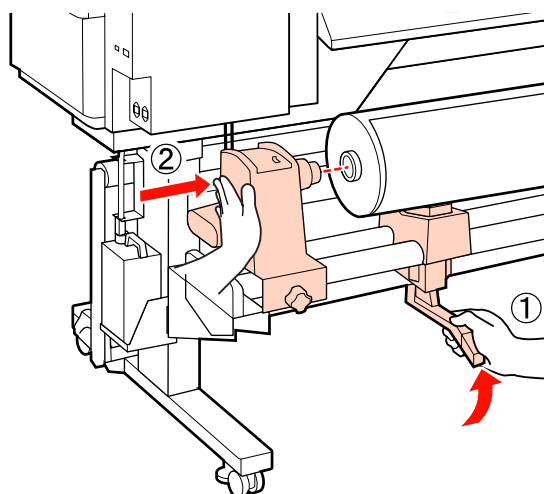
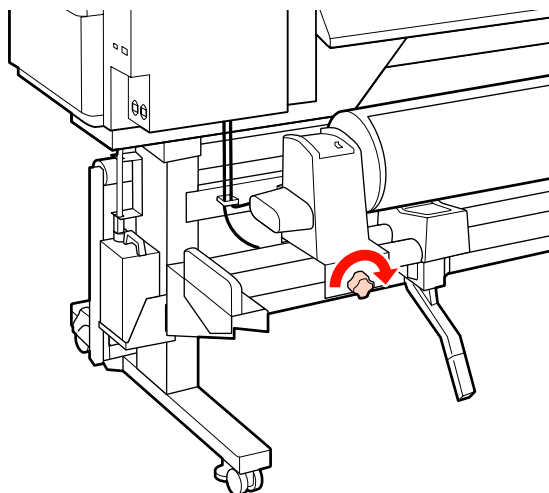
4 メディア左端は背面手前側バーに貼ったラベルの黒四角のいずれか 1 つの範囲内に、右端は本機背面の穴のいずれか 1 つの範囲内に入るようにメディア位置を調整します。

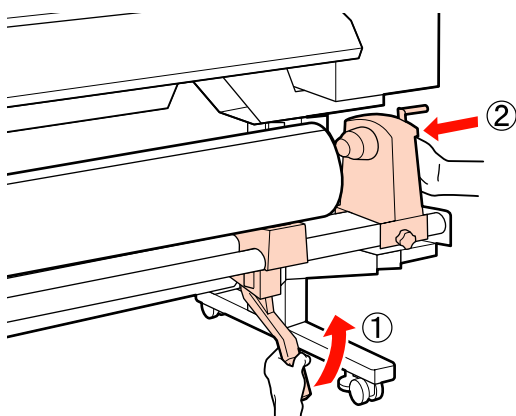
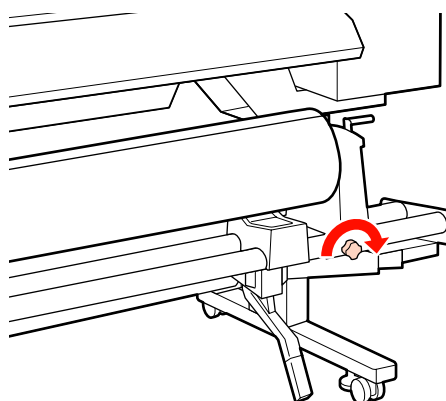
メディア幅ごとの推奨セット位置は以下で確認してください。

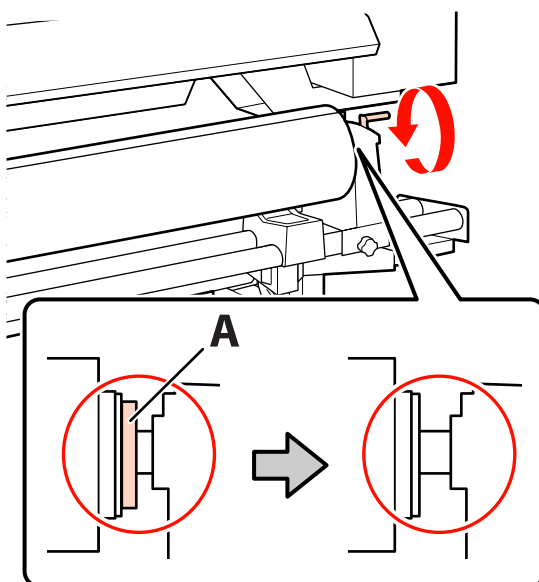
☞「メディア幅ごとのセット位置」63 ページ

参考

黒四角が描かれたラベルを貼っていないときは、別冊の『セットアップガイド』をご覧になり貼り付けてください。
☞『セットアップガイド』（冊子）

5 左側のリフトレバーを上げてメディアを持ち上げ、ロールホルダーをしっかりと差し込みます。

ロールの外径が 140mm 未満のメディアをセットするときは、手で抱え上げてロールホルダーにセットします。リフトレバーで持ち上げても紙管部分がロールホルダーに届きません。

6 ロールホルダー固定ネジを締めて、ロールホルダーが動かないように固定します。

7 右側のリフトレバーを上げてメディアを持ち上げ、ロールホルダーをしっかりと差し込みます。

手順 5 と同様に、ロールの外径が 140mm 未満のメディアをセットするときは、手で抱え上げてロールホルダーにセットします。

8 ロールホルダー固定ネジを締めて、ロールホルダーが動かないように固定します。

9 以下の図の **A** の部分が完全に入り込むまでハンドルを回します。

!重要

A の部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないでください。押し込みすぎるとロールホルダーが破損するおそれがあります。

10 メディアセットレバーを上げます。

11 メディアを引き出して本機に挿入します。

参考

メディアが重くて引き出しにくいときは、左側のロールホルダー上面の駆動スイッチを倒すとメディアが送られます。
印刷面外巻きのとき　側
印刷面内巻きのとき　側

12 メディアを加圧ローラーより向こうまで挿入し、メディアセットレバーを下げてメディアを仮固定します。

13 本機の前面に回って、前面カバーを開けます。

14 メディアの中央を持ってメディアセットレバーを上げます。

15 アフターヒーターの下側のラベルを超えるまで、メディアをまっすぐに引き出します。

メディアの右端がアフターヒーター上の 2 箇所のラベルの目盛りと平行になるように引き出してください。

!重要

メディアの右端がラベルの目盛りからはみ出しているときは、必ず手順 14 から逆順で手順 3 まで戻ってセットし直してください。メディアをセットした状態で、ロールホルダーの位置を動かさないでください。

16 加圧ローラーのセット位置を調整します。

通常印刷時は加圧ローラー（弱）、レイヤー印刷時は加圧ローラー（強）を使います。またメディア幅や使用するローラーにより位置が異なります。

「印刷可能領域」を参照して、加圧ローラーが黒いラベルの貼られている範囲内で、メディアの端から 5mm（加圧ローラー（弱））、または 10mm（加圧ローラー（強））になるようにセットします。

☞「印刷可能領域」63 ページ

レイヤー印刷 ☞「高画質印刷」18 ページ

17 メディアがセットされていない位置の加圧ローラーや使用しない加圧ローラーを、黒いラベルが貼られている範囲外に移動します。

18 メディアセットレバーを下げてメディアを固定します。

このまま印刷するときは、手順 19 に進みます。

メディアを自動巻取りユニットに取り付けるときは、以下をご覧ください。

☞「自動巻取りユニットの使い方」49 ページ

参考

どうしてもメディア先端から印刷したいときは、操作パネルの【▲】ボタンを押して、メディアを少し巻き戻します。
ただし、このときメディアの先端をカッター溝の上（加圧ローラー側）まで巻き戻さないようにしてください。

19 付属のメディア押さえ板をメディアの両端に取り付けます。

メディア押さえ板の丸い穴の中央にメディアの左右端が位置するように、メディア押さえ板の横方向の位置を合わせます。メディア押さえ板の四角い窓から白線が見えるように上下に調整して、板が浮かないよう確実に押し込みます。

!重要

- メディアの厚さが 0.4mm 以上あるときは、メディア押さえ板を使用しないでください。メディア押さえ板がプリントヘッドに接触し、プリントヘッドが破損することがあります。
- メディア押さえ板を使わないときは、それぞれのメディア押さえ板をプラテンの左右の端に移動してください。
- 印刷を行ったときに、メディアの左右端が汚れたり、破れたりするときはメディア押さえ板を使用しないでください。
- メディア押さえ板を使用するときは、左右のマージンを 10mm 以上に設定してください。10mm 以下に設定すると、メディア押さえ板の上から印刷されることがあります（レイヤー印刷時は不要）。

20 前面カバーを閉めます。

重量メディア搬送ユニット装着時（オプション）

本機背面に、オプションの重量メディア搬送ユニットを装着しているときのメディアのセット方法を SC-S70650 のイラストで説明します。
40kg 以上のメディアを取り扱う際は、リフターの使用をお勧めします。
以降の、セット方法もリフターを使って行う方法を説明します。
以下の作業で使用可能なリフターは、次の通りです。

- フォークや台の厚み：28mm 以下
- フォークや台の面が床から約 190mm まで下げられる。

⚠注意

メディアは重いので、運搬やセットは、2 人以上で行ってください。40kg 以上のメディアを取り扱う際は、リフターの使用をお勧めします。

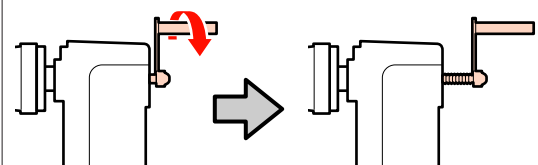
1 【⏻】ボタンを押して本機の電源を入れます。

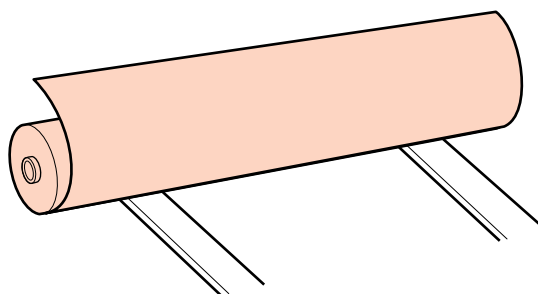
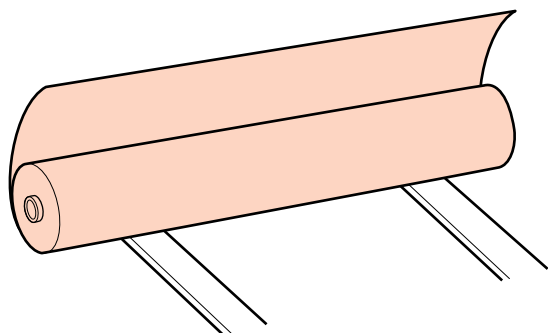
!重要

ホワイトおよびメタリックシルバーインク装着時は、本機未使用時の内部でのインク詰まりを防止するため、自動的にメンテナンスをしています。電源を切るとメンテナンスができずに故障する可能性がありますので、電源を切らずに使用することを推奨します。

2 ロールホルダー固定ネジを左右両側とも緩め、ロールホルダーをメディアの幅よりも広げます。

!重要

右側のロールホルダーのハンドルの軸が見えていないときは、ハンドルを回らなくなるまで、手前に回します。ハンドルの軸が見えていないと、メディアを正しく取り付けられません。

3 メディアの巻き仕様に応じて、以下の向きでメディアをリフターに仮置きします。

印刷面外巻き

印刷面内巻き

参考

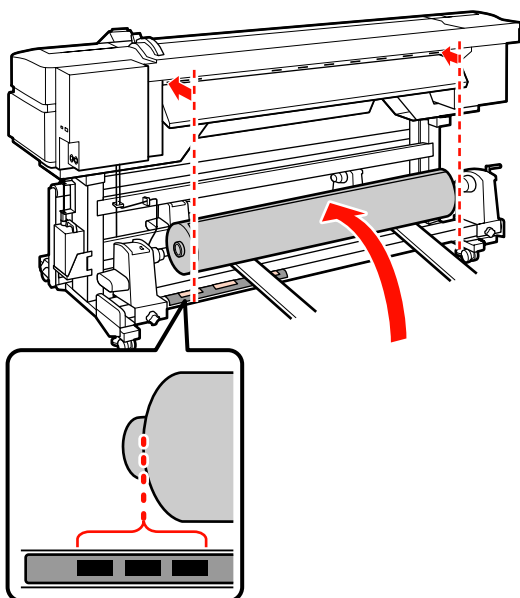
セットしたメディアの巻き仕様と［メディア設定変更］メニューの［ロール巻き仕様設定］が一致するように設定してください。［ロール巻き仕様設定］のメーカー設定値は［印刷面外巻き］になっています。印刷面内巻きのメディアをセットしたときは、セット後に必ず［印刷面内巻き］に変更してください。

設定方法の詳細 ☞「ロール巻き仕様設定」57 ページ

4 メディア左端は背面手前側バーに貼ったラベルの黒四角のいずれか **1** つの範囲内に、右端は本機背面の穴のいずれか **1** つの範囲内に入るようにメディア位置を調整します。

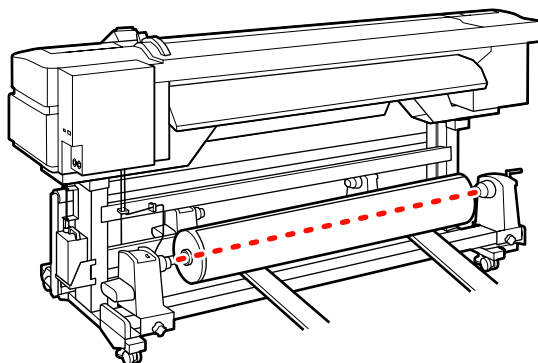
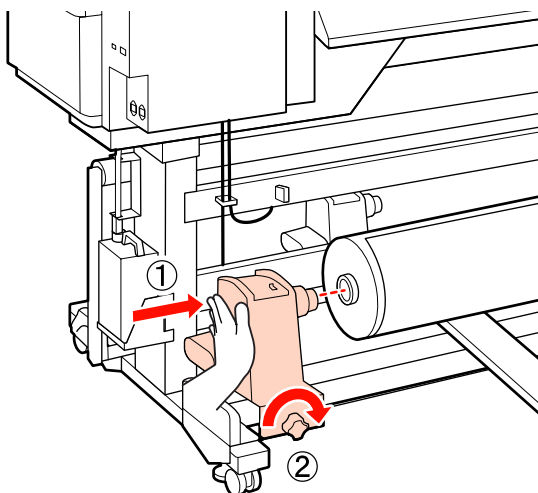
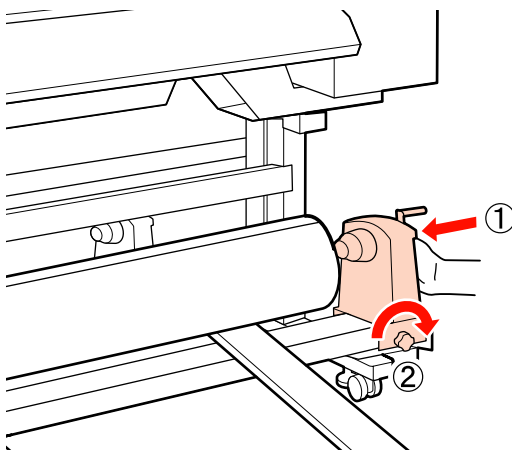
メディア幅ごとの推奨セット位置は以下で確認してください。

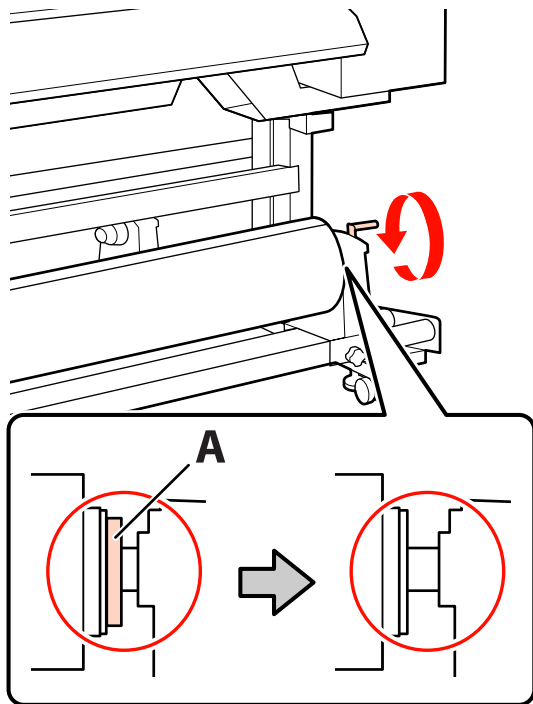
☞「メディア幅ごとのセット位置」63 ページ

参考

黒四角が描かれたラベルを貼っていないときは、別冊の『セットアップガイド』をご覧になり貼り付けてください。

☞『セットアップガイド』（冊子）

5 **メディアとロールホルダーの位置を合わせます。**

メディアの紙管とロールホルダーが水平になるようにリフターの高さを調整します。

6 **左側のロールホルダーをしっかりと差し込みます。続いて、ロールホルダー固定ネジを締めて、ロールホルダーが動かないように固定します。**

7 **右側のロールホルダーをしっかりと差し込みます。続いて、ロールホルダー固定ネジを締めて、ロールホルダーが動かないように固定します。**

8 リフターを抜きます。

9 以下の図の **A** の部分が完全に入り込むまでハンドルを回します。

!重要

A の部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないでください。押し込みすぎるとロールホルダーが破損するおそれがあります。
ハンドルが回らなくなるまで回しても A の部分が隠れないときは、ロールホルダーがしっかりと差し込まれていない可能性があります。手順 7 からやり直してください。

10 メディアセットレバーを上げます。

11 メディアを引き出して本機に挿入します。

参考

メディアが重くて引き出しにくいときは、左側のロールホルダー上面の駆動スイッチを倒すとメディアが送られます。
印刷面外巻きのとき 側
印刷面内巻きのとき 側

12 メディアを加圧ローラーより向こうまで挿入し、メディアセットレバーを下げてメディアを仮固定します。

13 本機の前面に回って、前面カバーを開けます。

14 メディアの中央を持ってメディアセットレバーを上げます。

15 アフターヒーターの下側のラベルを超えるまで、メディアをまっすぐに引き出します。

メディアの右端がアフターヒーター上の 2 箇所のラベルの目盛りと平行になるように引き出してください。

> **!重要**
> メディアの右端がラベルの目盛りからはみ出しているときは、必ず手順 14 から逆順で手順 3 まで戻ってセットし直してください。メディアをセットした状態で、ロールホルダーの位置を動かさないでください。

16 加圧ローラーのセット位置を調整します。

通常印刷時は加圧ローラー（弱）、レイヤー印刷時は加圧ローラー（強）を使います。またメディア幅や使用するローラーにより位置が異なります。

「印刷可能領域」を参照して、加圧ローラーが黒いラベルの貼られている範囲内で、メディアの端から 5mm（加圧ローラー（弱））、または 10mm（加圧ローラー（強））になるようにセットします。

☞「印刷可能領域」63 ページ

レイヤー印刷 ☞「高画質印刷」18 ページ

17 メディアがセットされていない位置の加圧ローラーや使用しない加圧ローラーを、黒いラベルが貼られている範囲外に移動します。

18 メディアセットレバーを下げてメディアを固定します。

このまま印刷するときは、手順 19 に進みます。

メディアを自動巻取りユニットに取り付けるときは、以下をご覧ください。

☞「自動巻取りユニットの使い方」49 ページ

参考

どうしてもメディア先端から印刷したいときは、操作パネルの【▲】ボタンを押して、メディアを少し巻き戻します。
ただし、このときメディアの先端をカッター溝の上（加圧ローラー側）まで巻き戻さないようにしてください。

19 **付属のメディア押さえ板をメディアの両端に取り付けます。**

メディア押さえ板の丸い穴の中央にメディアの左右端が位置するように、メディア押さえ板の横方向の位置を合わせます。メディア押さえ板の四角い窓から白線が見えるように上下に調整して、板が浮かないよう確実に押し込みます。

!重要

- メディアの厚さが 0.4mm 以上あるときは、メディア押さえ板を使用しないでください。メディア押さえ板がプリントヘッドに接触し、プリントヘッドが破損することがあります。
- メディア押さえ板を使わないときは、それぞれのメディア押さえ板をプラテンの左右の端に移動してください。
- 印刷を行ったときに、メディアの左右端が汚れたり、破れたりするときはメディア押さえ板を取り外してください。
- メディア押さえ板を使用するときは、左右のマージンを 10mm 以上に設定してください。10mm 以下に設定すると、メディア押さえ板の上から印刷されることがあります（レイヤー印刷時は不要）。

20 **前面カバーを閉めます。**

メディアのセット方法（SC-S30650 の場合）

装着しているメディア搬送ユニットが、標準装備のものかオプションの重量メディア対応のものかによって、メディアのセット方法が異なります。
標準メディア搬送ユニット装着時は、次項をご覧ください。
重量メディア搬送ユニット装着時 ☞「重量メディア搬送ユニット装着時（オプション)」41 ページ

標準メディア搬送ユニット装着時

本機に標準メディア搬送ユニットが装着されているときのメディアのセット方法を説明します。

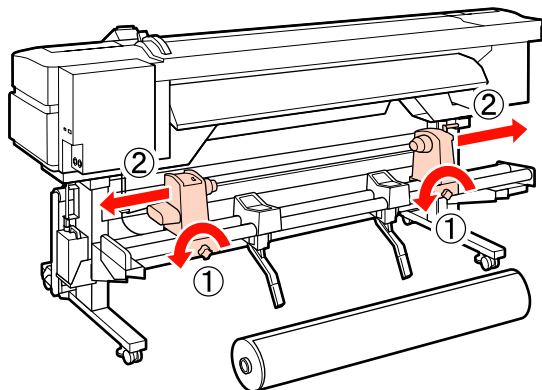
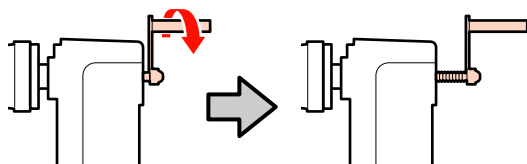
⚠注意

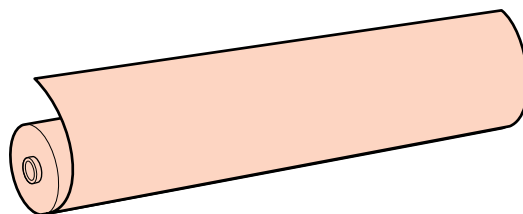
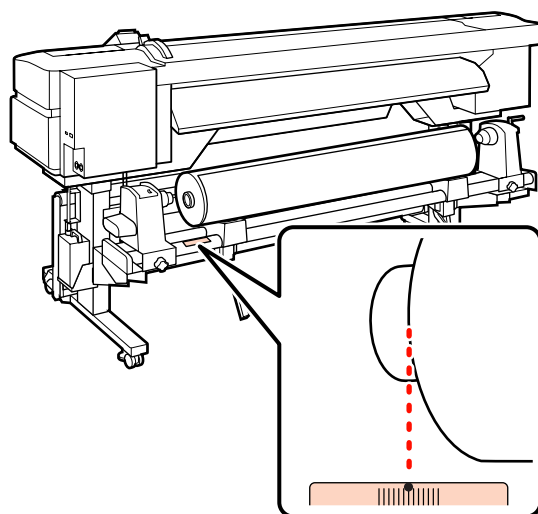
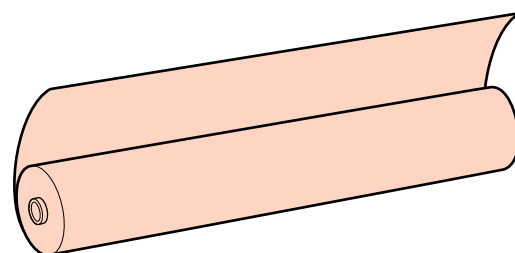
メディアは重いので、1 人で運ばないでください。メディアをセットしたり取り外したりする際は、2 人以上で行ってください。

1 **【⏻】ボタンを押して本機の電源を入れます。**

2 **ロールホルダー固定ネジを左右両側とも緩め、ロールホルダーをロールメディアの幅よりも外側に移動します。**

ロールサポートが均等に配置されていないときは、均等になるように移動します。

!重要

右側のロールホルダーのハンドルの軸が見えていないときは、ハンドルを回らなくなるまで、手前に回します。ハンドルの軸が見えていないと、メディアを正しく取り付けられません。

3 **メディアの巻き仕様に応じて、以下の向きでメディアをロールサポートに載せます。このとき、メディアの左端をラベル上のセット位置に合わせて載せてください。**

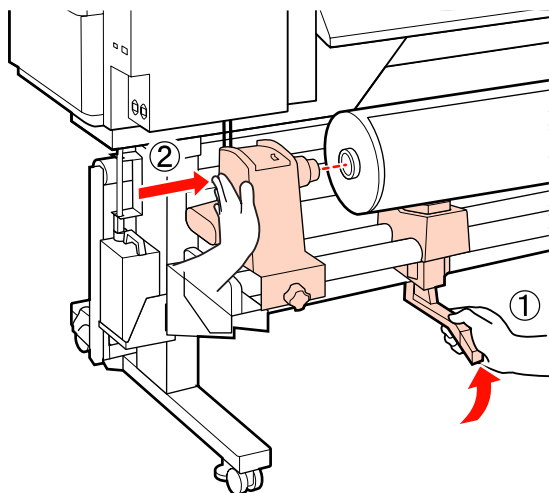
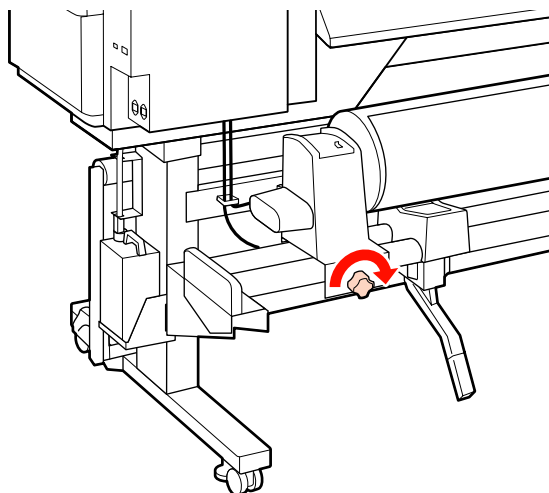
印刷面外巻き

印刷面内巻き

ラベルにセット位置合わせの印が付いていないときは、別冊の『セットアップガイド』をご覧になり印を付けてください。

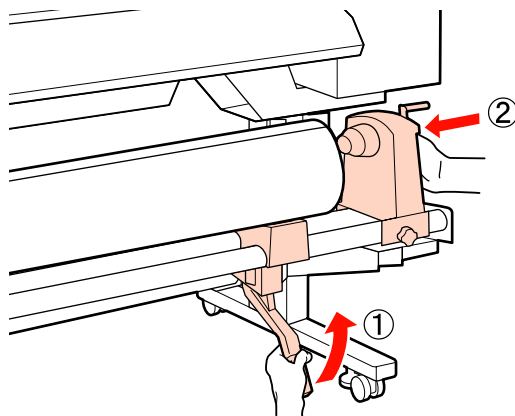
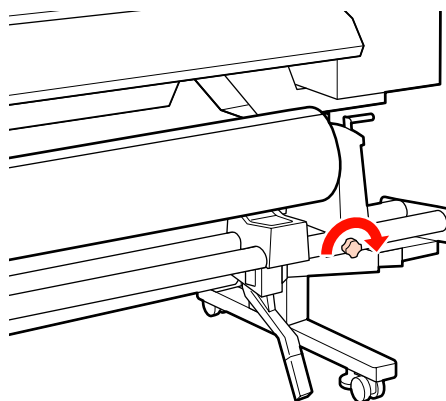
☞『セットアップガイド』(冊子)

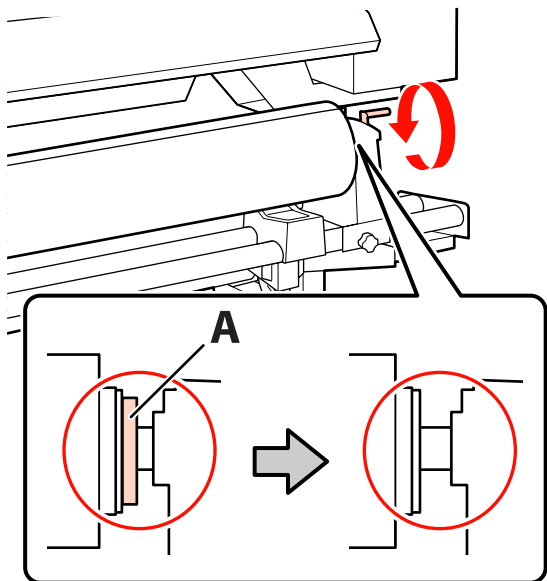
参考

セットしたメディアの巻き仕様と［メディア設定変更］メニューの［ロール巻き仕様設定］が一致するように設定してください。［ロール巻き仕様設定］のメーカー設定値は［印刷面外巻き］になっています。印刷面内巻きのメディアをセットしたときは、セット後に必ず［印刷面内巻き］に変更してください。
設定方法の詳細 ☞「ロール巻き仕様設定」57 ページ

4 左側のリフトレバーを上げてメディアを持ち上げ、ロールホルダーをしっかりと差し込みます。

ロールの外径が 140mm 未満のメディアをセットするときは、手で抱え上げてロールホルダーにセットします。リフトレバーで持ち上げても紙管部分がロールホルダーに届きません。

5 ロールホルダー固定ネジを締めて、ロールホルダーが動かないように固定します。

6 右側のリフトレバーを上げてメディアを持ち上げ、ロールホルダーをしっかりと差し込みます。

手順 4 と同様に、ロールの外径が 140mm 未満のメディアをセットするときは、手で抱え上げてロールホルダーにセットします。

7 ロールホルダー固定ネジを締めて、ロールホルダーが動かないように固定します。

8 以下の図の **A** の部分が完全に入り込むまでハンドルを回します。

!重要

A の部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないでください。押し込みすぎるとロールホルダーが破損するおそれがあります。

9 メディアセットレバーを上げます。

10 メディアを引き出して本機に挿入します。

参考

メディアが重くて引き出しにくいときは、左側のロールホルダー上面の駆動スイッチを倒すとメディアが送られます。

印刷面外巻きのとき 側

印刷面内巻きのとき 側

11 メディアを加圧ローラーより向こうまで挿入し、メディアセットレバーを下げてメディアを仮固定します。

メディアの左端がプリヒーター上のラベルの四角の中央を通っていることを確認してください。

!重要

メディアの左端がラベルのセット範囲からはみ出しているときは、必ず手順 11 から逆順で手順 3 まで戻ってセットし直してください。メディアをセットした状態で、ロールホルダーの位置を動かさないでください。

12 本機の前面に回って、前面カバーを開けます。

13 メディアの中央を持ってメディアセットレバーを上げます。

14 アフターヒーターの下側のラベルを超えるまで、メディアをまっすぐに引き出します。

メディアの右端がアフターヒーター上の 2 箇所のラベルの目盛りと平行になるように引き出してください。

15 メディアセットレバーを下げてメディアを固定します。

このまま印刷するときは、手順 16 に進みます。

メディアを自動巻取りユニットに取り付けるときは、以下をご覧ください。

☞「自動巻取りユニットの使い方」49 ページ

参考

どうしてもメディア先端から印刷したいときは、操作パネルの【▲】ボタンを押して、メディアを少し巻き戻します。
ただし、このときメディアの先端をカッター溝の上（加圧ローラー側）まで巻き戻さないようにしてください。

16 **付属のメディア押さえ板をメディアの両端に取り付けます。**

メディア押さえ板の丸い穴の中央にメディアの左右端が位置するように、メディア押さえ板の横方向の位置を合わせます。メディア押さえ板の四角い窓から白線が見えるように上下に調整して、板が浮かないよう確実に押し込みます。

> **!重要**
>
> - メディアの厚さが 0.4mm 以上あるときは、メディア押さえ板を使用しないでください。メディア押さえ板がプリントヘッドに接触し、プリントヘッドが破損することがあります。
> - メディア押さえ板を使わないときは、それぞれのメディア押さえ板をプラテンの左右の端に移動してください。
> - 印刷を行ったときに、メディアの左右端が汚れたり、破れたりするときはメディア押さえ板を使用しないでください。
> - メディア押さえ板を使用するときは、左右のマージンを 10mm 以上に設定してください。10mm 以下に設定すると、メディア押さえ板の上から印刷されることがあります。

17 **前面カバーを閉めます。**

重量メディア搬送ユニット装着時（オプション）

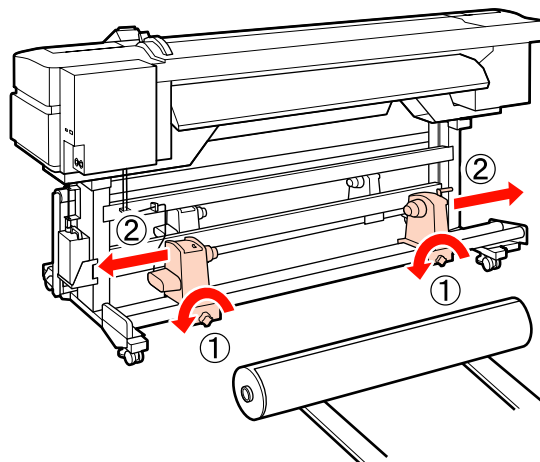
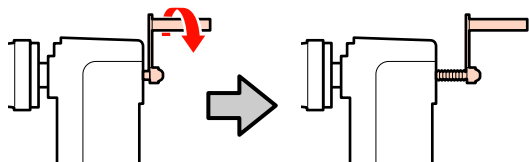
本機背面に、オプションの重量メディア搬送ユニットを装着しているときのメディアのセット方法を説明します。40kg 以上のメディアを取り扱う際は、リフターの使用をお勧めします。
以降の、セット方法もリフターを使って行う方法を説明します。
以下の作業で使用可能なリフターは、次の通りです。

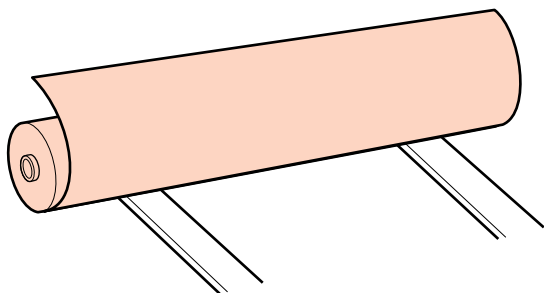
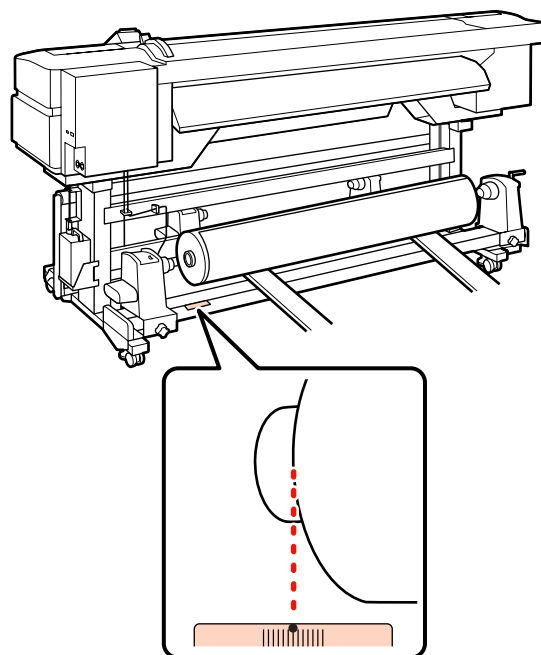
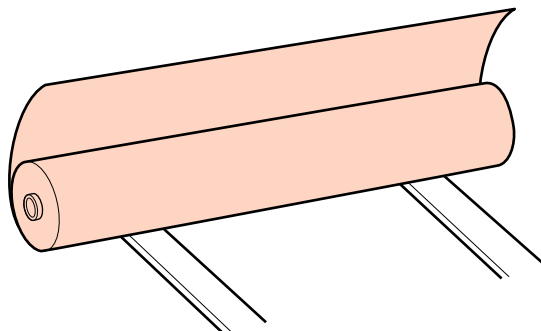
- フォークや台の厚み：28mm 以下
- フォークや台の面が床から約 190mm まで下げられる。

> **注意**
>
> メディアは重いので、運搬やセットは、2 人以上で行ってください。40kg 以上のメディアを取り扱う際は、リフターの使用をお勧めします。

1 **【⏻】ボタンを押して本機の電源を入れます。**

2 **ロールホルダー固定ネジを左右両側とも緩め、ロールホルダーをメディアの幅よりも広げます。**

重要

右側のロールホルダーのハンドルの軸が見えていないときは、ハンドルを回らなくなるまで、手前に回します。ハンドルの軸が見えていないと、メディアを正しく取り付けられません。

3 メディアの巻き仕様に応じて、以下の向きでメディアをリフターに載せます。このとき、メディアの左端がラベル上のセット位置と合うようにリフターを移動してください。

印刷面外巻き

印刷面内巻き

ラベルにセット位置合わせの印が付いていないときは、オプションの重量メディアユニットに付属の『セットアップガイド』をご覧になり印を付けてください。

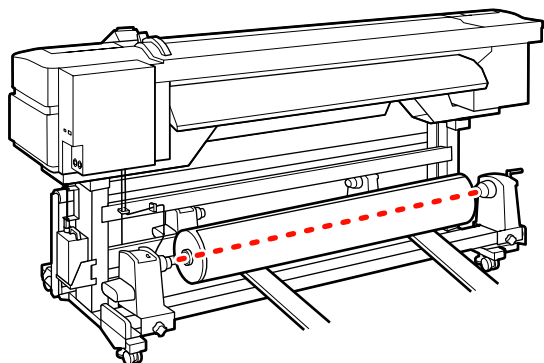
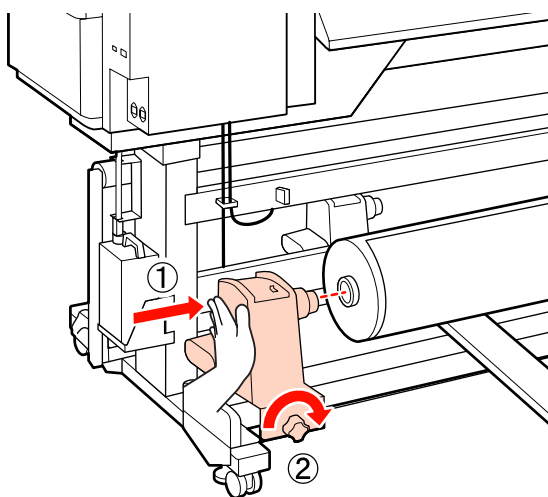
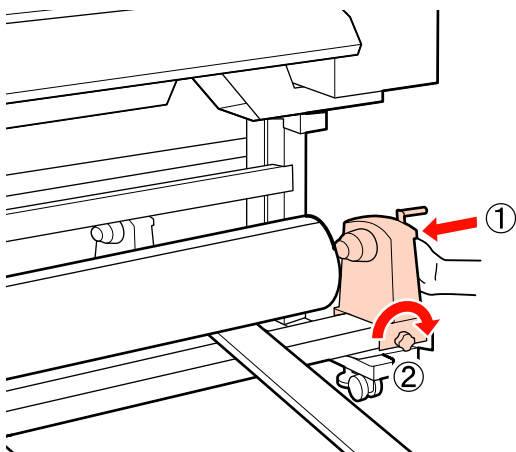
☞『重量メディアユニット セットアップガイド』（冊子）

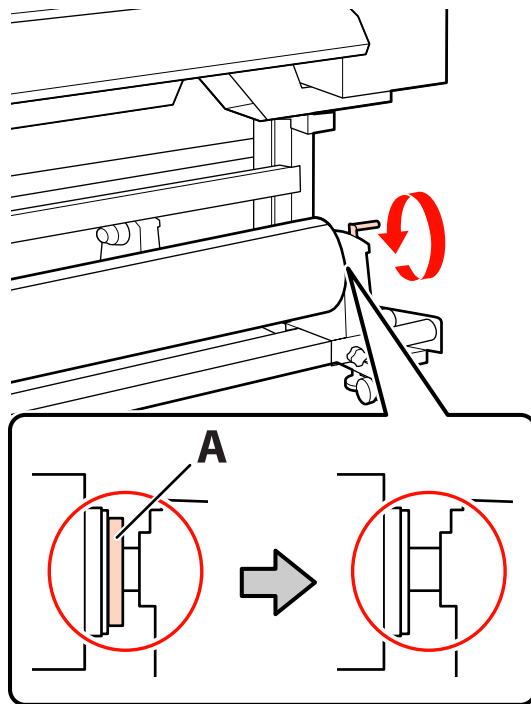
参考

セットしたメディアの巻き仕様と［メディア設定変更］メニューの［ロール巻き仕様設定］が一致するように設定してください。［ロール巻き仕様設定］のメーカー設定値は［印刷面外巻き］になっています。印刷面内巻きのメディアをセットしたときは、セット後に必ず［印刷面内巻き］に変更してください。

設定方法の詳細 ☞「ロール巻き仕様設定」57 ページ

4 メディアとロールホルダーの位置を合わせます。

メディアの紙管とロールホルダーが水平になるようにリフターの高さを調整します。

5 左側のロールホルダーをしっかりと差し込みます。続いて、ロールホルダー固定ネジを締めて、ロールホルダーが動かないように固定します。

6 右側のロールホルダーをしっかりと差し込みます。続いて、ロールホルダー固定ネジを締めて、ロールホルダーが動かないように固定します。

7 リフターを抜きます。

8 以下の図の **A** の部分が完全に入り込むまでハンドルを回します。

重要

A の部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないでください。押し込みすぎるとロールホルダーが破損するおそれがあります。
ハンドルが回らなくなるまで回しても A の部分が隠れないときは、ロールホルダーがしっかりと差し込まれていない可能性があります。手順 6 からやり直してください。

9 メディアセットレバーを上げます。

10 メディアを引き出して本機に挿入します。

参考

メディアが重くて引き出しにくいときは、左側のロールホルダー上面の駆動スイッチを倒すとメディアが送られます。
印刷面外巻きのとき　側
印刷面内巻きのとき　側

11 メディアを加圧ローラーより向こうまで挿入し、メディアセットレバーを下げてメディアを仮固定します。

メディアの左端がプリヒーター上のラベルの四角の中央を通っていることを確認してください。

!重要

メディアの左端がラベルのセット範囲からはみ出しているときは、必ず手順 11 から逆順で手順 3 まで戻ってセットし直してください。メディアをセットした状態で、ロールホルダーの位置を動かさないでください。

12 本機の前面に回って、前面カバーを開けます。

13 メディアの中央を持ってメディアセットレバーを上げます。

14 アフターヒーターの下側のラベルを超えるまで、メディアをまっすぐに引き出します。

メディアの右端がアフターヒーター上の 2 箇所のラベルの目盛りと平行になるように引き出してください。

15 メディアセットレバーを下げてメディアを固定します。

このまま印刷するときは、手順 16 に進みます。

メディアを自動巻取りユニットに取り付けるときは、以下をご覧ください。

「自動巻取りユニットの使い方」49 ページ

参考

どうしてもメディア先端から印刷したいときは、操作パネルの【▲】ボタンを押して、メディアを少し巻き戻します。
ただし、このときメディアの先端をカッター溝の上（加圧ローラー側）まで巻き戻さないようにしてください。

16 付属のメディア押さえ板をメディアの両端に取り付けます。

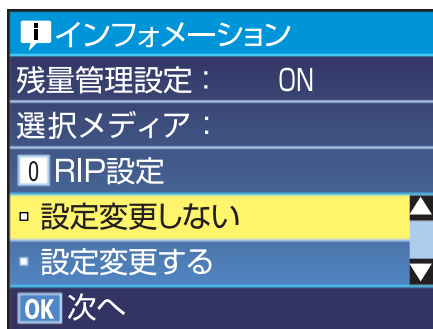
メディア押さえ板の丸い穴の中央にメディアの左右端が位置するように、メディア押さえ板の横方向の位置を合わせます。メディア押さえ板の四角い窓から白線が見えるように上下に調整して、板が浮かないよう確実に押し込みます。

重要

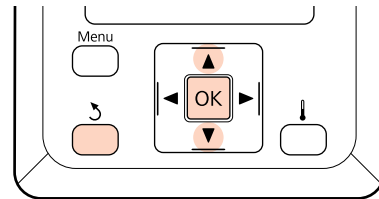
- メディアの厚さが 0.4mm 以上あるときは、メディア押さえ板を使用しないでください。メディア押さえ板がプリントヘッドに接触し、プリントヘッドが破損することがあります。
- メディア押さえ板を使わないときは、それぞれのメディア押さえ板をプラテンの左右の端に移動してください。
- 印刷を行ったときに、メディアの左右端が汚れたり、破れたりするときはメディア押さえ板を取り外してください。
- メディア押さえ板を使用するときは、左右のマージンを 10mm 以上に設定してください。10mm 以下に設定すると、メディア押さえ板の上から印刷されることがあります。

17 **前面カバーを閉めます。**

メディアの確認と設定変更

メディアのセットが終了すると、操作パネルの画面が以下の表示になります。

この画面では、セットしたメディアに対して、以下の 2 点の確認と設定変更ができます。

- 残量管理設定
  ［ON］：メディアの残量管理を行います。
  ［OFF］：メディアの残量管理は行いません。
  ［残量管理設定］を［ON］にしていると、設定したメディアの長さと印刷で使用した量からおおよそのメディア残量が割り出され、操作パネルの画面に残量値が表示されます。印刷前に画面でおおよそのメディア残量が確認できるため、メディア交換時期が把握しやすくなります。
  また、設定した値にメディアの残量が達すると警告メッセージが表示されます。
- 選択メディア
  メディア設定が何に基づいて行われるかが、以下のように表示されます。
  0 ［RIP 設定］：RIP での設定に基づき印刷します。
  1 ［XXXXXXXXXXXXXXXXXXX］：本機に登録されている、設定番号 1 のメディア設定に基づき印刷します。
  本機では使用するメディアの特性に合わせて、［ヒーター温度設定］や［吸着力］、［ギャップ調整］など、さまざまなメニューを設定しメディア設定として保存できます。保存は、設定番号 1～30 に割り当てることで 30 個まで行えます。
  メディア設定の詳細 ☞「設定の保存方法」55 ページ

以下の設定で使用するボタン

1 **任意の項目を選択して実行します。**

表示されている内容で印刷するとき

【▼】/【▲】ボタンを押して［設定変更しない］を選択し、【OK】ボタンを押します。

このあとは、手順 6 に進みます。

設定を変更するとき

【▼】/【▲】ボタンを押して［設定変更する］を選択し、【OK】ボタンを押します。

2 **変更する項目を選択して【OK】ボタンを押します。**

3 **設定値を選択して【OK】ボタンを押します。**

4 **【↺】ボタンを押すと、手順 2 の画面に戻りますので、再度【↺】ボタンを押します。**

5 **設定内容が変わったことを確認して、【▼】/【▲】ボタンを押して［設定変更しない］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

6 **［残量管理設定］を［ON］にしているときは、セットしたメディアの長さを入力する画面が表示されます。**
【▼】/【▲】ボタンを押してメディアの全長を 5.0～99.5m の範囲で設定し、【OK】ボタンを押します。設定は 0.5m 単位で行えます。

しばらくして画面に［印刷可能］と表示されたら、印刷ができます。コンピューターから印刷するデータを送信してください。

メディアの交換

印刷終了後に、メディアを交換するときは、メディア残量を印刷後にメディアをカットしてメディアロールを取り外します。

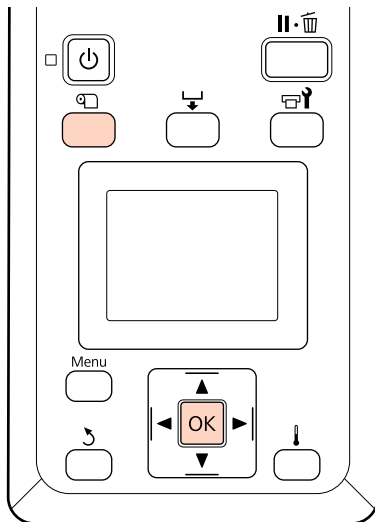
メディア残量の印刷

本機では、セットしているメディアの残量値や残量警告メッセージが操作パネルの画面に表示されます。これにより、印刷前にメディア交換が必要かどうかが把握しやすくなります。
このメディア残量管理をするため、メディアのセット時にメディア長さの入力が必要です。
メディアを交換する前に、取り外すメディアの先端にメディア残量を印刷できますので、次回のメディアセット時にこの印刷を見てメディアの長さを入力すれば、正確な残量管理に役立ちます。

参考

設定メニューの［残量管理設定］が［OFF］になっていると残量値のカウントや表示等は行われません。
☞「メディアの確認と設定変更」46 ページ

メディア残量を印刷する方法を説明します。

以下の設定で使用するボタン

1 印刷可能状態であることを確認します。

2 【🄼】ボタンを押し、画面に表示されたメニューで［メディア残量管理］を選択し【OK】ボタンを押します。

3 ［メディア残量印刷］を選択し【OK】ボタンを押します。

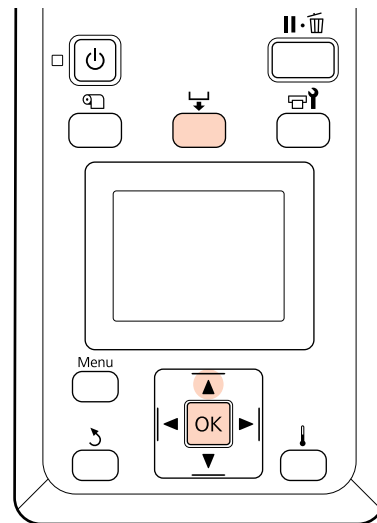
4 【OK】ボタンを押すと、メディア残量が印刷されます。

メディアのカット

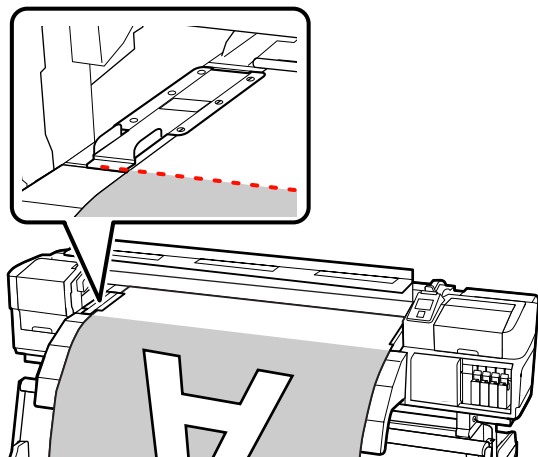
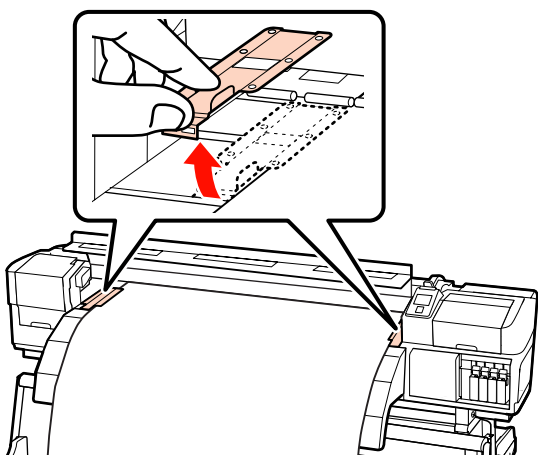
印刷終了後にメディアをカットするときは、市販のカッターを使ってカットします。市販のカッターでメディアをカットする方法を説明します。

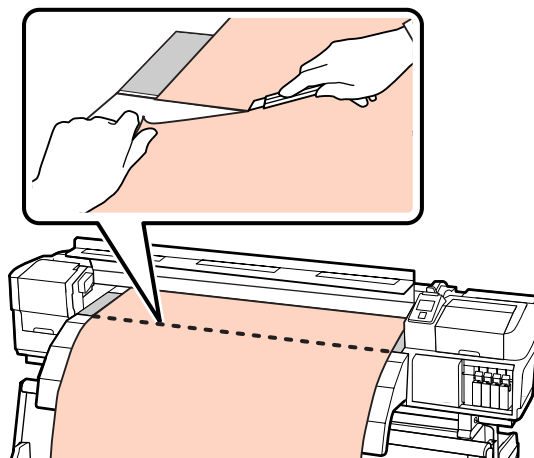
⚠注意

- ヒーターやメディア押さえ板は、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- メディアを切る際は、カッターなどの刃物で手や指を切らないように注意してください。

以下の設定で使用するボタン

1 印刷可能状態であることを確認します。

2 【⏎】ボタンを押して、【OK】ボタンを押します。メディアの印刷終端がカッター溝の位置まで送られます。

メディア残量の印刷をしたときは、残量の印刷が取り外すロール側に残るように、【▲】ボタンを押してカッター溝より向こう側に戻します。

3 メディア押さえ板をメディアの両端から外します。

4 市販のカッターで切り取ります。

カッターの刃をカッター溝に沿って移動してカットします。

参考

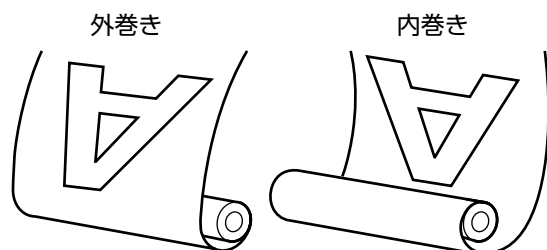
- 自動巻取りユニットを使用しているときは、自動巻取りユニットの Auto スイッチを Off に合わせてから、Manual スイッチをメディアの巻取り方向に応じて操作してカットしたメディアを巻き取ってください。
- SC-S70650、SC-S50650 で続けて印刷をしないときは、加圧ローラーの変形を防ぐため、メディアセットレバーを上げてください。

メディアの取り外し

この後は、メディアのロールをロールホルダーから取り外します。ロールは、セットしたときと逆の手順で取り外します。

自動巻取りユニットの使い方

メディアの取り付けと巻き取り

自動巻取りユニットを使用すると、印刷後のメディアを自動で巻き取りながら印刷できます。これにより無人運転が効率よくできます。
本機の自動巻取りユニットは、以下のどちらかの方向で巻き取ることができます。

外巻きは、印刷面を外側にして巻き取ります。
内巻きは、印刷面を内側にして巻き取ります。

以下の手順は、標準装備の自動巻取りユニットのイラストを用いて説明していますが、オプションの重量メディア対応の自動巻取りユニットをお使いのときも同様の手順となります。

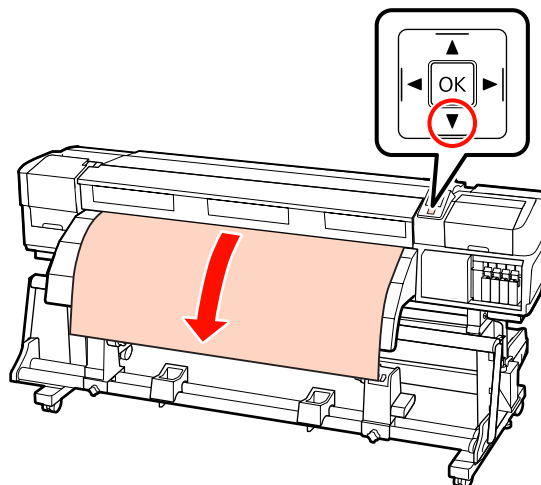
注 意

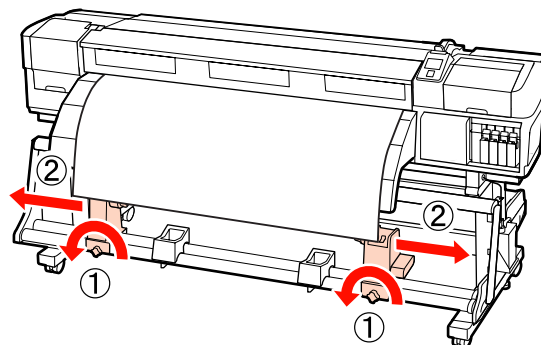
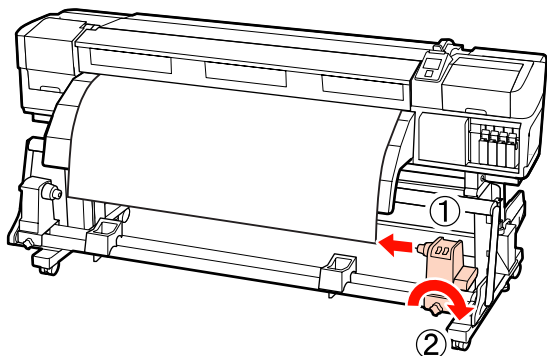
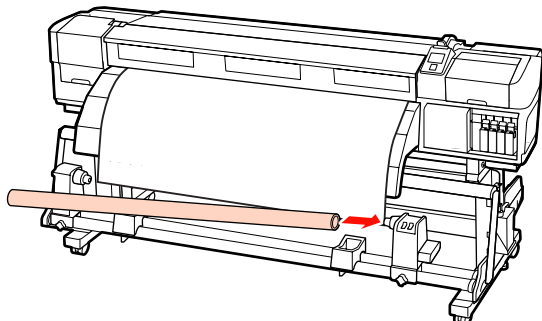
- 自動巻取りユニット動作中は、手や髪の毛などが稼動部に巻き込まれないように注意してください。
けがをするおそれがあります。
- メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しは、マニュアルをご覧になり正しく作業してください。
メディア、紙管、巻き取った印刷物が落下するとけがをするおそれがあります。

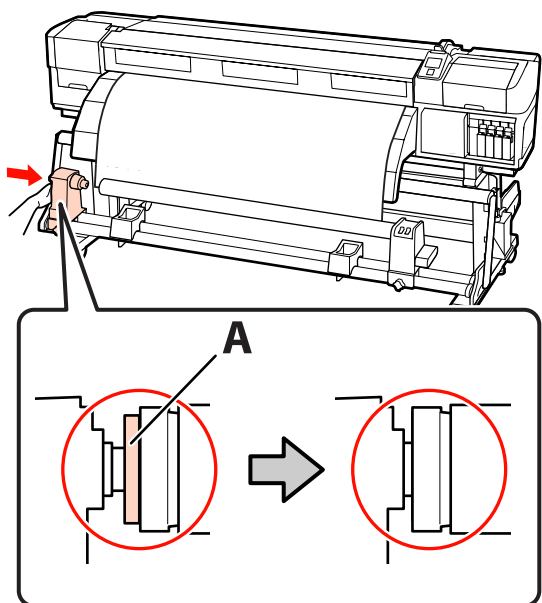
重要

SC-S70650、SC-S50650 でレイヤー印刷時に自動巻取りユニットを使用すると、巻き取りが正常にできなかったり、印刷品質が低下したりすることがあります。
レイヤー印刷 ☞「高画質印刷」18 ページ

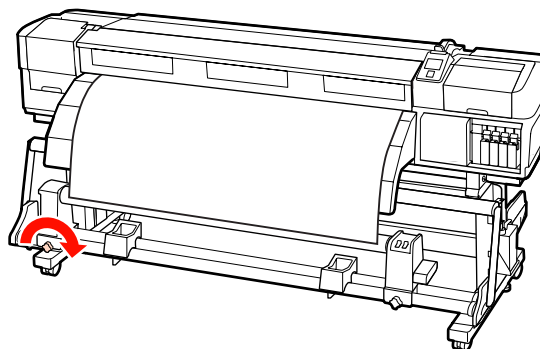
紙管の取り付け

1 メディアが正しくセットされていることを確認し、【▼】ボタンを押し続けてメディアを自動巻取りユニットの紙管ホルダーの位置まで送り出します。

2 紙管ホルダー固定ネジを左右両側とも緩め、紙管ホルダーをメディアの幅よりも外側に移動します。

ロールサポートが均等に配置されていないときは、均等になるように移動します。

3 右側の紙管ホルダーをメディア右端に合わせて移動し、固定ネジを締めて固定します。

4 右側の紙管ホルダーに紙管を差し込みます。

5 左側の紙管ホルダーを紙管に差し込みます。

以下の図の A の部分が完全に入り込むまで紙管ホルダーを押し付けます。

!重要

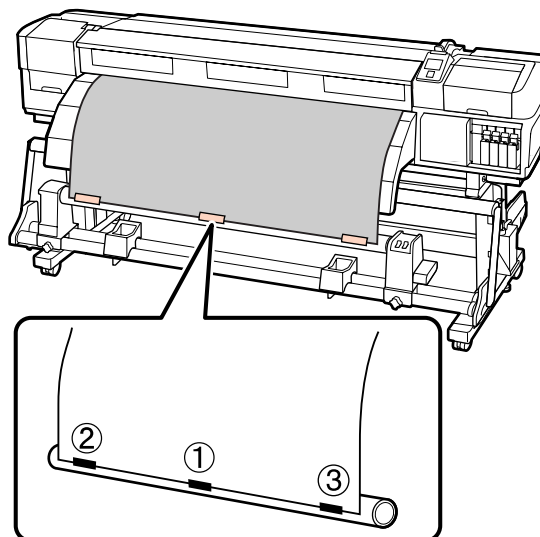
A の部分が隠れたら、それ以上は押し込まないでください。押し込みすぎると、正しく巻き取れないことがあります。

6 紙管ホルダー固定ネジを締めて、紙管ホルダーが動かないように固定します。

以降の手順は、以下をご覧ください。

外巻きで巻き取るとき 次項をご覧ください。

内巻きで巻き取るとき ☞「内巻きでの巻き取り」51 ページ

外巻きでの巻き取り

1 メディアを巻き取り紙管に貼り付けます。

市販のテープで中央、左右の順に貼り付けます。

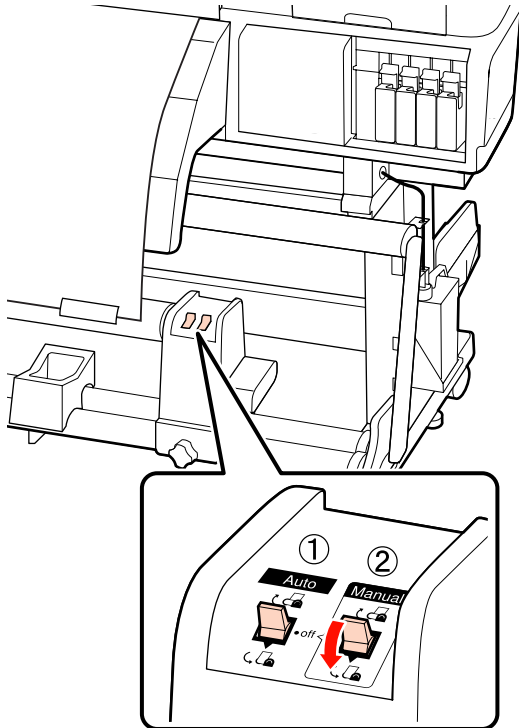
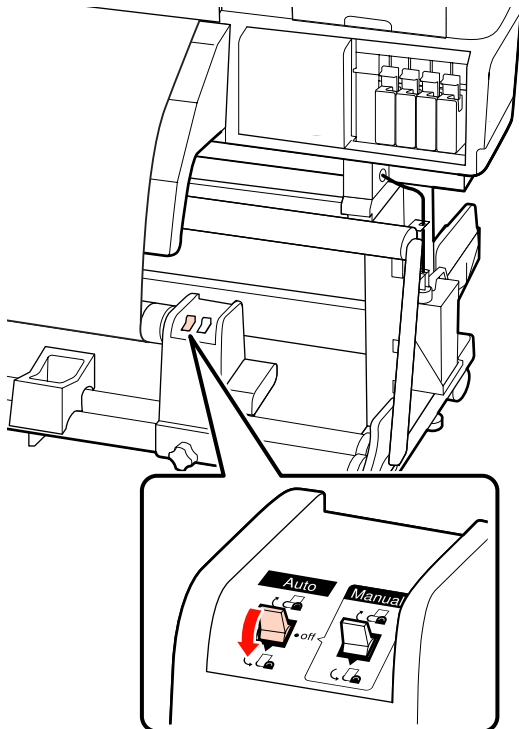
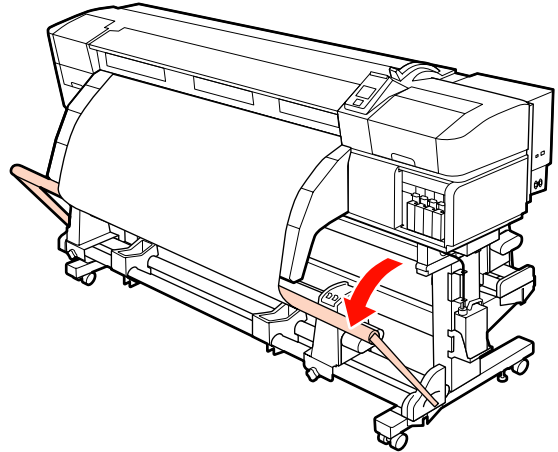
2 操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取り紙管 1 周分程度メディアを送り出します。

3 **Auto** スイッチを **Off** にして、**Manual** スイッチを 側に押し続け、メディアを紙管に 1 周巻き取らせます。

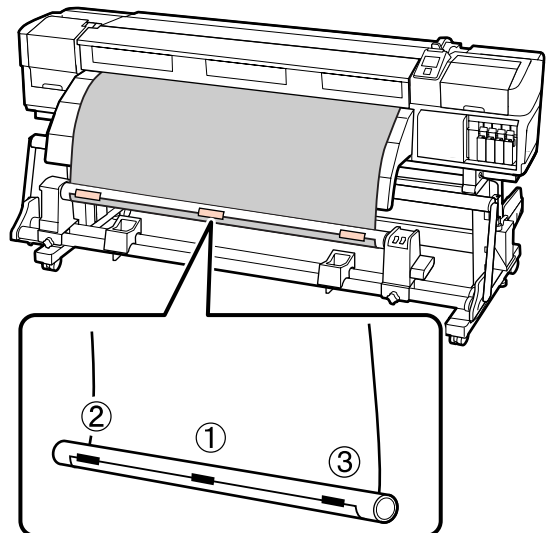
4 **Auto** スイッチを にセットします。

5 テンショナーを倒します。

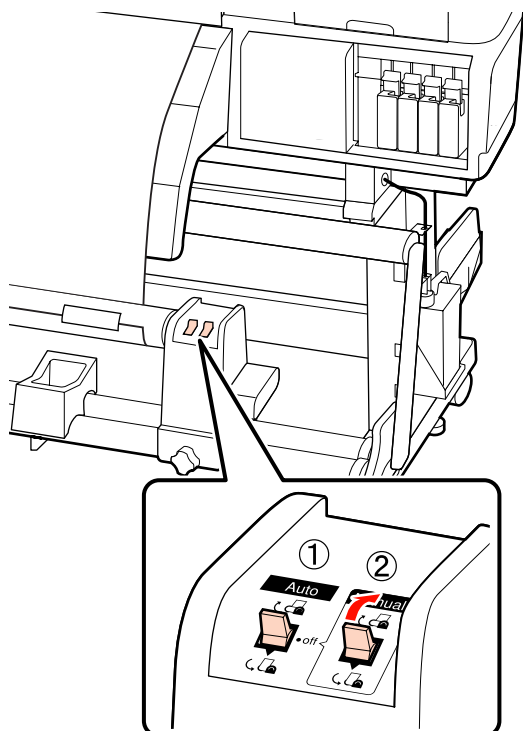
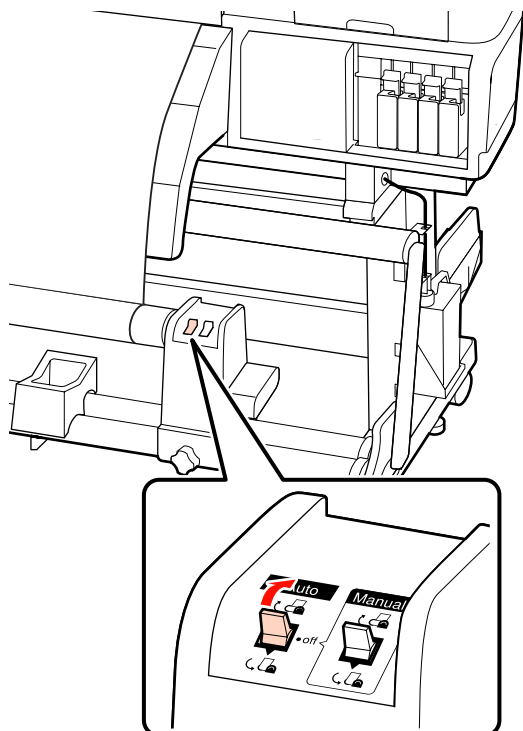
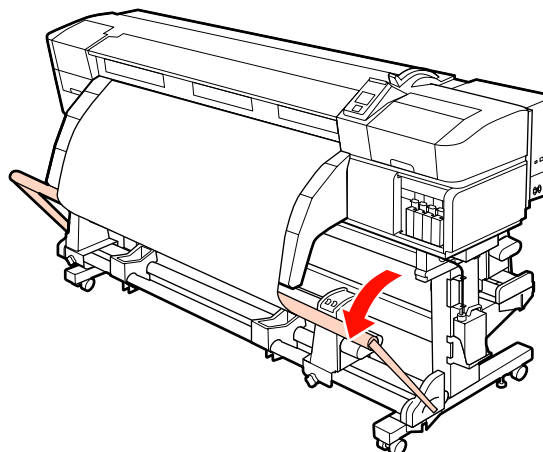
6 操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取り紙管が回転し巻き取りを開始するまでメディアを送り出します。

!重要

テンショナーを前方に倒していないと、自動巻取りユニットは機能しません。

内巻きでの巻き取り

1 メディアを巻き取り紙管に貼り付けます。

市販のテープで中央、左右の順に貼り付けます。

2 操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取り紙管 **1** 周分程度メディアを送り出します。

3 **Auto スイッチを Off にして、Manual スイッチを 側に押し続け、メディアを紙管に 1 周巻き取らせます。**

4 **Auto スイッチを にセットします。**

5 **テンショナーを倒します。**

6 **操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取り紙管が回転し巻き取りを開始するまでメディアを送り出します。**

> **!重要**
>
> テンショナーを前方に倒していないと、自動巻取りユニットは機能しません。

巻き取ったメディアの取り外し

装着している自動巻取りユニットが、標準装備のものかオプションの重量メディア対応のものかによって、メディアの取り外し方が異なります。
標準自動巻取りユニット装着時は、次項をご覧ください。
重量自動巻取りユニット装着時 ☞「重量自動巻取りユニット装着時（オプション）」53 ページ

標準自動巻取りユニット装着時

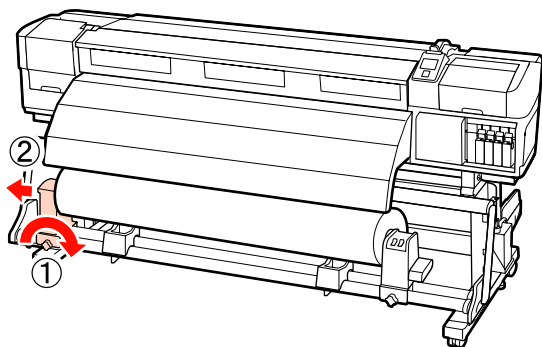
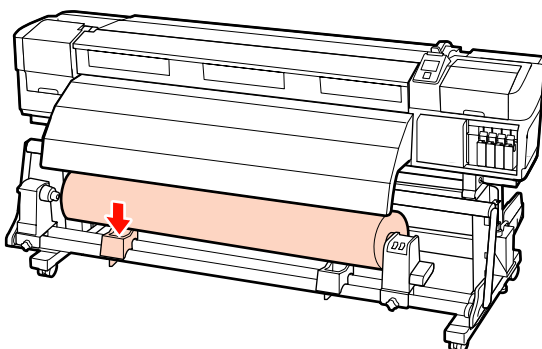
巻き取り終わったメディアの取り外し方を説明します。

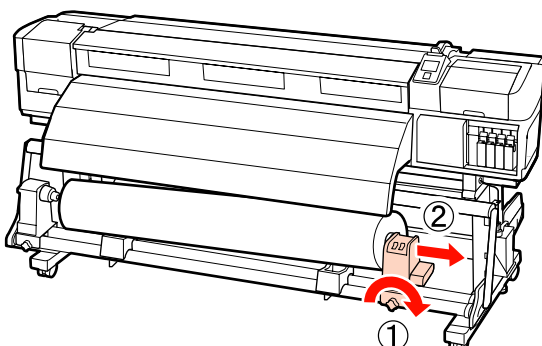
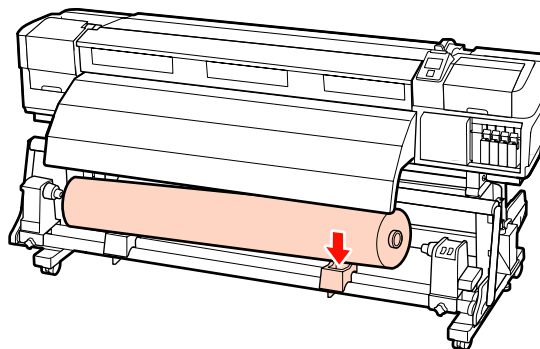
> **⚠注意**
>
> - 巻き取り後のメディアが 20kg を越えるときは、取り外しや運搬は、2 人以上で行ってください。
> - メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しは、マニュアルをご覧になり正しく作業してください。
> メディア、紙管、巻き取った印刷物が落下するとけがをするおそれがあります。

1 **メディアをカットし、切り離したメディアを最後まで巻き取ります。**

☞「メディアのカット」47 ページ

2 巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの左側を下から支えます。

3 左側の紙管ホルダーの固定ネジを緩めて、紙管ホルダーを引き抜きます。

4 ロールをロールサポート上に降ろします。

5 巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの右側を下から支えます。

6 右側の紙管ホルダーの固定ネジを緩めて、紙管ホルダーを引き抜きます。

7 ロールをロールサポート上に降ろします。

重量自動巻取りユニット装着時（オプション）

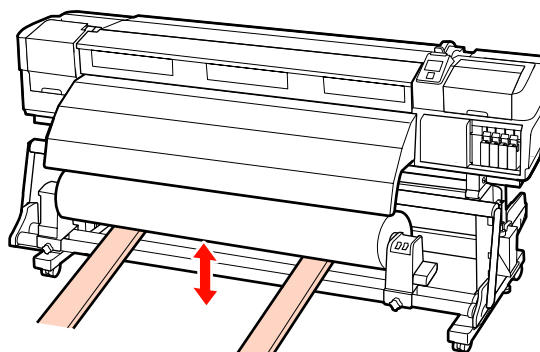
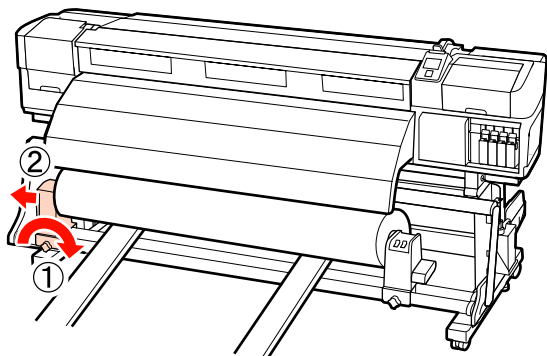
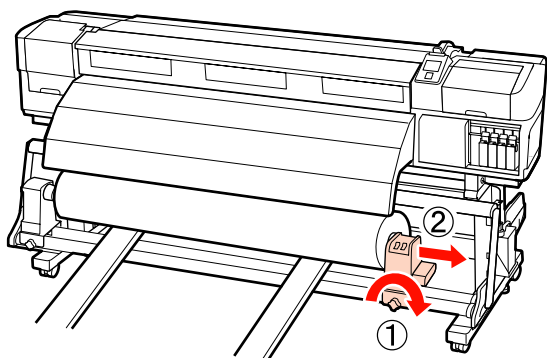
巻き取り終わったメディアをリフターを使って取り外す方法を説明します。
以下の作業で使用可能なリフターは、次の通りです。

- フォークや台の厚み：28mm 以下
- フォークや台の面が床から約 190mm まで下げられる。

> ⚠注 意
> - 巻き取り後のメディアが 20kg を越えるときは、取り外しや運搬は、2 人以上で行ってください。
>   40kg 以上になるときは、リフターの使用をお勧めします。
> - メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しは、マニュアルをご覧になり正しく作業してください。
>   メディア、紙管、巻き取った印刷物が落下するとけがをするおそれがあります。

1 メディアをカットし、印刷したメディアを最後まで巻き取ります。

☞「メディアのカット」47 ページ

2 巻き取ったメディアを支えるために、リフターをメディアと自動巻取りユニットの間に入れ高さを調整します。

3 左側の紙管ホルダーの固定ネジを緩めて、紙管ホルダーを引き抜きます。

4 右側の紙管ホルダーの固定ネジを緩めて、紙管ホルダーを引き抜きます。

印刷前の確認

印刷品質を維持するために日常、印刷業務をスタートするに当たり、以下の点検を行うことをお勧めします。

- インク残量の確認
  印刷途中でインクが限界値以下になったときは、対象のインクカートリッジを交換すれば印刷を続行できます。ただし、途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。あらかじめ、大量に印刷することがわかっているときは事前に残量が残り少ないインクカートリッジを新品に交換しておくことをお勧めします。取り出したインクカートリッジは再装着して使用できます。
  インク残量は画面のアイコンで確認できます。☞「画面の見方」16 ページ
  インクカートリッジの交換 ☞「交換方法」84 ページ

- ホワイト、メタリックシルバーインクのかくはん
  ホワイトおよびメタリックシルバーインクは 24 時間に 1 度、取り出して振る必要があります。前回の取り出しから 24 時間後にパネルメッセージでお知らせしますが、印刷業務スタート前に取り出して振ることをお勧めします。
  振り方 ☞「交換方法」84 ページ

- チェックパターン印刷
  チェックパターン印刷を行うと、ノズルの目詰まりをチェックができます。
  チェックパターンにかすれや欠けがあるときは、ヘッドクリーニングを行ってください。
  チェックパターンの印刷 ☞「ノズルの目詰まりチェック」68 ページ
  ヘッドクリーニング ☞「ヘッドクリーニングの方法」70 ページ

使用するメディアに最適な設定を保存（印刷メディアの設定）

メディア設定変更を行うと、使用するメディアの特性に合わせて、さまざまな設定項目を変更して保存できます。よく使うメディアの設定を保存しておけば、次回からは保存したメディア設定を選択するだけで、複数の設定項目が一度で最適な設定に切り替わります。
本機には、30 個までメディア設定を保存できます。
メディア設定で設定できる内容と、保存方法を説明します。

メディア設定の内容

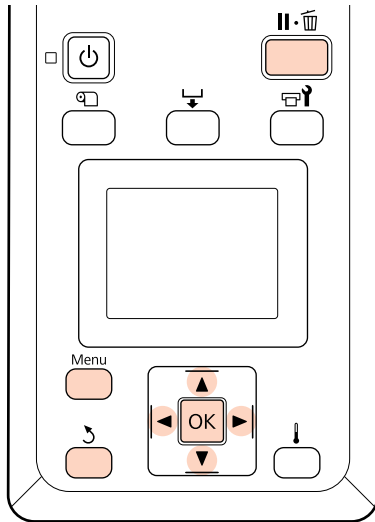
メディア設定では、以下の設定が行えます。

- 設定名の登録
- メディア送り補正
- プラテンギャップ設定
- ギャップ調整
- ヒーター/乾燥設定
- 吸着力
- ヘッド移動量
- 重ね描き回数
- ロール巻き仕様設定
- テンション測定
- メディアテンション
- 印刷時のメディア送り速度

各項目の詳細 ☞「メディア管理メニュー」91 ページ

設定の保存方法

メディア設定を保存する手順は、以下の通りです。

以下の設定で使用するボタン

メディア設定の保存先の指定

1 印刷可能状態であることを確認し、【Menu】ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

2 ［メディア管理］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【▼】/【▲】ボタンを押して［メディア設定変更］を選択し、【OK】ボタンを押します。

4 【▼】/【▲】ボタンを押してメディア設定番号1～30から設定を保存する番号を選択し、【OK】ボタンを押します。

すでに設定を保存している番号を選択すると、設定内容が上書きされますので注意して選択してください。

設定名の登録

保存するメディア設定に名前を付けられます。区別しやすい名前を付けると、選択時に判別しやすくなります。

1 ［設定名の登録］を選択し、【OK】ボタンを押します。

2 【▼】/【▲】ボタンを押すと、英数字・記号が順次表示されます。目的の英数字・記号が表示されたら【▶】ボタンを押して次の入力エリアにカーソルを移動させます。

間違えて入力したときは【◀】ボタンを押すと、1つ前の文字が消去され再入力できます。

3 名前を入力し終わったら、【OK】ボタンを押します。

メディア送り補正

印刷結果にバンディング（水平方向の帯状の模様や色ムラ、スジ）が発生するときは［メディア送り補正］を行います。
［メディア送り補正］には［自動］と［手動］があります。
自動補正は、パターンを印刷しながらセンサーで読み取り、自動的に補正します。
手動補正は、印刷されたパターンを目視で確認し、値を入力して補正します。
ここでは、自動補正の手順を説明します。
自動補正を行っても、完全に改善されないと感じるときは手動補正を行ってください。
手動補正の詳細 ☞「メディア送り補正（手動補正）」60ページ

参考

［メディア送り補正］は、セットされているメディアに応じて行われます。実際に補正が必要なメディアを実際の印刷時と同じ状態でセットして行います。例えば、自動巻取りユニットで巻き取りながら印刷するときは、補正時も自動巻取りユニットに取り付けて行います。
また、一度補正を実施したメディアでも標準メディアユニットから重量メディアユニットに変更したときは、変更後のユニットにメディアをセットして補正をやり直してください。
以下のメディアや環境では自動メディア送り補正は実行できません。

- 透明や色の付いたメディアをセットしているとき。
- 直射日光が当たるなど外乱光を受けているとき。
  遮光してください。
- 設定メニューの［プラテンギャップ設定］を［2.5］に設定しているとき。
  ［プラテンギャップ設定］の値を変更してください。

また、ノズルが目詰まりしているときは、自動メディア送り補正が正しく行われないことがあります。ヘッドクリーニングを行い目詰まりを解消してください。

1 【▼】/【▲】ボタンを押して［メディア送り補正］を選択し、【OK】ボタンを押します。

2 ［自動］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【OK】ボタンを押すと、パターンの印刷と自動補正が行われます。

プラテンギャップ設定

印刷結果にこすれ汚れが付くときは、プラテンギャップ（プリントヘッドとメディアの間隔）を変更します。

1 【▼】/【▲】ボタンを押して［プラテンギャップ設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。

2 【▼】/【▲】ボタンを押して目的の設定値を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【⤺】ボタンを押すと、メディア設定の画面に戻ります。

!重要

［2.5］は、［2.0］に設定してもこすれ汚れが改善されないときに限り設定します。むやみに設定すると、本機の内部がインクで汚れ印刷品質の低下や、本機の寿命に支障をきたすことがあります。

ギャップ調整

印刷結果に粒状感やピントのずれが生じるときは、［ギャップ調整］を行い、印刷時のプリントヘッドのズレを調整します。
［ギャップ調整］には［自動］と［手動］があります。
自動調整は、調整パターンを印刷しながらセンサーで読み取り、自動的に調整します。
手動調整は、印刷された調整パターンを目視で確認し、最適と思う調整値を入力して補正します。
ここでは、自動調整の手順を説明します。
自動調整を行っても、完全に改善されないと感じるときは手動調整を行ってください。
手動調整の詳細 ☞「印刷のズレ調整（ギャップ調整）」59 ページ
SC-S70650、SC-S50650 の自動（ヘッド間調整）は、自動（Bi-D）実施後に手動（Bi-D）を実施しても改善されないと感じるときに実施してください。

参考

- ギャップ調整は、セットされているメディアに応じて行われます。実際に調整が必要なメディアをセットして行います。ただし、以下のメディアや環境では自動ギャップ調整は実行できません。
  - 透明や色の付いたメディアをセットしているとき。
  - 直射日光が当たるなど外乱光を受けているとき。
    遮光してください。
  - 設定メニューのプラテンギャップ設定を 2.5 に設定しているとき。
    プラテンギャップ設定の値を変更してください。
- ノズルが目詰まりしていると、ギャップ調整が正しく行われないことがあります。ヘッドクリーニングを行い目詰まりを解消してください。
- 設定メニューのプラテンギャップ設定を 2.0 にしていると、自動ギャップ調整が実行できないことがあります。実行できないときは手動で調整してください。

1 【▼】/【▲】ボタンを押して［ギャップ調整］を選択し、【OK】ボタンを押します。

2 【▼】/【▲】ボタンを押して［自動（**Bi-D**）］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【OK】ボタンを押すと、パターンの印刷と自動調整が行われます。

ヒーター/乾燥設定

ヒーターの温度設定やオプションの外付け乾燥ファンユニット（SC-S50650 は標準）の ON/OFF などの設定ができます。

参考

ヒーター温度設定の目安は、以下の通りです。
- メディアに付属のマニュアルに推奨温度が記載されているときは、それに従ってください。
- 印刷がにじんで汚れたり、インクがだまになったりするときは、ヒーターの温度を上げます。ただし、温度を高くしすぎると、メディアが縮んでしわが寄ったり、変質したりします。

ここでは、ヒーターの温度設定の手順を説明します。

1 【▼】/【▲】ボタンを押して［ヒーター/乾燥設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。

2 ［ヒーター温度設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 プリヒーター、プラテンヒーター、アフターヒーターそれぞれに対して温度設定ができます。

【▶】/【◀】ボタンを押してヒーターの種類を選択します。表示の左からプリヒーター、プラテンヒーター、アフターヒーターです。
目的のヒーターを選択後、【▼】/【▲】ボタンを押すと、温度が変わります。

4 設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。

5 【↺】ボタンを 2 回押すと、メディア設定の画面に戻ります。

吸着力

本機は、メディアとプリントヘッドの距離を適正に保つために、メディアに合った吸着力で印刷します。薄いメディアで、吸着力が強すぎ印刷品質が低下する、正しくメディア送りされないときは吸着力を弱めます。

1 【▼】/【▲】ボタンを押して［吸着力］を選択し、【OK】ボタンを押します。

2 【▼】/【▲】ボタンを押すと、値が変わります。

3 設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。

4 【↺】ボタンを押すと、メディア設定の画面に戻ります。

ヘッド移動量

印刷時にプリントヘッドが移動する範囲を設定できます。

1 【▼】/【▲】ボタンを押して［ヘッド移動量］を選択し、【OK】ボタンを押します。

2 【▼】/【▲】ボタンを押して目的の設定値を選択し、【OK】ボタンを押します。

印刷速度を優先するときは、［データ幅］を選択します。

よりムラのない印刷品質を優先するときは、［プリンター全幅］を選択します。

重ね描き回数

1 行あたりの重ね描き回数を設定できます。

1 【▼】/【▲】ボタンを押して［重ね描き回数］を選択し、【OK】ボタンを押します。

2 【▼】/【▲】ボタンを押すと、値が変わります。

3 設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。

4 【↺】ボタンを押すと、メディア設定の画面に戻ります。

ロール巻き仕様設定

セットしたメディアのロール巻き仕様と一致するように［印刷面外巻き］または［印刷面内巻き］に設定します。

1 【▼】/【▲】ボタンを押して［ロール巻き仕様設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。

2 【▼】/【▲】ボタンを押して目的の設定値を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。

テンション測定

通常は［定期］に設定してください。メディアが弛むなどして正常に印刷できないときに［OFF］に設定してみてください。

1 【▼】/【▲】ボタンを押して［テンション測定］を選択し、【OK】ボタンを押します。

2 【▼】/【▲】ボタンを押して目的の設定値を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。

メディアテンション

印刷中にメディアにしわが発生するときは、テンションを高めるように設定を変更します。設定値が大きくなるほどテンションが高くなります。
メディア送り補正を以前実行している場合にメディアテンションを変更したときは、メディア送り補正を再度実行してください。
☞「メディア送り補正」55 ページ

1 【▼】/【▲】ボタンを押して［メディアテンション］を選択し、【OK】ボタンを押します。

2 【▼】/【▲】ボタンを押すと、値が変わります。

3 設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。

4 【↺】ボタンを押すと、メディア設定の画面に戻ります。

印刷時のメディア送り速度

薄いメディアに印刷中にしわが寄る、破れる、あるいはメディアが張り付いたりするときは、メディアの送り速度を遅くします。設定値が小さくなるほど速度が遅くなります。

1 【▼】/【▲】ボタンを押して［印刷時のメディア送り速度］を選択し、【OK】ボタンを押します。

2 【▼】/【▲】ボタンを押すと、値が変わります。

3 設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。

4 【↺】ボタンを押すと、メディア設定の画面に戻ります。

メニューの終了

【Ⅱ·🗑】ボタンを押すと、設定メニューが終了します。

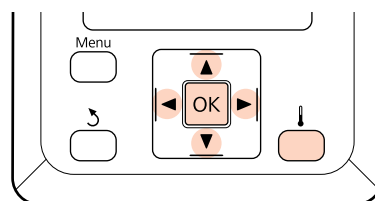
ヒーター・乾燥ファンの設定の変更

印刷中にヒーターの温度やオプションの外付け乾燥ファンユニット（SC-S50650 は標準）の ON/OFF 設定を変更できます。
ヒーター温度のメーカー設定値は以下の通りです。
プリヒーター：40℃
プラテンヒーター：40℃
アフターヒーター：50℃

現在のヒーターの状態は、操作パネルの画面で確認できます。☞「画面の見方」16 ページ

［乾燥ファン設定］のメーカー設定値は［ON］に設定されており、印刷が始まると自動的に乾燥ファンが稼動します。
［乾燥ファン設定］はオプションの外付け乾燥ファンユニット（SC-S50650 は標準）を装着しているときのみ表示されます。
以下はオプションの外付け乾燥ファンユニット（SC-S50650 は標準）を装着しているときの手順です。

参考
- あらかじめ、使用するメディアに応じてヒーターの温度設定や乾燥ファン設定を保存しておくことができます。
☞「使用するメディアに最適な設定を保存（印刷メディアの設定）」54 ページ
- 室温などにより、設定したヒーター温度になるまでに時間がかかることがあります。

以下の設定で使用するボタン

1 印刷可能状態であることを確認し、【🌡】ボタンを押してヒーター/乾燥設定メニューを表示させます。

2 【▼】/【▲】ボタンを押して設定を変更する項目を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 設定値を変更します。

［ヒーター温度設定］選択時

① プリヒーター、プラテンヒーター、アフターヒーターそれぞれに対して温度設定ができます。

② 【▶】/【◀】ボタンを押してヒーターの種類を選択します。表示の左からプリヒーター、プラテンヒーター、アフターヒーターです。

③ 目的のヒーターを選択後、【▼】/【▲】ボタンを押すと、温度が変わります。

④ 設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。

［乾燥ファン設定］選択時

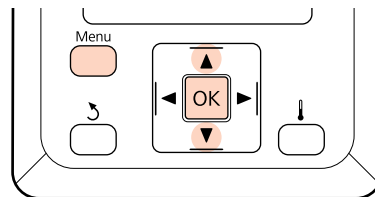
① 【▼】/【▲】ボタンを押して［ON］または［OFF］を選択します。

② 【OK】ボタンを押します。

印刷のズレ調整（ギャップ調整）

プリントヘッドとメディアの間には、わずかな距離があるため、温度や湿度、プリントヘッドの移動による慣性力、プリントヘッドの移動方向の違い（右から左と左から右）、2 つのプリントヘッド使用（SC-S30650 以外）などによって、各インクの着弾位置が合わなくなることがあります。その結果、粒状感やピントのずれが生じたような印刷結果になることがあります。このようなときは［ギャップ調整］を行い、印刷時のプリントヘッドのズレを調整します。
プリントヘッドとメディアの距離はメディアの厚さにより異なります。本機では、使用するメディアに応じてメディア設定で［ギャップ調整］の値を設定して保存できます。次回からは、保存したメディア設定を選択するだけで最適な設定に切り替えられます。

ギャップ調整には自動と手動があります。
自動調整の詳細 「ギャップ調整」56 ページ
手動調整は、印刷された調整パターンを目視で確認し、最適と思う調整値を入力して補正します。
自動調整を行っても、完全に改善されないと感じるときに手動調整を行います。

以下の設定で使用するボタン

1 印刷可能状態であることを確認し、【Menu】ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

2 ［メディア管理］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【▼】/【▲】ボタンを押して［メディア設定変更］を選択し、【OK】ボタンを押します。

4 【▼】/【▲】ボタンを押してメディア設定番号 1～30 から設定を保存する番号を選択し、【OK】ボタンを押します。

すでに設定を保存している番号を選択すると、設定内容が上書きされますので注意して選択してください。

5 【▼】/【▲】ボタンを押して［ギャップ調整］を選択し、【OK】ボタンを押します。

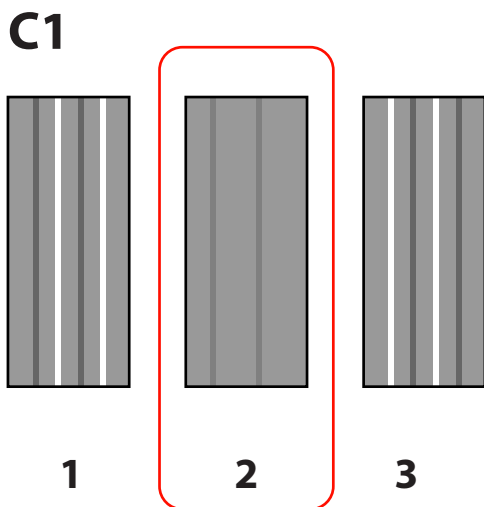
6 【▼】/【▲】ボタンを押して［手動（Uni-D）］または［手動（Bi-D）］を選択し、【OK】ボタンを押します。

7 調整パターンが印刷されます。

印刷が終了すると、印刷した調整パターンが良く見えるように、メディアが自動的に送り出されます。
必要に応じてメディアをカットします。
「メディアのカット」47 ページ

自動で送り出しされたメディアを巻き戻すときは、【▲】ボタンを押してください。

8 印刷された調整パターンで最もスジが見えないパターンを探して、パターンの番号を確認します。

以下の図の場合は「2」を選びます。

9 操作パネルの画面に［C1］と表示されたら、【▼】/【▲】ボタンを押して手順 8 で確認した番号を選択し、【OK】ボタンを押します。

10 全ての色について番号を選択し、【OK】ボタンを押します。

11 最後の色の設定が終了すると、メディア設定変更のメニューに戻ります。

メディア送り補正（手動補正）

印刷結果にバンディング（水平方向の帯状の模様や色ムラ、スジ）が発生するときは［メディア送り補正］を行います。
メディア送り補正には自動と手動があります。
自動調整の詳細 ☞「メディア送り補正」55 ページ
ここでは、手動でメディア送り補正を行う方法を説明します。
手動補正には、以下の 2 通りの方法があります。

- 印刷された調整パターンを目視で確認し、調整値を入力して補正します。
- 印刷の途中で補正値を設定し、結果を確認しながら補正します。

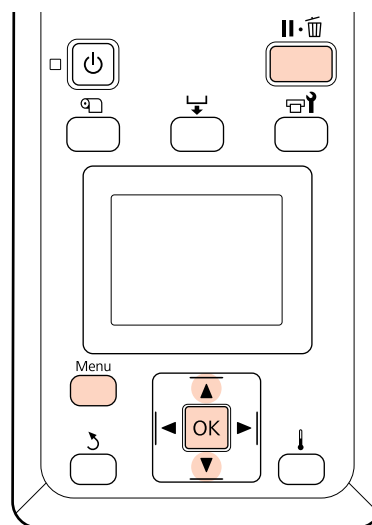
参考

［メディア送り補正］は、セットされているメディアに応じて行われます。実際に補正が必要なメディアを実際の印刷時と同じ状態でセットして行います。例えば、自動巻取りユニットで巻き取りながら印刷するときは、補正時も自動巻取りユニットに取り付けて行います。
また、一度補正を実施したメディアでも標準メディアユニットから重量メディアユニットに変更したときは、変更後のユニットにメディアをセットして補正をやり直してください。

自動補正を行っても、完全に改善されないと感じるときに手動補正を行います。

調整パターンを印刷して補正する

［一次調整］と［二次調整］の 2 回調整が必要です。通常は［一次調整］終了後に［二次調整］を行ってください。ただし、図柄の長さを正確に印刷したいときは、［一次調整］だけでかまいません。

以下の設定で使用するボタン

1 印刷可能状態であることを確認し、【Menu】ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

2 ［メディア管理］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【▼】/【▲】ボタンを押して［メディア設定変更］を選択し、【OK】ボタンを押します。

4 **【▼】/【▲】ボタンを押してメディア設定番号 1～30 から保存する番号を選択し、【OK】ボタンを押します。**

すでに設定を保存している番号を選択すると、設定内容が上書きされますので注意して選択してください。

5 **【▼】/【▲】ボタンを押して［メディア送り補正］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

6 **［手動］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

一次調整の方法

7 **［一次調整］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

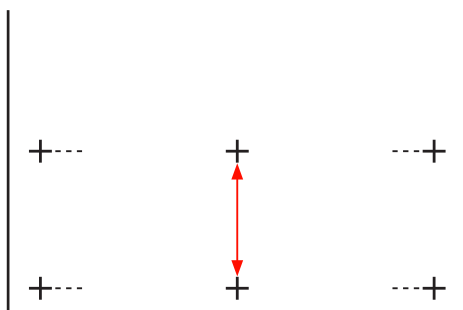
8 **【▼】/【▲】ボタンを押して、印刷する調整パターンを選択し、【OK】ボタンを 2 回押します。**

長さが長いほど、精密に補正できます。

9 **調整パターンが印刷されます。**

印刷が終了すると、印刷した調整パターンが良く見えるように、メディアが自動的に送り出されます。

10 **印刷された調整パターンの＋記号の距離を定規で測ります。**

中央のみを測った値、もしくは右側・中央・左側の 3 箇所を測った平均値を使用してください。

11 **操作パネルの画面に調整パターンの長さが表示されています。【▼】/【▲】ボタンを押して手順 10 で測った値になるように数字を選択し、【OK】ボタンを押します。**

> **参考**
> 自動で送り出しされたメディアを巻き戻すときは、【▲】ボタンを押してください。

二次調整の方法

12 **手順 1～6 までを行います。**

13 **【▼】/【▲】ボタンを押して、［二次調整］を選択し、【OK】ボタンを 2 回押します。**

14 **調整パターンが印刷されます。**

印刷が終了すると、印刷した調整パターンが良く見えるように、メディアが自動的に送り出されます。必要に応じてメディアをカットします。

「メディアのカット」47 ページ

15 **印刷された調整パターンの中で最も色が薄いパターンを探して、パターンの番号を確認します。**

以下の図の場合は「3」を選びます。

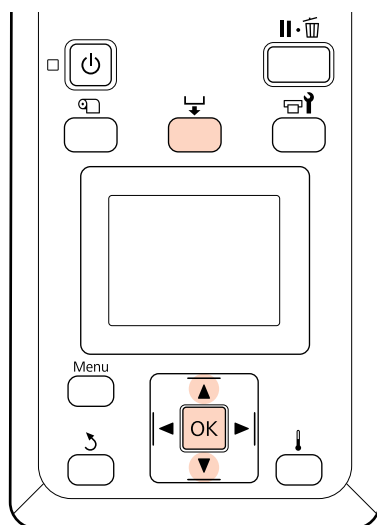
16 **操作パネルの画面にパターンの番号が表示されています。【▼】/【▲】ボタンを押して手順 15 で確認した番号を選択し、【OK】ボタンを押します。**

17 **A 行から F 行までの全てで番号を選択し、【OK】ボタンを押します。**

18 最後の行の設定が終了すると、設定メニューが終了します。

自動で送り出しされたメディアを巻き戻すときは、【▲】ボタンを押してください。

印刷途中で補正する

以下の設定で使用するボタン

1 印刷の途中で【 】ボタンを押します。

2 画面に補正値が表示されます。【▼】/【▲】ボタンを押して、補正値を選択します。

メディア送り量が少なすぎるとブラックバンディング（濃い色のスジ）が発生しますので＋方向に調整します。
逆にメディア送り量が多すぎるとホワイトバンディング（白または薄い色のスジ）が発生しますので－方向に調整します。

3 印刷結果を確認し、完全に改善されないと感じるときはさらに【▼】/【▲】ボタンを押して、補正値を選択します。

4 補正が完了したら、【OK】ボタンを押します。

メディア送り補正が終了し、補正された値で印刷が続行されます。

印刷途中で変更した補正値は、以下の操作をするまで保持されます。

- メディアセットレバーを上げる
- 電源を切る
- ［メディア管理］メニューで［メディア送り補正］を行う

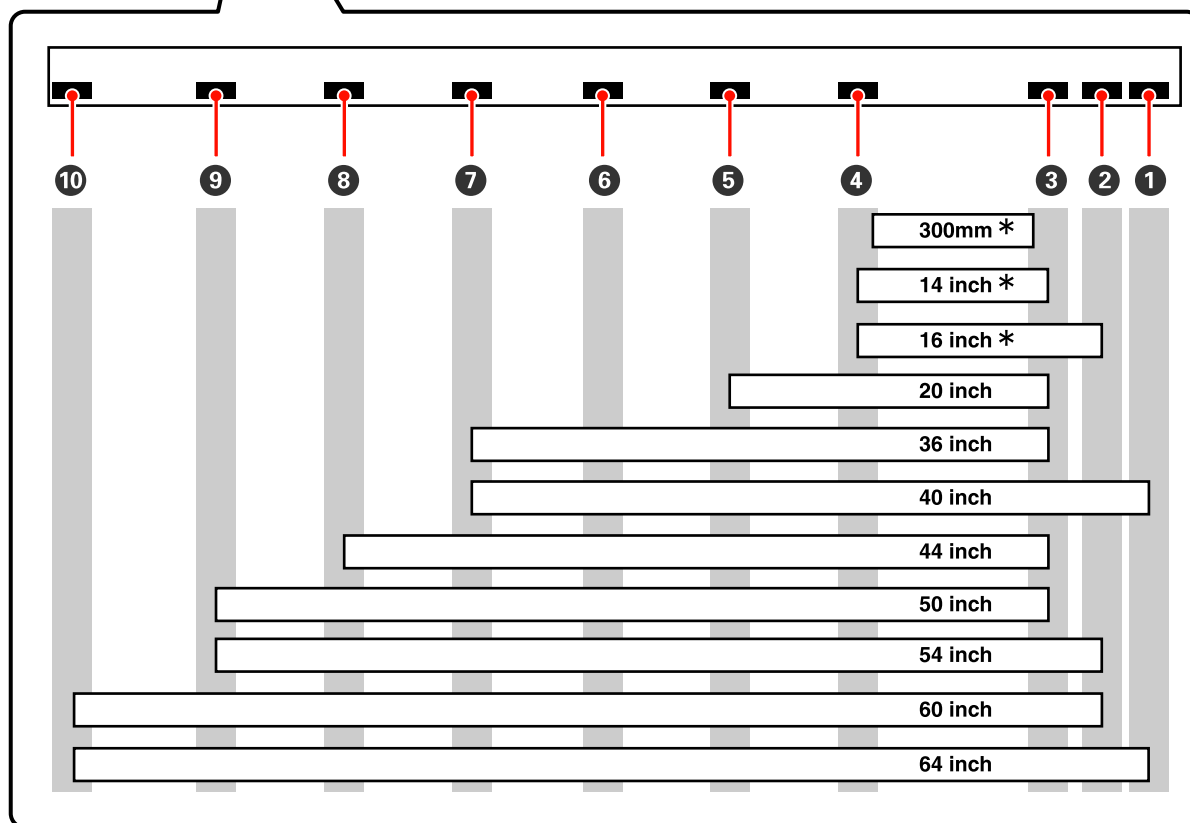
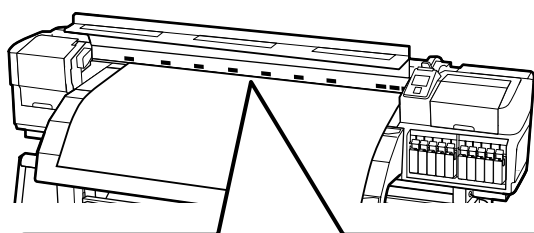
印刷可能領域

SC-S70650、SC-S50650 の場合

メディアのセット位置と使用する加圧ローラーにより、印刷可能領域が変わってきます。

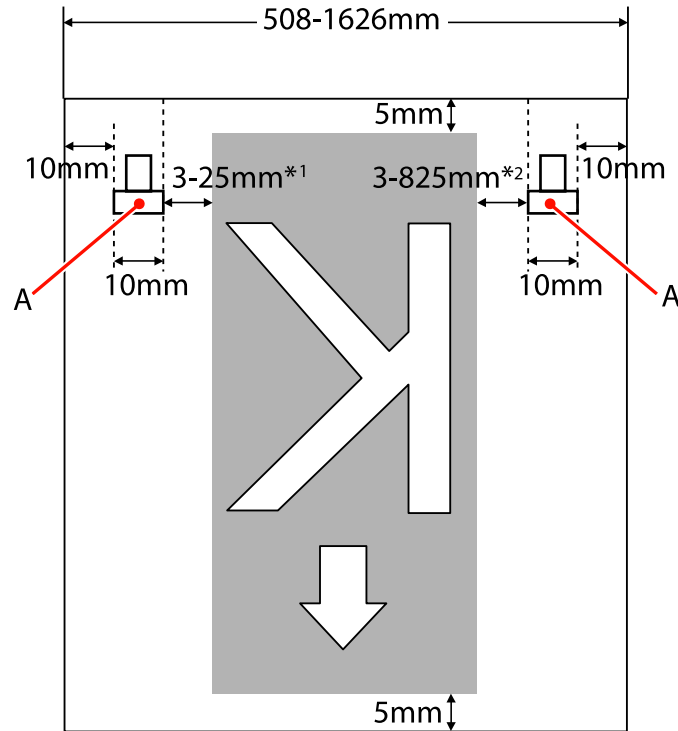
メディア幅ごとのセット位置

加圧ローラーのセット位置を目安にメディアをセットします。
前面カバーを開けると見える加圧ローラーの上にある黒いラベルと、背面の穴の位置が加圧ローラーのセット位置です。全部で 10 箇所あります。前面に向かって右端にあるラベルを 1、左端のラベルを 10 として、以下にメディア幅ごとのセット位置の目安を記載します。

300mm＊
14 inch＊
16 inch＊
20 inch
36 inch
40 inch
44 inch
50 inch
54 inch
60 inch
64 inch

＊ レイヤー印刷では使用できないメディア幅です。
レイヤー印刷 ☞「高画質印刷」18 ページ

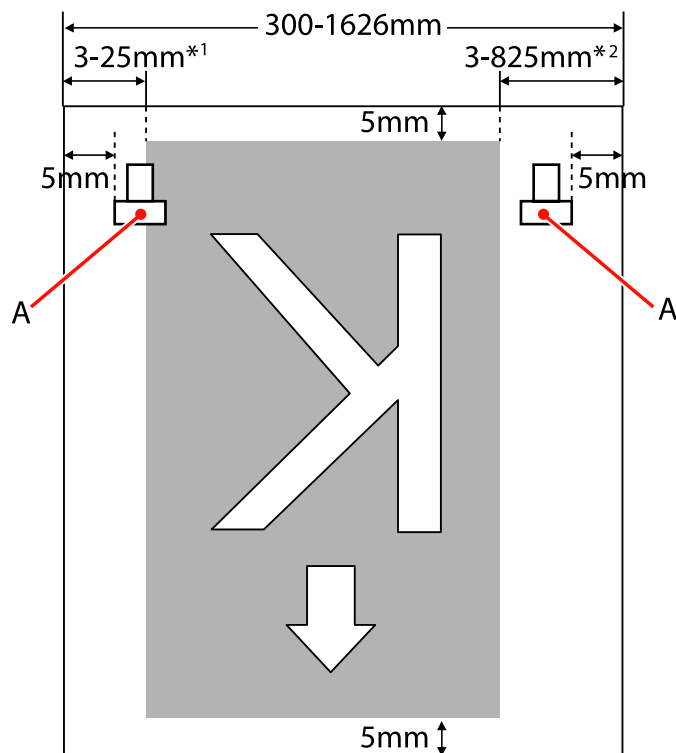
加圧ローラーは上のイラストで示す黒いラベルの範囲内に移動していないと、メディアセットレバーを下げてもメディアが固定されません。またメディアがセットされていない位置の黒いラベルの範囲内に加圧ローラーがあると、印刷時に摩耗してしまうため、必ず黒いラベルの範囲外に移動してください。

加圧ローラー（強）使用時

「メディア幅ごとのセット位置」のイラストの ❶～❿ のいずれかの黒いラベルの範囲内で、メディアの端から 10mm 位内側になるようにセットしてください。以下の図のグレーの部分が印刷可能領域です。イラスト内の矢印は、排出方向を示しています。

A:加圧ローラー（強）
＊1 設定メニューの［サイドマージン（左）］で設定した値。メーカー設定値は 5mm に設定されています。
＊2 設定メニューの［印刷開始位置］と［サイドマージン（右）］で設定した値の合計値。メーカー設定値は 5mm に設定されています。

データ（アプリケーションソフト）で設定した余白とずれることがあります。印刷可能領域いっぱいに作成した印刷データに対してサイドマージン、印刷開始位置の設定を変更すると、メディア端のデータが印刷されません。

加圧ローラー（弱）使用時

「メディア幅ごとのセット位置」のイラストの ❶～❿ のいずれかの黒いラベルの範囲内で、メディアの端から 5mm 位内側になるようにセットしてください。以下の図のグレーの部分が印刷可能領域です。イラスト内の矢印は、排出方向を示しています。

A:加圧ローラー（弱）

＊1 設定メニューの［サイドマージン（左)］で設定した値。メーカー設定値は 5mm に設定されています。
メディア押さえ板を使用するときは、［サイドマージン（左)］で 10mm 以上に設定してください。

＊2 設定メニューの［印刷開始位置］と［サイドマージン（右)］で設定した値の合計値。メーカー設定値は 5mm に設定されています。
メディア押さえ板を使用するときは、［印刷開始位置］または［サイドマージン（右)］で 10mm 以上に設定してください。

データ（アプリケーションソフト）で設定した余白とずれることがあります。印刷可能領域いっぱいに作成した印刷データに対してサイドマージン、印刷開始位置の設定を変更すると、メディア端のデータが印刷されません。

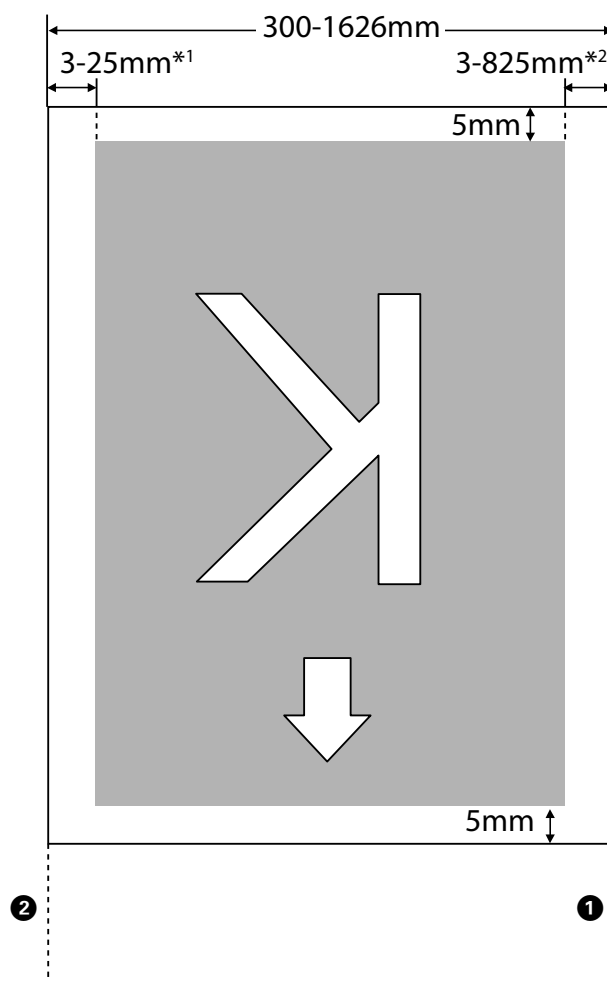
SC-S30650 の場合

以下の図のグレーの部分が印刷可能領域です。イラスト内の矢印は、排出方向を示しています。
イラスト内の ❶～❷ の位置は、以下の通りです。

❶ （メディア右端）

設定メニューの［メディア幅検出］の設定により、以下の通り異なります。
［メディア幅検出］が［ON］のとき：メディアの右端
［メディア幅検出］が［OFF］のとき：右端基準位置（プリヒーターに貼付のメディアセット位置の中央を通ってプラテンに達した位置）

❷ （メディア左端）

設定メニューの［メディア幅検出］の設定により、以下の通り異なります。
［メディア幅検出］が［ON］のとき：メディアの左端
［メディア幅検出］が［OFF］のとき：右端基準位置から左に 64 インチ寄った位置

＊1 設定メニューの［サイドマージン（左）］で設定した値。メーカー設定値は 5mm に設定されています。
メディア押さえ板を使用するときは、［サイドマージン（左）］で 10mm 以上に設定してください。

＊2 設定メニューの［印刷開始位置］と［サイドマージン（右）］で設定した値の合計値。メーカー設定値は 5mm に設定されています。
メディア押さえ板を使用するときは、［印刷開始位置］または［サイドマージン（右）］で 10mm 以上に設定してください。

データ（アプリケーションソフト）で設定した余白とずれることがあります。印刷可能領域いっぱいに作成した印刷データに対してサイドマージン、印刷開始位置の設定を変更すると、メディア端のデータが印刷されません。

メンテナンス

デイリーメンテナンス

印刷品質を維持するために日常、印刷業務をスタートするに当たり、以下の点検・清掃を行うことをお勧めします。

プラテンヒーター・加圧ローラー・メディア押さえ板の清掃

> **⚠ 注意**
> - ヒーターやメディア押さえ板は、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
> - 前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。

プラテンヒーター上や加圧ローラー、メディア押さえ板は、メディアの糸くずや紙粉、インクの付着などで汚れます。インクが付いているとメディアが汚れます。こまめに掃除してください。

> **重要**
> 糸くずやホコリ、インクが付いたまま使い続けると、プリントヘッドの故障やノズルの目詰まりの原因となります。

1. 本機の電源を切り、画面の表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。

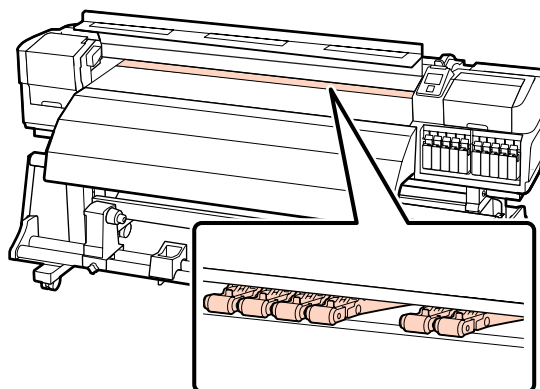
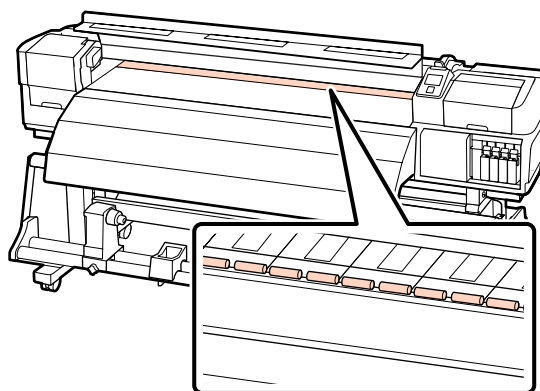
2. 電源プラグを抜いたあと 1 分程放置します。

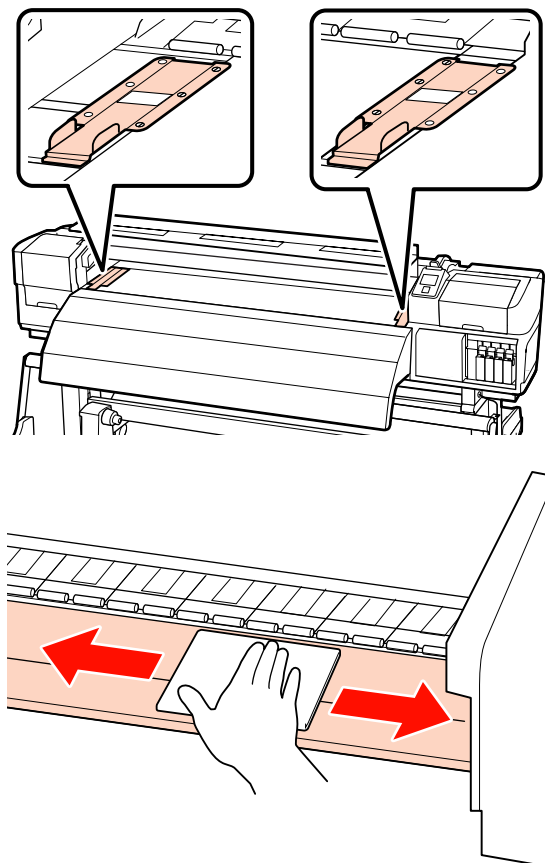
3. 前面カバーを開けます。

4. メディアセットレバーを上げます。

5. 加圧ローラーを掃除します。

   毛が柔らかいブラシを使用して、加圧ローラーに付着している紙粉やホコリを取り除きます。

SC-S70650、SC-S50650：

SC-S30650：

6 メディア押さえ板とプラテンヒーターを掃除します。

柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから、左右両側のメディア押さえ板とプラテンに付着している糸くずやホコリおよびインクを拭き取ります。

ノズルの目詰まりチェック

良好な印刷品質を維持するために、ノズルの目詰まりをチェックしてから印刷することをお勧めします。

目詰まりチェックの種類

ノズルの目詰まりをチェックするには、以下の 3 通りの方法があります。

- 自動ノズルチェック
  設定されたページごとに、チェックパターンを印刷しながらセンサーで読み取り、自動的にノズルの目詰まりチェックをします。目詰まりが確認されると、メニューの設定に従い［印刷停止］、［印刷続行］のいずれかが行われます。
  ☞「プリンター設定メニュー」95 ページ

参考

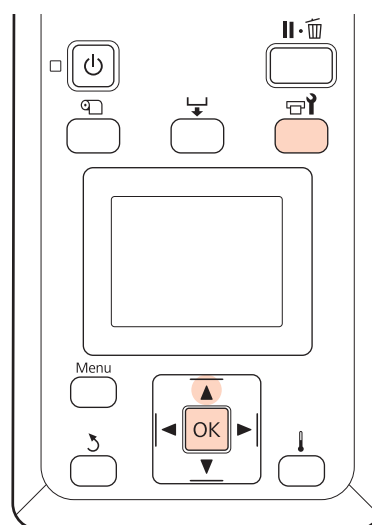
以下のメディアや環境では［自動ノズルチェック］は実行できません。

- SC-S70650 の 10 色モード、SC-S50650 の 5 色モード時のホワイトインク部分（その他の色は実行できます）
- 透明や色の付いたメディアをセットしているとき。
- 直射日光が当たるなど外乱光を受けているとき。遮光してください。
- 設定メニューの［プラテンギャップ設定］を［2.5］に設定しているとき。
  ［プラテンギャップ設定］の値を変更してください。

- ページ間ノズルチェック印刷
  設定されたページごとに、通常の印刷の先頭にチェックパターンを印刷します。印刷終了後にチェックパターンを目視で確認することで、チェックパターン前後の印刷にかすれや欠けがないかを判断します。
  ［自動ノズルチェック］が正しく働かないメディアを使用しているときや、［自動ノズルチェック］は時間がかかると感じるときは、［ページ間ノズルチェック印刷］を行ってください。
  ☞「プリンター設定メニュー」95 ページ

- 任意にチェックパターンを印刷する
  必要に応じてチェックパターンを印刷し、印刷されたチェックパターンを目視で確認してノズルの目詰まりがあるか確認します。

ここでは、任意にチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認する方法を説明します。

以下の設定で使用するボタン

1 **印刷可能状態であることを確認し、【 】ボタンを押します。**

メンテナンスメニューが表示されます。

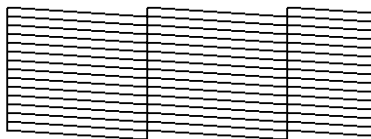
2 **［ノズルチェック］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

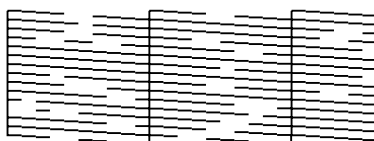
3 **チェックパターンが印刷されます。**

印刷が終了すると、印刷したチェックパターンが良く見えるように、メディアが自動的に送り出されます。
必要に応じてメディアをカットします。
☞「メディアのカット」47 ページ

自動で送り出しされたメディアを巻き戻すときは、【▲】ボタンを押してください。

4 **印刷されたチェックパターンを確認します。**

目詰まりしていないときの例

チェックパターンが欠けていません。

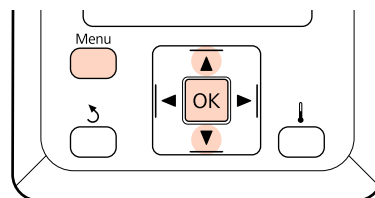
目詰まりしているときの例

チェックパターンが欠けているときは、ヘッドクリーニングを行ってください。
☞「ヘッドクリーニングの方法」70 ページ

5 **印刷が終了すると、設定メニューが終了します。**

ヘッドモードの調整

SC-S70650、SC-S50650 はプリントヘッドが 2 つあるため、目詰まりをしているヘッドが片方だけであれば、もう片方のヘッドのみを使用して印刷を継続できます。

どちらのヘッドで印刷を継続するかは、ノズルの目詰まりチェックでチェックパターンを印刷して確認してください。
☞「ノズルの目詰まりチェック」68 ページ
片方のプリントヘッドだけにする設定手順を説明します。

以下の設定で使用するボタン

1 **印刷可能状態であることを確認し、【Menu】ボタンを押します。**

設定メニューが表示されます。

2 **▼/▲ ボタンを押して［プリンター設定］を選択し、OK ボタンを押します。**

3 **▼/▲ ボタンを押して［ヘッドモード］を選択し、OK ボタンを押します。**

4 **▼/▲ ボタンを押して使用するヘッドを選択し、OK ボタンを押します。**

特色インクのメンテナンス

ホワイトおよびメタリックシルバーインクはインクの特性上、沈降（成分が液の底に沈んでたまること）しやすくなっています。良好な印刷品質を保つために、以下のメンテナンス作業をしてください。

- 24 時間に 1 度、ホワイトおよびメタリックシルバーインクカートリッジのかくはんをしてください。カートリッジ内部でのインクの沈降を防ぎます。
  振り方 ☞「交換方法」84 ページ
- ホワイトおよびメタリックシルバーインク装着時は、本機未使用時の内部でのインク詰まりを防止するため、自動的にメンテナンスをしています。電源を切るとメンテナンスができずに故障する可能性がありますので、電源を切らずに使用することを推奨します。

メッセージが表示された時

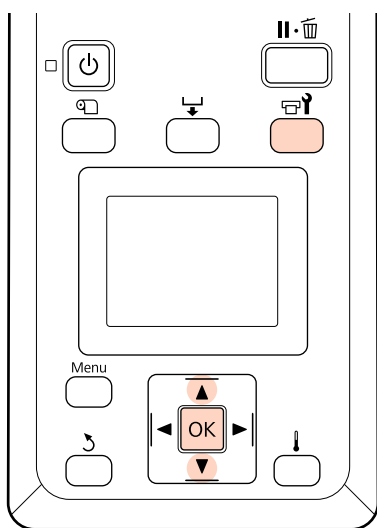
ホワイトおよびメタリックシルバーインクカートリッジのかくはんが必要になると、操作パネルの画面に以下のメッセージが表示されます。

- MS、WH カートリッジを取り出して振ってください。
- WH カートリッジを取り出して振ってください。

かくはんのメッセージが表示された状態でも動作しますが、良好な印刷品質を保つためにメッセージが表示されたら該当インクカートリッジのかくはんをしてください。
振り方 ☞「交換方法」84 ページ

リフレッシュ

ホワイトおよびメタリックシルバーインクの印刷結果に色ムラ（濃さが不均一な部分）が見られるときは、操作パネルで［インク循環］を実行してください。電源を切っていた期間があり、電源を入れ直した後に色ムラが見られるときは［WH、MS インクリフレッシュ］または［WH、WH インクリフレッシュ］を実行してください。
実施手順を説明します。

以下の設定で使用するボタン

1 印刷可能状態であることを確認し、【】ボタンを押すと、メンテナンスメニューが表示されます。

2 【▼】/【▲】ボタンを押して［インク循環］または［**WH、MS** インクリフレッシュ］、［**WH、WH** インクリフレッシュ］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 インク循環またはリフレッシュが行われます。

事前メンテナンス

7 日以上本機を使用しない（電源を切る）ときは、別売のクリーニングカートリッジを使って、全列のヘッド洗浄を実施してください。そのまま放置すると、ヘッドの目詰まりが解消できなくなります。
詳細は以下をご覧ください。
☞「メンテナンスメニュー」97 ページ

ヘッドクリーニングの方法

印刷されたチェックパターンにかすれや欠けがあるときは、以下の手順でヘッドクリーニングを行うとノズルの目詰まりを解決できることがあります。
印刷結果にかすれや色の問題がない限り、ヘッドクリーニングを行う必要はありません。
また、印刷中に印刷を一時停止（ポーズ）して、ヘッドクリーニングを行うことができます。ただし、印刷再開時に印刷物の色味が変わることがあります。

ヘッドクリーニングのレベル

ヘッドクリーニングは、3 段階のレベルから選択して行えます。
最初は、［実行（弱）］を選択してください。ヘッドクリーニングを 1 回実行しても、チェックパターンにかすれや欠けがあるときは、［実行（中）］または［実行（強）］を実行してください。

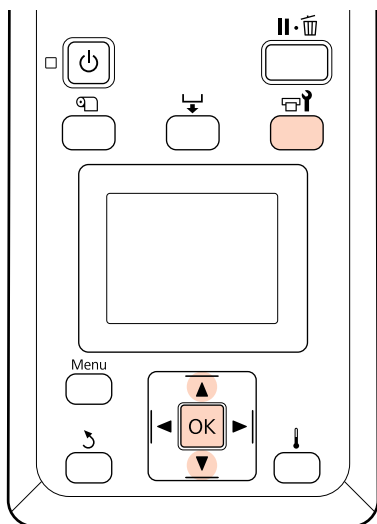
> 参考
> ヘッドクリーニングをしても、印刷がかすれたり欠けたりするときは定期清掃をしてください。
> ☞「定期清掃の方法」73 ページ

自動メンテナンス機能

本機では、以下のように時期を指定して定期的にヘッドクリーニングをする、便利な自動メンテナンス機能を搭載しています。

- 定期クリーニング
  1〜240 時間後の範囲で、設定した時間置きに自動的にヘッドクリーニングが行われます。
  ☞「プリンター設定メニュー」95 ページ
- ページ間クリーニング
  1〜10 ページの範囲で、設定したページごとに自動的にヘッドクリーニングが行われます。
  ☞「プリンター設定メニュー」95 ページ

ここでは、任意にチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認したときのヘッドクリーニングの方法を説明します。

以下の設定で使用するボタン

1 印刷可能状態であることを確認し、【 】ボタンを押すと、メンテナンスメニューが表示されます。

印刷を一時停止（ポーズ）中に【 】ボタンを押すと手順 3 に進みます。

2 【▼】/【▲】ボタンを押して［クリーニング］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 ヘッドクリーニングするノズル列の指定方法を選択します。

［全列クリーニング］

印刷されたチェックパターンを確認したとき、全てのパターンにかすれや欠けがあるときに選択します。［全列クリーニング］を選択したときは、手順 5 に進みます。

［クリーニングする列を選択］

印刷されたチェックパターンを確認したとき、特定の番号(ノズル列)のパターンにかすれや欠けがあるときに選択します。ノズル列は複数選択できます。

4 ヘッドクリーニングするノズル列を選択します。

- 【▼】/【▲】ボタンを押してチェックパターンで、かすれや欠けがあるパターンの番号が含まれているノズル列を選択し、【OK】ボタンを押します。
- ヘッドクリーニングするノズル列を全て選んだら、［選択を決定し次へ］を選択して【OK】ボタンを押します。

5 クリーニングのレベルを選択し、【OK】ボタンを押します。

6 ヘッドクリーニングが行われます。

ヘッドクリーニング終了後、設定メニューが終了します。チェックパターンを印刷して目詰まりが解消されたことを確認します。

☞「ノズルの目詰まりチェック」68 ページ

手順 1 で印刷を一時停止（ポーズ）してヘッドクリーニングをしたときは、ヘッドクリーニングが終了すると印刷が再開されるので、印刷結果でノズルの目詰まりが解消されたことを確認します。

定期メンテナンス

本機の印刷品質を維持するためには、使用頻度に応じてまたは定期的な清掃や部品の交換が必要です。
適切なメンテナンスを怠ると製品が早期に寿命にいたる原因となります。
メンテナンスをいつ行ったのかを一目で管理できるように、本書にチェックシートを掲載しています。チェックシートのページを印刷してメンテナンスの管理にお役立てください。

☞「定期清掃チェックシート」82 ページ
☞「定期交換チェックシート」83 ページ

定期清掃の準備と留意点

準備するもの

定期清掃を始める前に、以下のものを準備してください。

- 保護メガネ（市販品）
  インクやインククリーナーが目に入らないように保護します。

- メンテナンスキット（本製品付属）
  手袋、クリーニング棒、ワイパー、ワイパークリーナー、フラッシング用吸収材がセットで入っています。
  付属のメンテナンスキットが終了したときは、消耗品のメンテナンスキットをお求めください。
  ☞「消耗品とオプション」111 ページ
- インククリーナー（消耗品）
  ワイパーのレールやプリントヘッドの周囲の清掃時に、から拭きしただけでは取れないインク汚れがあるときに使います。
  ☞「消耗品とオプション」111 ページ
- クリーンルーム用ワイパー（市販品）
  不織布の拭き取り用の布です。プリントヘッド周辺の清掃で使います。
- 金属トレイ（本製品付属）
  使用済みのクリーニング棒や取り外したワイパーやワイパークリーナー・フラッシング用吸収材などを置くのに使います。

> **!重要**
>
> 使用済みのクリーニング棒などを本機の上に直接置くとインクの性質上、除去が困難な汚れが付くことがあります。

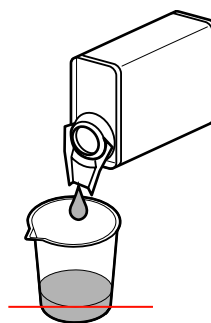
作業に当たってのお願い

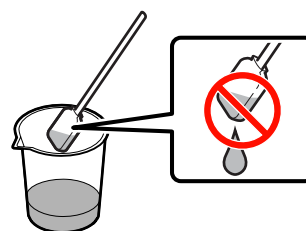
- 本機からメディアを取り外してから作業を始めてください。
- プリントヘッドの乾燥を防ぐために、10 分以内で作業を終了してください。
  10 分を経過するとブザーが鳴ります。
- 清掃の対象箇所以外の部品やベルト類、基板には絶対に触らないでください。
  本機の故障や印刷品質低下の原因となります。
- クリーニング棒は、付属または消耗品のもの以外は使わないでください。毛羽の出るものを使うとプリントヘッドを破損します。
- クリーニング棒は、常に新品を使用してください。一度使用したものを再利用すると、かえって汚れが付着する原因となります。
- クリーニング棒の先は手で触らないでください。皮脂が付着し、プリントヘッドが破損することがあります。
- ノズル面やキャップ、ワイパーなどに水やアルコールを付着させないでください。インクと水、アルコールが混ざると固まります。
- 作業の前に金属製のものに触れて、作業者の静電気を逃がしてください。

インククリーナーの使い方

ワイパーのレールや、プリントヘッドの周囲の清掃時に、から拭きしただけでは取れないインク汚れがあるときは、以下のようにインククリーナーをクリーニング棒につけて清掃します。

> **⚠注意**
>
> - インククリーナーは、子どもの手の届かない場所に保管してください。
> - インククリーナーを取り扱うときは、保護メガネ、手袋を着用してください。
>   皮膚に付いたり、目や口に入ったときは、すぐに以下の処置をしてください。
>   - 皮膚に付いたときは、すぐに多量の石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。
>   - 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
>   - 飲み込んだときは、吐き出さずに、すぐに医師の診断を受けてください。
> - インククリーナーを取り扱った後は、手洗いとうがいを十分に行ってください。

1 **インククリーナーに付属の容器にインククリーナーを約 10ml 注ぎます。**

2 **クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。**

このとき、クリーニング棒からインククリーナーが垂れないように注意してください。

3 清掃箇所を拭きます。

!重要

- インククリーナーは、ワイパーのレールやプリントヘッドの周囲の清掃に限り使用してください。部品が傷つくため、他の部品にはインククリーナーを使わないでください。
- インククリーナーは、産業廃棄物です。廃インクと同じ方法で廃棄してください。
- インククリーナーは、直射日光を避けて常温で保管してください。

定期清掃の方法

印刷品質を保持し良好な印刷結果を得るために、プリントヘッドとワイパー、ワイパーのレール、キャップは、以下を目安に清掃してください。

- 週に 1 度の清掃をお勧めします。
- ヘッドクリーニングをしても印刷がかすれたり、欠けたりするときに清掃してください。

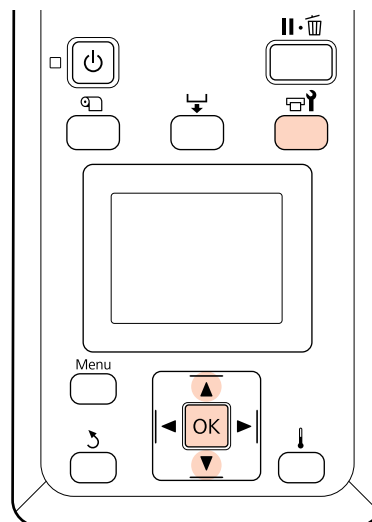
清掃は、以下の順番で行います。
①プリントヘッド
②ワイパー
③キャップ
④ワイパーのレール

プリントヘッドの移動

プリントヘッドを清掃位置に移動する手順を説明します。

!重要

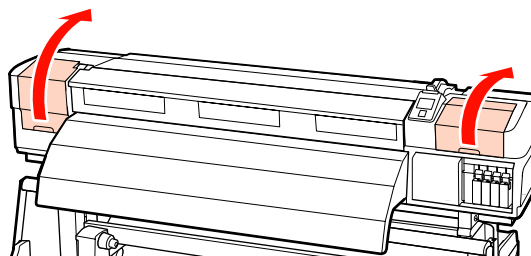
プリントヘッドの移動は、必ず以下の手順で行ってください。
プリントヘッドを手で移動すると故障の原因となります。

以下の設定で使用するボタン

1 電源が入っていることを確認し、【】ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

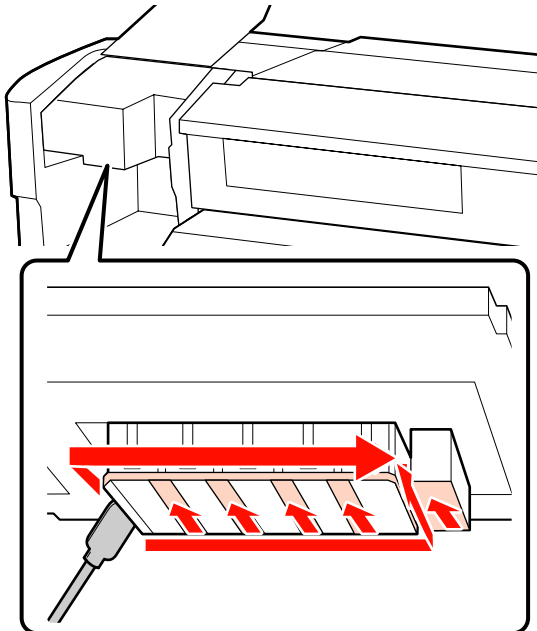
2 【▼】/【▲】ボタンを押して［ヘッドメンテナンス］を選択し、【OK】ボタンを押します。

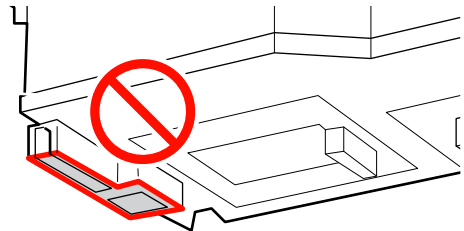
3 【OK】ボタンを押すと、プリントヘッドが清掃位置まで移動します。

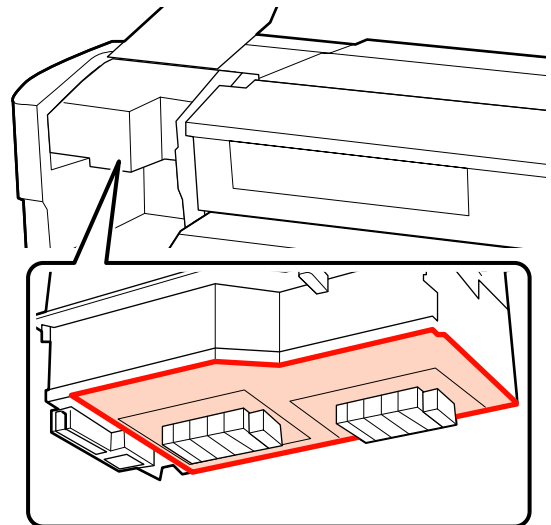
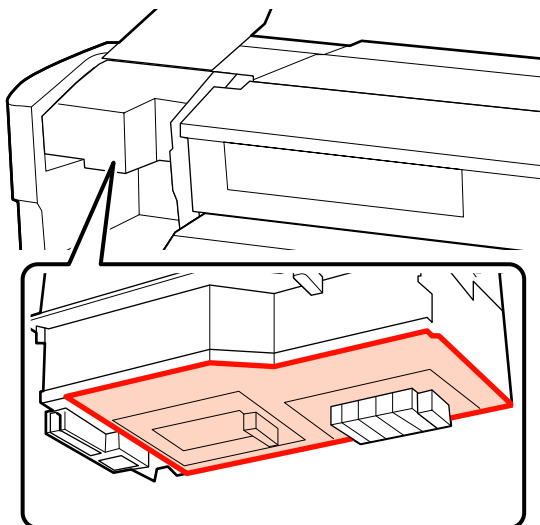
4 両側のメンテナンスカバーを開けます。

プリントヘッド周辺の清掃

プリントヘッドの周囲をご確認いただき、インクが付着して汚れているときは、以下の手順で清掃をしてください。
なお SC-S70650、SC-S50650 はプリントヘッドが 2 つありますので、両方確認してください。

1 **プリントヘッドの図の箇所をクリーニング棒で拭き取ります。**

> **重要**
>
> ノズル列間（図の 4 箇所）の清掃は、必ず細いクリーニング棒を使用して行ってください。ノズル面にクリーニング棒が触れると、プリントヘッドが破損することがあります。SC-S70650、SC-S50650 は 2 つのプリントヘッドを清掃してください。

2 **プリントヘッド底面がインクの飛び散りで汚れているときは、市販のクリーンルーム用ワイパーにインククリーナーをごく少量付けて拭き取ります。**

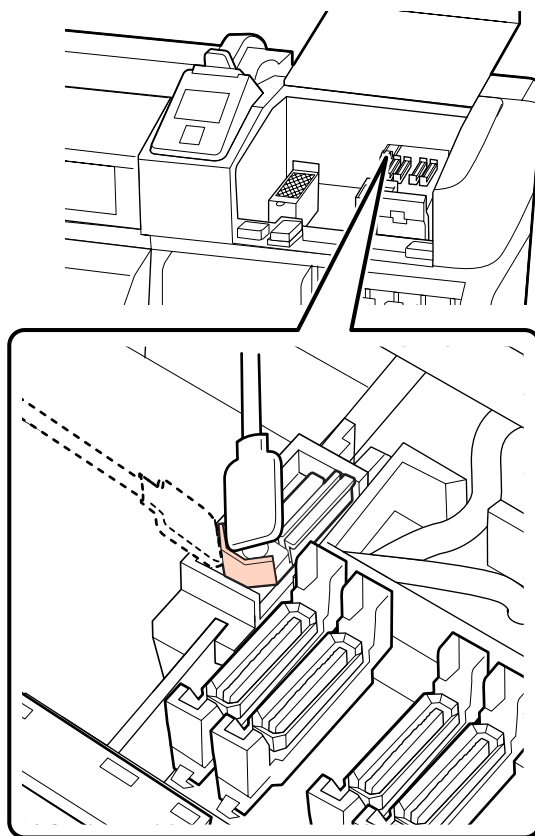
> **重要**
>
> - 拭き取る際は、絶対にノズル面に触れないように注意してください。プリントヘッドが破損することがあります。
> - 以下の図の部分はセンサーです。清掃の際に、クリーンルーム用ワイパーや手が触れないように注意してください。印刷品質低下の原因となります。

SC-S70650、SC-S50650 の場合

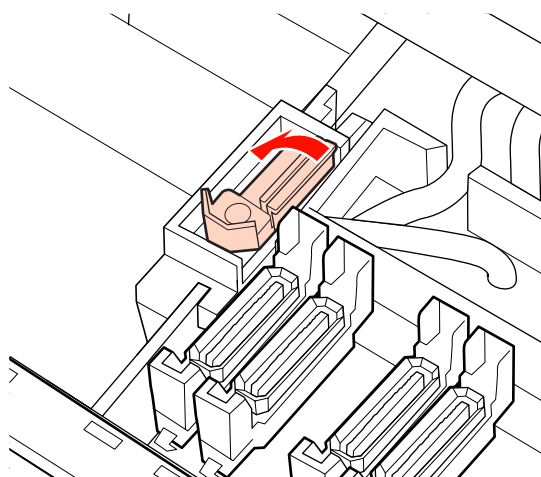
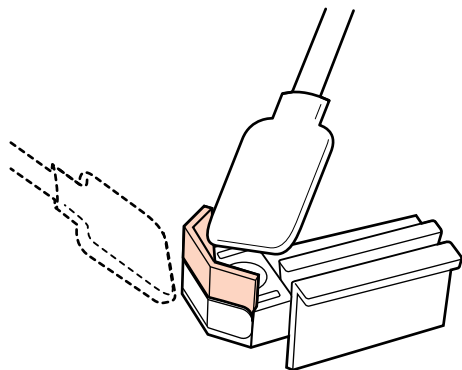
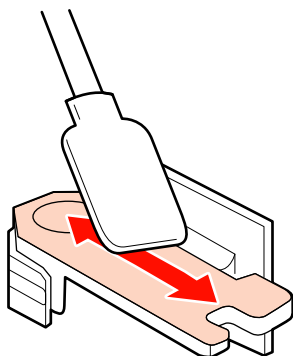
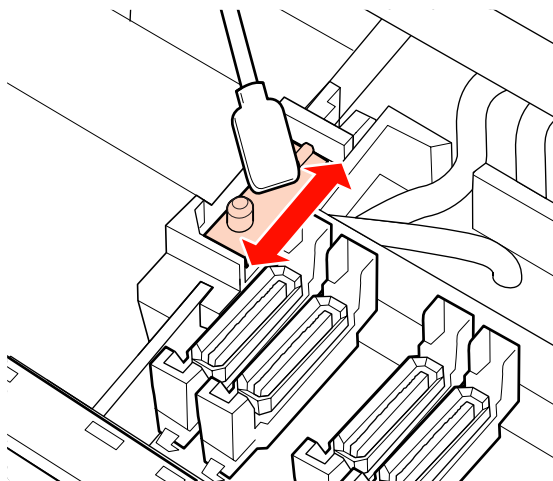
左側が Head1、右側が Head2 になります。

SC-S30650 の場合

ワイパーとキャップの清掃

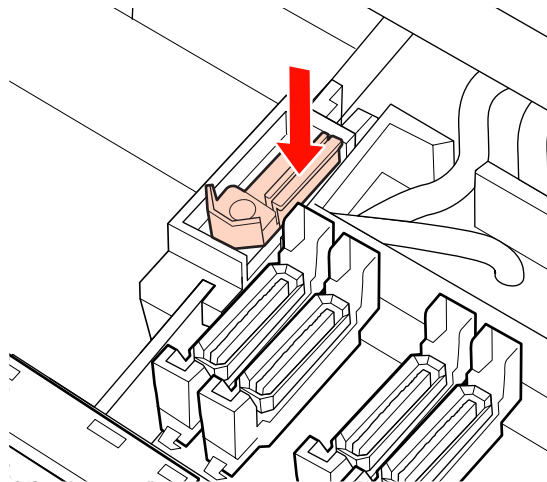
SC-S70650、SC-S50650 はワイパー 2 つ、キャップ 10 個になります。

1 **ワイパー部分の表裏をクリーニング棒で拭き取ります。**

ワイパーの装着部分が汚れていないときは、以下の図をご覧になりワイパー部分を清掃後、手順 7 に進みます。

ワイパーの装着部分までインクが付着して汚れているときは、ワイパーを取り外して清掃します。手順 2 に進んでください。

2 **ワイパーを取り外します。**

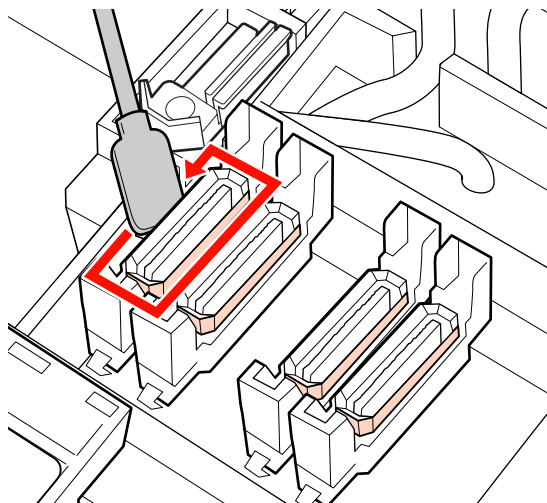
ワイパー装着部分をつまんだまま、左側に傾けて取り外します。

3 ワイパー部分の表裏をクリーニング棒で拭き取ります。

4 ワイパーの底面をクリーニング棒で拭き取ります。

5 ワイパーの取り付け部分をクリーニング棒で拭き取ります。

6 清掃が終わったら、ワイパーを戻します。

取り付け部に載せて、パチッと音がするまで押し込みます。

SC-S70650、SC-S50650 でもう片方のワイパーも汚れているときは、手順 1 から繰り返します。

7 キャップの外周をクリーニング棒で拭き取ります。

キャップは SC-S70650、SC-S50650 では 10 個、SC-S30650 は 4 個あります。

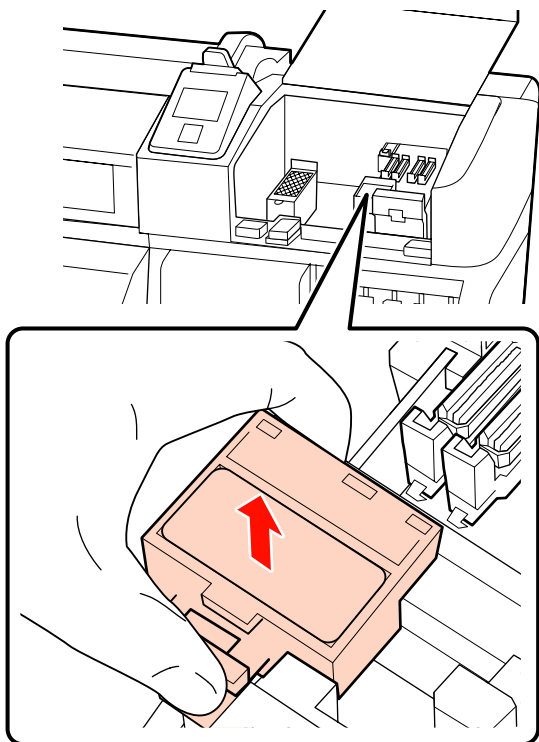
!重要

キャップの内側には触れないようにしてください。部品を変形させるおそれがあります。

ワイパーのレールの清掃

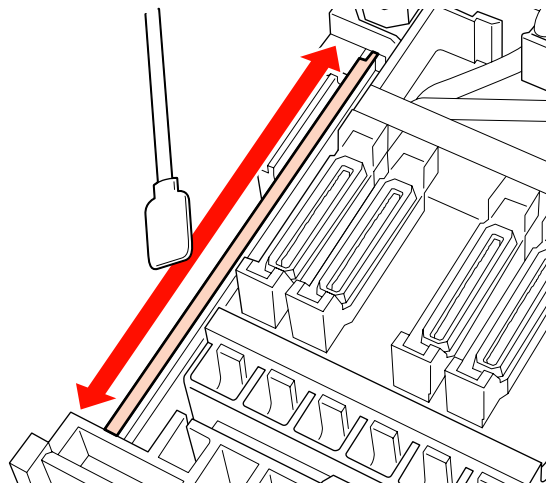
> **!重要**
>
> ワイパーのレールの清掃を怠ると、ワイパーが正常に動作しなくなり、本機の故障の原因となります。

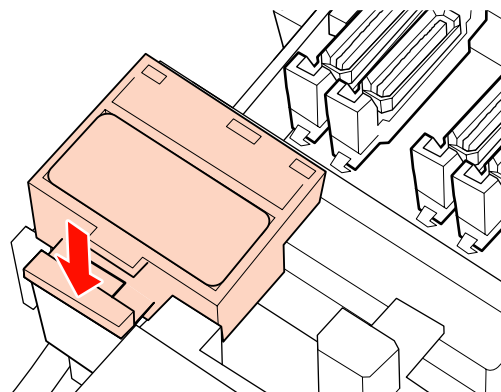
1 **操作パネルの OK ボタンを押して、ワイパーが奥側に移動することを確認します。**

2 **ワイパークリーナーを取り外します。**

図のようにつまんで引き上げます。

3 **クリーニング棒を別売のインククリーナーに浸します。**

☞「インククリーナーの使い方」72 ページ

4 **図の箇所を拭き取ります。**

5 **手順 2 で取り外したワイパークリーナーを元に戻します。**

取り付け部に載せて、パチッと音がするまで押し込みます。

SC-S70650、SC-S50650 は手順 2 に戻り、もう片方のワイパーレールも清掃します。

6 **両側のメンテナンスカバーを閉めて、OK ボタンを押します。**

プリントヘッドが通常の位置に戻ると、設定メニューが終了します。

廃インク処理

廃インクの廃棄時期

操作パネルの画面に以下のメッセージが表示されたら、必ず直ちに新しい廃インクボトルと交換してください。

- 空の廃インクボトルを準備してください。
- 空の廃インクボトルと交換して、OK を押してください。

廃インクは別の容器に移し替えずに廃インクボトルごと廃棄してください。

> ⚠ 注意
> - 廃インクは、子どもの手の届かない場所に保管してください。
> - 廃インクボトルを交換するときは、保護メガネ、手袋を着用してください。
>   皮膚に付いたり、目や口に入ったときは、すぐに以下の処置をしてください。
>   - 皮膚に付いたときは、すぐに多量の石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。
>   - 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
>   - 飲み込んだときは、吐き出さずに、すぐに医師の診断を受けてください。
> - 廃インクボトルを交換した後は、手洗いとうがいを十分に行ってください。

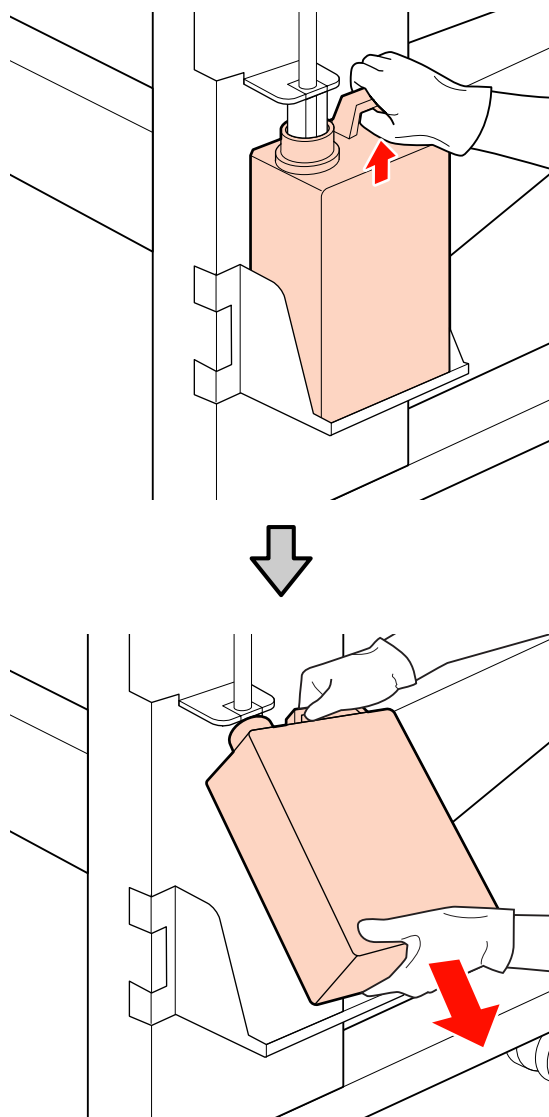
> ！重要
> - 印刷中やヘッドクリーニング、ヘッド洗浄中は、絶対に廃インクボトルを取り外さないでください。廃インクが漏れることがあります。
> - 廃インクは産業廃棄物です。廃インクは、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。委託時に廃インクデータシートを産業廃棄物処理業者に提出してください。廃インクデータシートは、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）からダウンロードできます。

本機は廃インクの量をカウントし、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせします。新しい廃インクボトルに交換したら、廃インクカウンターをクリアします。

> 参考
> 操作パネルの画面に、廃インクボトルの交換時期を示すメッセージが表示される前に廃インクボトルを交換したときは、交換後にメンテナンスメニューで［廃インクカウンタークリア］を実行してください。
> ☞「メンテナンスメニュー」97 ページ

> ！重要
> 廃インクカウンターのクリアは、廃インクボトルを交換したとき以外は行わないでください。廃インクボトルの交換時期が正しくカウントされなくなります。

廃インクボトルの交換

1 廃インクボトルを廃インクボトルホルダーから取り出します。

2 新しい廃インクボトルの口を廃インクチューブに差し込んでから、廃インクボトルホルダーに設置します。

使用後の廃インクボトルはしっかりふたをしてください。

!重要

- 必ず、廃インクチューブがボトルの口に差し込まれていることを確認してください。廃インクチューブがボトルから外れていると廃インクが周囲にこぼれます。
- 廃インクボトルのふたは、廃インクを廃棄するときに必要となります。捨てずに保管しておいてください。

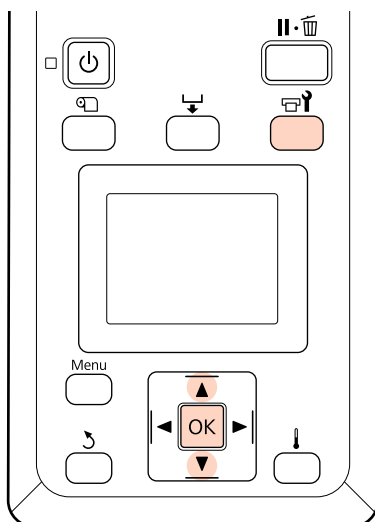
3 【OK】ボタンを押します。

4 再度、新しい廃インクボトルが正しく装着されていることを確認します。【OK】ボタンを押すと、廃インクカウンターがクリアされます。

ワイパークリーナーとワイパーの交換

ワイパークリーナーとワイパーは以下を目安に交換してください。

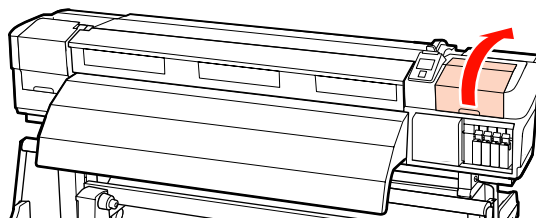
- 6 ヵ月に 1 度
- ワイパークリーナーの表面（吸収材の部分）がインクで汚れ始めたとき。

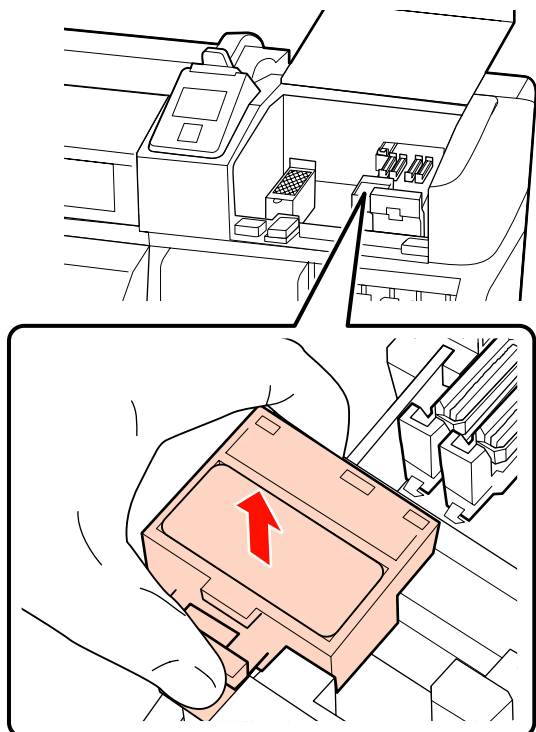
以下の設定で使用するボタン

1 電源が入っていることを確認し、【】ボタンを押します。

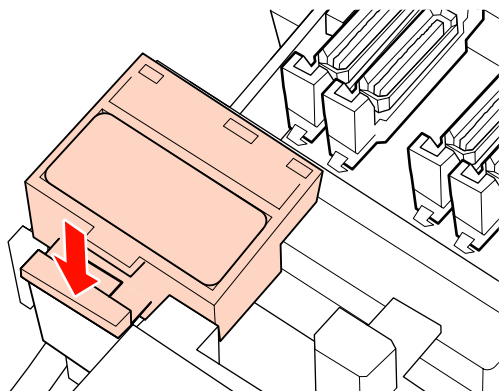
メンテナンスメニューが表示されます。

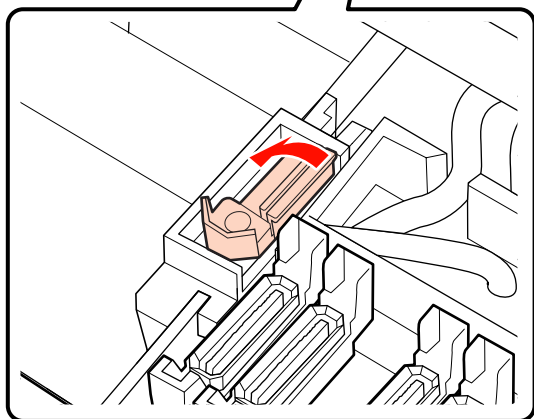
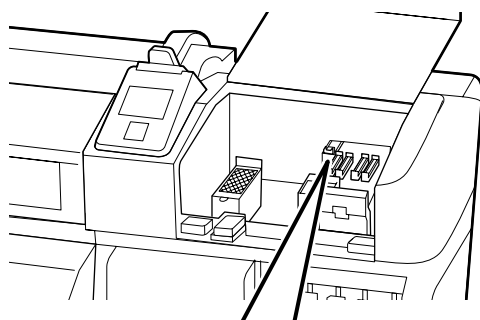
2 【▼】/【▲】ボタンを押して［ヘッドメンテナンス］を選択し、【OK】ボタンを押します。

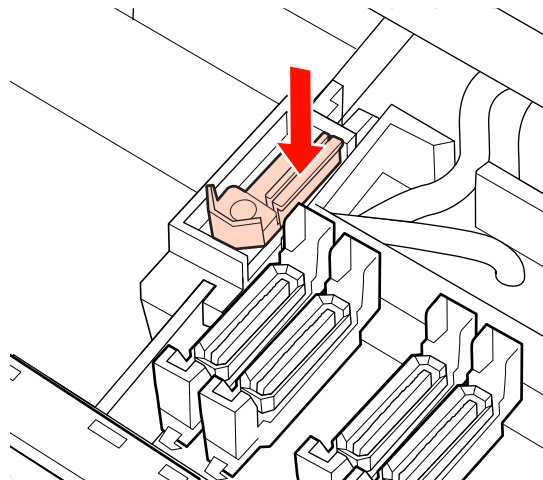
3 【OK】ボタンを押すと、プリントヘッドが清掃位置まで移動します。

4 右側のメンテナンスカバーを開けます。

5 ワイパークリーナーを取り外します。

図のようにつまんで引き上げます。

6 **新品のワイパークリーナーを取り付けます。**

取り付け部に載せて、パチッと音がするまで押し込みます。

7 **ワイパーを取り外します。**

ワイパー装着部分をつまんだまま、左側に傾けて取り外します。

8 **新品のワイパーを取り付けます。**

取り付け部に載せて、パチッと音がするまで押し込みます。

SC-S70650、SC-S50650 は手順 5 に戻り、もう片方のワイパーも交換します。

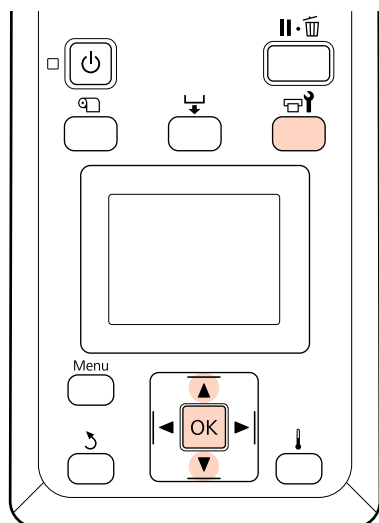
9 **メンテナンスカバーを閉めて、【OK】ボタンを押します。**

10 **プリントヘッドが通常位置に戻ると、設定メニューが終了します。**

フラッシング用吸収材の交換

フラッシング用吸収材は以下を目安に交換してください。

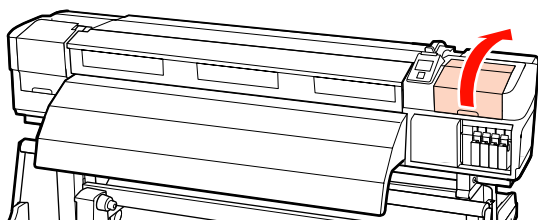
- 6 ヵ月に 1 度
- メディアがインクで汚れるとき。
- フラッシング用吸収材の表面にホコリやメディアの糸くずなどが付着しているとき。

以下の設定で使用するボタン

1 電源が入っていることを確認し、【 】ボタンを押します。

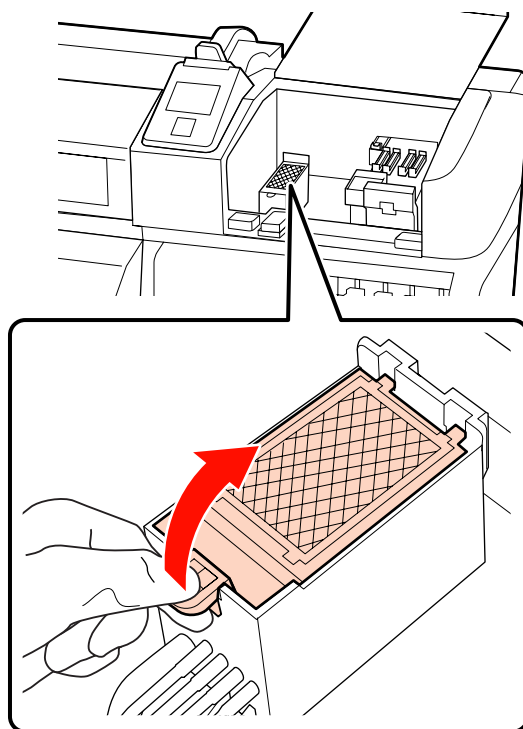
メンテナンスメニューが表示されます。

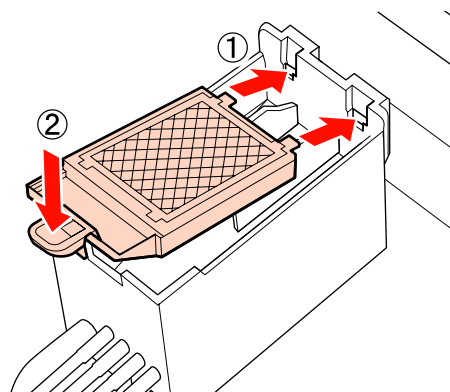
2 【▼】/【▲】ボタンを押して［ヘッドメンテナンス］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【OK】ボタンを押すと、プリントヘッドが清掃位置まで移動します。

4 右側のメンテナンスカバーを開けます。

5 フラッシング用吸収材を取り外します。

図のようにつまみの部分を持って、引き上げます。

取り外したフラッシング用吸収材は、すぐにトレイに載せてください。インクが垂れることがあります。

6 新品のフラッシング用吸収材を取り付けます。

図のようにフラッシング用吸収材の 2 本のツメを穴に差し込み、つまみの辺りをパチッと音がするまで押し込みます。

7 メンテナンスカバーを閉めて、【OK】ボタンを押します。

8 プリントヘッドが通常位置に戻ると、設定メニューが終了します。

定期清掃チェックシート

このページを印刷して、メンテナンスの管理にお使いください。

清掃箇所	実施日					備考
❶ プラテンヒーター・加圧ローラー・メディア押さえ板	/	/	/	/	/	メディアの糸くずやホコリまたはインクなどで汚れたら掃除してください。
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
❷ プリントヘッド	/	/	/	/	/	• 週に 1 度の清掃をお勧めします。 • ヘッドクリーニングをしても印刷がかすれたり、欠けたりするときに掃除してください。 • プリントヘッドの乾燥を防ぐために、10 分以内で作業を終了してください。 • ノズル列間（図 ❷ の 4 箇所）の清掃は、必ず細いクリーニング棒を使用して行ってください。ノズル面にクリーニング棒が触れると、プリントヘッドが破損することがあります。 • から拭きしただけでは取れないインク汚れがあるときは、別売のインククリーナー（SC2CLN）をお使いください。
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
❸ ワイパー	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
❹ キャップ	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
❺ ワイパーのレール	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	

定期交換チェックシート

このページを印刷して、メンテナンスの管理にお使いください。

交換箇所	実施日					備考
❶ フラッシング用吸収材	/	/	/	/	/	• 6 ヵ月に 1 度の交換をお勧めします。 • メディアがインクで汚れるとき、フラッシング用吸収材の表面にホコリやメディアの糸くずなどが付着しているときは交換してください。
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
❷ ワイパー	/	/	/	/	/	• 6 ヵ月に 1 度の交換をお勧めします。 • ワイパークリーナーの表面（吸収材の部分）がインクで汚れ始めたら交換してください。 • ワイパークリーナー交換時に合わせてワイパーも交換してください。
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
❸ ワイパークリーナー	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
❹ 廃インクボトル	/	/	/	/	/	• 廃インクボトルのラインまで廃インクがたまったら、新しい廃インクボトルと交換してください。 • 交換後は、廃インクカウンターをクリアしてください。
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	
	/	/	/	/	/	

※ 付属のメンテナンスキットが終了したときは、別売のメンテナンスキット（SC2MKIT)をお求めください。

※ 廃インクは別の容器に移し替えずに廃インクボトルごと廃棄してください。交換用の廃インクボトルは、別売の廃インクボトル（SC2WIB）をお求めください。

インクカートリッジの交換

装着されているインクカートリッジのうち、1 色でもインクが使用できなくなると印刷はできません。インクの残量警告が示されたら、できるだけ早くインクカートリッジの交換をお勧めします。
印刷途中でインクが切れたときは、そのインクカートリッジを交換すれば印刷は続行されます。ただし、途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。
本機で使用できるインクカートリッジ ☞「消耗品とオプション」111 ページ
ヘッド洗浄用のクリーニングカートリッジと交換するときもインクカートリッジと同様の手順で行います。

使用済み消耗品の処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- 純正カートリッジの回収
  エプソンは使用済み純正インクカートリッジ、クリーニングカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。
  回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。
  http://www.epson.jp/recycle/
- 廃棄
  事業所など業務でお使いのときは、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。一般家庭でお使いのときは、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

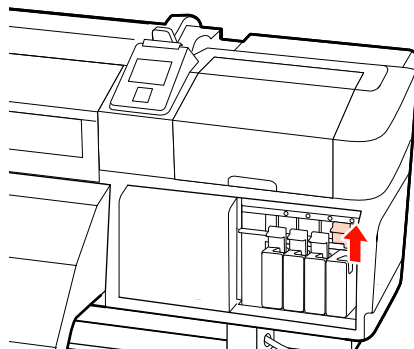
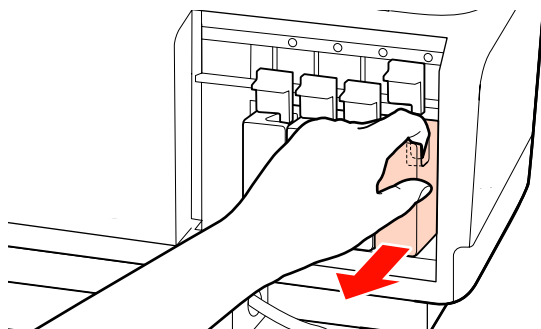
交換方法

インクカートリッジは全色、同様の手順で交換できます。

!重要

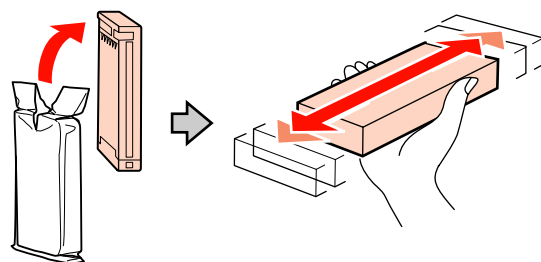
プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

1 本機の電源が入っていることを確認します。

2 交換するインクカートリッジのロックレバーを引き上げます。

3 インクカートリッジ上部のくぼみに指をかけて、まっすぐに引き抜きます。

!重要

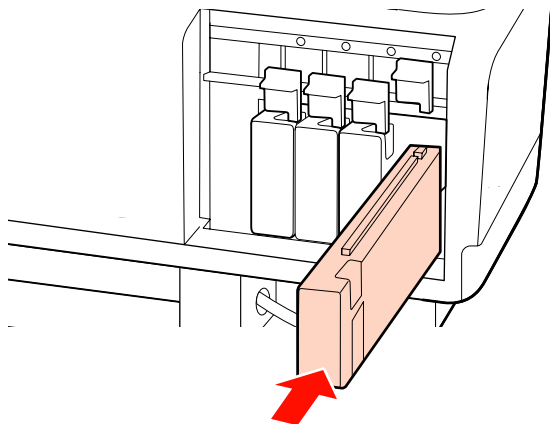
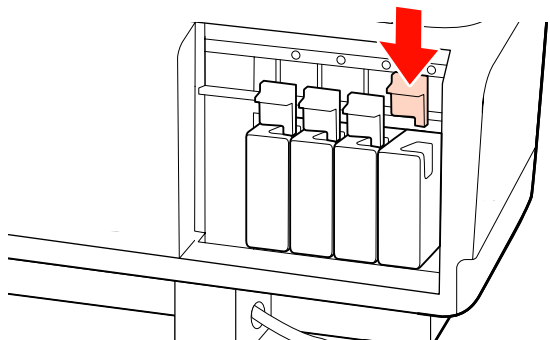
取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

4 新しいインクカートリッジを袋から取り出します。図のように水平方向に両側約 **5cm** の振り幅でホワイト、メタリックシルバー、オレンジは **15** 秒間に **50** 回程度、その他の色は **5** 秒間に **15** 回程度よく振ります。

メンテナンス時は、全色 5 秒間に 15 回程度で振ってください。

!重要

インクカートリッジ上の IC チップは触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

5 インクカートリッジの色名のラベルを手前に向けて、奥まで差し込みます。

インクカートリッジの色と本機に貼付のラベルの色を合わせてください。

6 ロックレバーを下げてロックします。

別の色のインクカートリッジも交換するときは、手順 2〜6 を行います。

> **!重要**
> - インクカートリッジおよび代替カートリッジ（8 色/4 色モード選択時）は、全スロットに装着してください。全スロットに装着していないと印刷できません。
> - 本機に装着したホワイトおよびメタリックシルバーインクカートリッジは 24 時間に 1 度、その他のインクカートリッジは 3 週間に 1 度、取り出して手順 4 のようによく振ってください。

製品寿命と定期交換部品

製品寿命

以下は定期交換部品を適切に交換したときの、耐久性能の参考値です。印刷可能面積は印刷環境や印刷の仕方（メディア種類・電源の頻繁な入切など）によって変動し、以下の数値より少なくなる事があります。

SC-S70650, SC-S30650：67,500 ㎡ または 5 年 いずれか早い方

　メディアサイズ「64 インチ」・解像度「720×720」・印刷方向「双方向」の設定で印刷できる面積の目安。

SC-S50650：135,000 ㎡または 5 年 いずれか早い方

　メディアサイズ「64 インチ」・解像度「720×720」・印刷方向「双方向」の設定で印刷できる面積の目安。

定期交換部品

定期交換部品の種類は、以下の通りです。
（2012 年 4 月現在）
最新の情報は、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）から「定期交換部品料金一覧」をご確認いただくか、エプソンサービスコールセンターにお問い合わせください。
エプソンサービスコールセンターの連絡先 ☞「お問い合わせ先」119 ページ

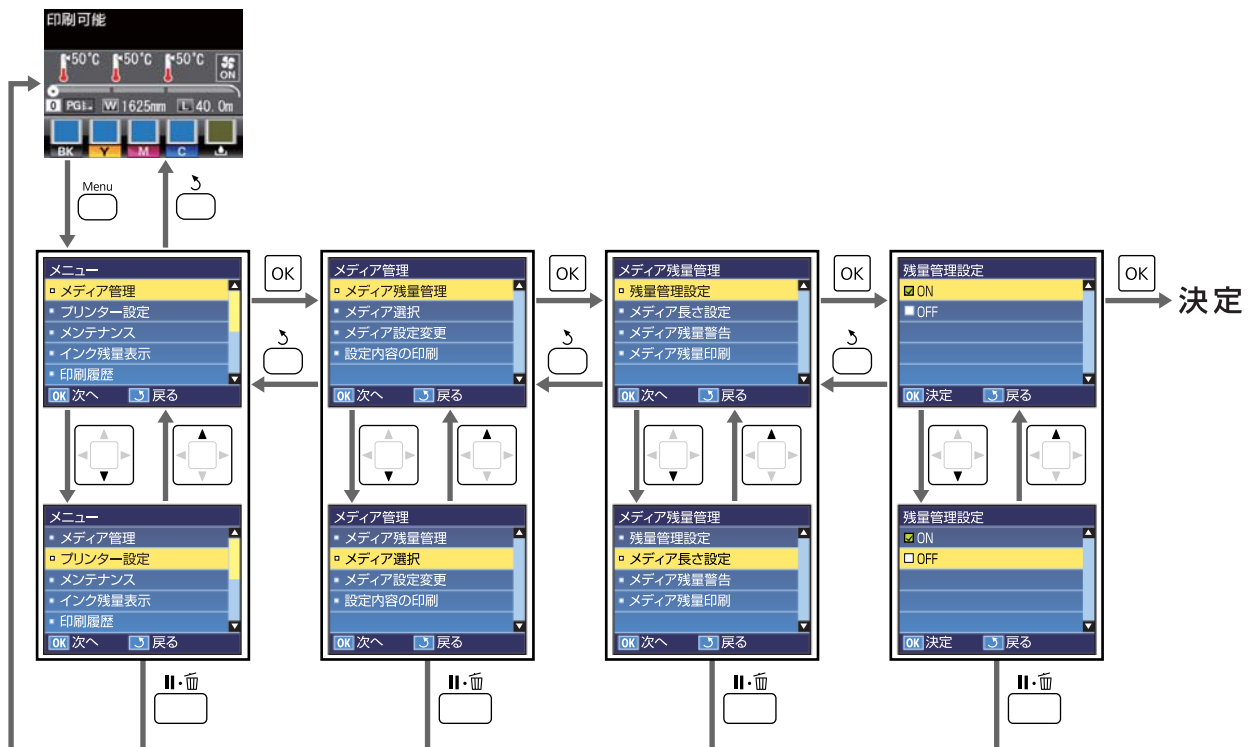
プリントヘッド：交換時期は使用状況により異なります。
プリントヘッド交換時にダンパーキット、キャリッジエンコーダーも同時に交換します。

プリントヘッドの交換時期が近づくと、操作パネルの画面に［ヘッドの寿命が近づいています。］と表示されます。このメッセージが表示されても継続して印刷はできます。
寿命に至る期間は使用環境により異なります。印刷品質を見て交換時期を判断してください。
交換の依頼はお買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

定期交換部品の現在の経過状態は、設定メニューの［プリンターステータスの印刷］で印刷して確認できます。
☞「プリンターステータスメニュー」99 ページ

操作パネルのメニューの使い方

メニューの操作

メニューの操作は以下の通りです。

設定メニュー一覧

設定メニューで設定・実行できる項目と各設定値は以下の通りです。各項目の詳細は参照ページをご覧ください。
設定項目や設定値の＊1 は SC-S30650 非対応、＊2 は SC-S50650 のみ対応、＊3 は SC-S70650 非対応です。

メニュー	設定項目				設定値
メディア管理 ☞「メディア管理メニュー」91 ページ	メディア残量管理				
		残量管理設定			ON、OFF
		メディア長さ設定			5〜99.5m
		メディア残量警告			1〜15 m
		メディア残量印刷			印刷
	メディア選択				RIP 設定、1〜30（メディア設定番号）
	メディア設定変更				
		現在の設定			現在選択されているメディア設定の内容を変更します。選択している設定が［RIP 設定］かメディア設定番号かにより変更できる項目が異なります。変更できる項目については以下の RIP 設定あるいは 1〜30 の項をご覧ください。
		RIP 設定			
			プラテンギャップ設定		1.5、2.0、2.5
			ギャップ調整		
				メディア厚を入力します。	自動（Uni-D）、自動（Bi-D）、自動（ヘッド間調整）＊1、手動（Uni-D）、手動（Bi-D）、手動（ヘッド間調整）＊1
			ロール巻き仕様設定		印刷面外巻き、印刷面内巻き
			テンション測定		定期、1 ページごと、OFF
			メディアテンション		0〜40
		1〜30（メディア設定番号）			
			設定名の登録		22 文字以内（半角英数字・記号）
			メディア送り補正		自動、手動
			プラテンギャップ設定		1.5、2.0、2.5
			ギャップ調整		自動（Uni-D）、自動（Bi-D）、自動（ヘッド間調整）＊1、手動（Uni-D）、手動（Bi-D）、手動（ヘッド間調整）＊1
			ヒーター/乾燥設定		
				ヒーター温度設定	プリヒーター/プラテンヒーター：30℃〜50℃ アフターヒーター：30℃〜55℃
				パス毎の乾燥時間	0〜10 秒
				印刷後の乾燥送り	モード 1、モード 2、OFF
				乾燥ファン設定	ON、OFF

メニュー	設定項目	設定値
	吸着力	0～10
	ヘッド移動量	データ幅、プリンター全幅
	重ね描き回数	OFF、2～8 回
	ロール巻き仕様設定	印刷面外巻き、印刷面内巻き
	テンション測定	定期、1 ページごと、OFF
	メディアテンション	0～40
	印刷時のメディア送り速度	1～2
	設定内容の印刷	印刷
プリンター設定 ☞「プリンター設定メニュー」95 ページ	サイドマージン（右）	3～25mm
	サイドマージン（左）	3～25mm
	印刷開始位置	0～800 mm
	メディア幅検出	ON、OFF
	メディア終端検出	ON、OFF
	斜行エラー検出	ON、OFF
	メディア浮き検出*2	
	メディア浮き検出設定	ON、OFF
	メディア浮き検出レベル設定	1～5
	自動ノズルチェック	
	ノズルチェック頻度	OFF、1～10 ページごと
	目詰まり時の対応	印刷続行、印刷停止
	ページ間ノズルチェック印刷	OFF、1～10 ページごと
	定期クリーニング	
	弱	OFF、1～240 時間後
	中	
	強	
	強力*3	
	ページ間クリーニング	OFF、1～10 ページごと
	ヒーターオフタイマー	15～240 分
	ヘッドモード*1	2 ヘッドモード、Head1、Head2
	プリンター設定初期化	はい、いいえ

メニュー	設定項目	設定値
メンテナンス ☞「メンテナンスメニュー」97 ページ	ノズルチェック	印刷
	クリーニング	
	全列クリーニング	実行（弱）、実行（中）、実行（強）
	Head1/Head2 *1、Head1 *1、Head2 *1	
	クリーニングする列を選択	実行（弱）、実行（中）、実行（強）
	インク循環 *1	実行
	WH、XX インクリフレッシュ *1	実行
	ヘッド洗浄	XX/XX、Head1 全列 *1、Head2 全列 *1、全列
	ヘッドメンテナンス	ヘッド移動
	廃インクカウンタークリア	-
インク残量表示 ☞「インク残量表示メニュー」98 ページ	BK Y M C	
印刷履歴 ☞「印刷履歴メニュー」98 ページ	ジョブ履歴の印刷	印刷
	総印刷面積表示	XXXXXXm²
プリンターステータス ☞「プリンターステータスメニュー」99 ページ	プリンターステータスの印刷	印刷
	EDM ステータス	未開始、無効、有効 最終送信時刻：（未送信）、YY/MM/DD HH:MM GMT
	ファームウェアバージョン	XXXXXXX,X_XX,XXXX
ネットワーク設定 ☞「ネットワーク設定メニュー」99 ページ	IP アドレス設定	
	自動	-
	パネル	IP：000.000.000.000 - 255.255.255.255 SM：000.000.000.000 - 255.255.255.255 DG：000.000.000.000 - 255.255.255.255
	BONJOUR	ON、OFF
	ネットワーク設定の印刷	印刷
	ネットワーク設定初期化	はい、いいえ

メニュー	設定項目	設定値
環境設定 ☞「環境設定メニュー」100 ページ	日時設定	YY/MM/DD HH:MM
	表示言語/Language	日本語, English, French, Italian, German, Portuguese, Spanish, Dutch, Russian, Korean, Chinese
	長さ単位	m、ft/in
	温度単位	℃、F
	警告ブザー設定	ON、OFF
	アラートランプ設定	ON、OFF
全設定の初期化 ☞「全設定の初期化メニュー」100 ページ		はい、いいえ

設定メニューの説明

設定項目や設定値の＊1 は SC-S30650 非対応、＊2 は SC-S50650 のみ対応、＊3 は SC-S70650 非対応です。

メディア管理メニュー

メディア管理メニューは、【⊕】ボタンを押して直接呼び出すことができます。

はメーカー設定値です。

メディア残量管理

設定項目	設定値	説明
残量管理設定	ON	セットしたメディアの残量を表示・記録する（[ON]）/しない（[OFF]）を選択します。[ON] にすると、[メディア長さ設定] と [メディア残量警告]、[メディア残量印刷] が表示され設定できます。[メディア長さ設定] で設定した値と印刷で使用したメディアの長さから、操作パネルの画面にメディア残量が表示されます。
	OFF	
メディア長さ設定	5.0〜99.5m	セットしたメディアの全長を 5.0〜99.5m の範囲で設定します。設定は 0.5m 単位で行えます。
メディア残量警告	1〜15m	メディアの残量がどのくらいになったら、警告を表示するか、その値を 1〜15m の範囲で設定します。設定は 0.5m 単位で行えます。
メディア残量印刷	印刷	セットされているメディアを別のメディアと交換するときは、[メディア残量印刷] を行い交換するメディアに残量を印刷しておくと、次回そのメディアをセットした際にメディア長さの設定が確実にできて便利です。

メディア選択

設定値	説明
RIP 設定	印刷で使用するメディア設定を選択します。 [RIP 設定] にすると、ソフトウェア RIP で設定したメディア設定で印刷します。 1〜30 のいずれかにすると、設定した番号に保存されているメディア設定で印刷します。番号にメディア設定を保存するには、[メディア設定変更] で行います。
1〜30（メディア設定番号）	

メディア設定変更

設定項目	設定値	説明
現在の設定		現在設定されているメディア設定の内容を変更します。設定が [RIP 設定] かメディア設定番号かにより変更できる項目が異なります。変更できる項目については以下の RIP 設定あるいは 1〜30 の項をご覧ください。

RIP 設定

設定項目			設定値	説明
プラテンギャップ設定			1.5 2.0 2.5	ソフトウェア RIP で設定したメディア設定の［プラテンギャップ設定］（プリントヘッドとメディアの間隔）を変更します。 通常は、1.5 のまま使用します。印刷結果がこすれて汚れるときは、2.0 に変更します。2.5 は、2.0 に設定してもこすれ汚れが改善されないときに限り設定します。むやみに設定すると、本機の内部がインクで汚れ印刷品質の低下や、本機の寿命に支障をきたすことがあります。
ギャップ調整				
	メディア厚を入力します。		0.1～1.0mm	使用するメディアの厚さを 0.1～1.0mm の範囲で選択します。
		自動（Uni-D）	印刷	印刷結果に粒状感やピントのずれが生じるときは、ギャップ調整を行い、印刷時のプリントヘッドのズレを調整します。自動調整は、調整パターンを印刷しながらセンサーで読み取り、自動的に調整します。☞「ギャップ調整」56 ページ 手動調整は、印刷された調整パターンを目視で確認し、最適と思う調整値を入力して補正します。☞「印刷のズレ調整（ギャップ調整）」59 ページ
		自動（Bi-D）		
		自動（ヘッド間調整）＊1		
		手動（Uni-D）		
		手動（Bi-D）		
		手動（ヘッド間調整）＊1		
ロール巻き仕様設定			印刷面外巻き 印刷面内巻き	セットしたメディアのロール巻き仕様に応じて［印刷面外巻き］/［印刷面内巻き］を選択します。
テンション測定			定期 1 ページごと OFF	印刷中のメディアのテンションを適正に保つために、自動的にテンションを測定して補正する（[定期]、[1 ページごと]）/しない（[OFF]）を選択します。 通常は［定期］のまま使用します。 メディアによって、補正機能がうまく働かずに弛むなどして正しく印刷できないときは、[OFF］に変更します。ただし、[OFF］を選択すると、ページ間の余白が通常より大きくなります。また、印刷が停止せずに機内が汚れるおそれがあるので、以下の点を守ってください。 • 印刷がロールの終端にかからない。 • メディア終端検出を［OFF］に設定しない。 ［1 ページごと］にするとテンション測定の精度を高めることができますが、印刷時間が長くなります。
メディアテンション			0～40	印刷中にメディアにしわが寄るときは、テンションを高めるように設定を変更します。設定値が大きくなるほどテンションが高くなります。

1～30（メディア設定番号）

設定項目	設定値	説明
設定名の登録		保存するメディア設定に、半角英数字・記号 22 文字以内で名前を付けられます。区別しやすい名前を付けると、選択時に判別しやすくなります。
メディア送り補正	自動	ヘッドクリーニングやギャップ調整を行ってもバンディング（水平方向の帯状の模様や色ムラ、スジ）が解決できないときに行います。 自動補正は、パターンを印刷しながらセンサーで読み取り、自動的に補正します。☞「メディア送り補正」55 ページ 手動補正は、印刷されたパターンを目視で確認し、値を入力して補正します。☞「メディア送り補正（手動補正）」60 ページ
	手動	
プラテンギャップ設定	1.5	プラテンギャップ（プリントヘッドとメディアの間隔）を変更します。 通常は、1.5 のまま使用します。印刷結果がこすれて汚れるときは、2.0 に設定します。2.5 は、2.0 に設定してもこすれ汚れが改善されないときに限り設定します。むやみに設定すると、本機の内部がインクで汚れ印刷品質の低下や、本機の寿命に支障をきたすことがあります。
	2.0	
	2.5	
ギャップ調整	自動（Uni-D）	印刷結果に粒状感やピントのずれが生じるときは、ギャップ調整を行い、印刷時のプリントヘッドのズレを調整します。自動調整は、調整パターンを印刷しながらセンサーで読み取り、自動的に調整します。☞「ギャップ調整」56 ページ 手動調整は、印刷された調整パターンを目視で確認し、最適と思う調整値を入力して補正します。☞「印刷のズレ調整（ギャップ調整）」59 ページ
	自動（Bi-D）	
	自動（ヘッド間調整）＊1	
	手動（Uni-D）	
	手動（Bi-D）	
	手動（ヘッド間調整）＊1	
ヒーター/乾燥設定		
ヒーター温度設定	プリヒーター/プラテンヒーター：30℃～50℃ アフターヒーター：30℃～55℃	プリヒーター、プラテンヒーター、アフターヒーターそれぞれに対して温度設定ができます。
パス毎の乾燥時間	0～10 秒	プリントヘッドの移動（パス）を停止させてインクの乾燥を補助するための時間を 0.0～10.0 秒の範囲で設定します。インク濃度やメディアによっては、インクが乾燥しにくいことがあります。印刷結果にインク垂れやにじみが起きるときは、乾燥時間を長めに設定してください。 時間を長く設定するほど、印刷時間が長くなります。
印刷後の乾燥送り	モード 1	印刷後、アフターヒーターの位置まで印刷終端部を送る（［モード 1］、［モード 2］）/ 送らない（［OFF］）を選択します。 ［モード 1］にすると、次の印刷ジョブを受け付けたとき、乾燥のために送ったメディアを巻き戻さずに印刷します。メディアをカット後、次の印刷をするときに適しています。 ［モード 2］にすると、次の印刷ジョブを受け付けたとき、乾燥のために送ったメディアを自動的に巻き戻してから印刷しますので、不要な余白が入りません。順次、続けて印刷するときに適しています。
	モード 2	
	OFF	
乾燥ファン設定	ON	オプションの外付け乾燥ファンユニット（SC-S50650 は標準）を動かす（［ON］）/停止（［OFF］）を選択します。本設定が［ON］になっていても、ヒーターオフタイマーが働きヒーターが停止したときは、外付け乾燥ファンユニットも連動して停止します。ヒーターが復帰すると、外付け乾燥ファンユニットも復帰します。ヒーターオフタイマー ☞「プリンター設定メニュー」95 ページ オプションの外付け乾燥ファンユニット（SC-S50650 は標準）を装着しているときのみ表示されます。
	OFF	

設定項目	設定値	説明
吸着力	0～10	メディアとプリントヘッドの距離を適正に保つために、メディアに合った吸着力で印刷することが大切です。薄いメディアや柔らかいメディアは吸着力が強すぎると、プリントヘッドとメディアの距離が広くなりすぎ印刷品質が低下する、または正しくメディアが送られないことがあります。そのようなときは吸着力を弱めます。設定値が小さくなるほど吸着力が弱くなります。
ヘッド移動量	データ幅	印刷時にプリントヘッドが移動する範囲を設定できます。 ［データ幅］は、印刷データ幅の範囲でプリントヘッドが移動します。プリントヘッドの移動範囲が狭くなるため、印刷速度が向上します。 ［プリンター全幅］は、本機の最大メディア幅の範囲でプリントヘッドが移動します。印刷品質が均一で、よりムラのない印刷品質をお求めのときは、こちらに設定します。
	プリンター全幅	
重ね描き回数	OFF	1 行あたりの重ね描き回数を設定できます。
	2～8 回	
ロール巻き仕様設定	印刷面外巻き	セットしたメディアのロール巻き仕様に応じて［印刷面外巻き］/［印刷面内巻き］を選択します。
	印刷面内巻き	
テンション測定	定期	印刷中のメディアのテンションを適正に保つために、自動的にテンションを測定して補正する（[定期]、[1 ページごと]）/しない（[OFF]）を選択します。 通常は［定期］のまま使用します。 メディアによって、補正機能がうまく働かずに弛むなどして正しく印刷できないときは、[OFF］に変更します。ただし、[OFF］を選択すると、ページ間の余白が通常より大きくなります。また、印刷が停止せずに機内が汚れるおそれがあるので、以下の点を守ってください。 • 印刷がロールの終端にかからない。 • メディア終端検出を［OFF］に設定しない。 ［1 ページごと］にするとテンション測定の精度を高めることができますが、印刷時間が長くなります。
	1 ページごと	
	OFF	
メディアテンション	0～40	印刷中にメディアにしわが寄るときは、テンションを高めるように設定を変更します。設定値が大きくなるほどテンションが高くなります。
印刷時のメディア送り速度	1～2	薄いメディアを印刷中にしわが寄る、破れる、あるいはメディアが張り付いたりするときは、メディアの送り速度を遅くします。設定値が小さくなるほど速度が遅くなります。

設定内容の印刷

設定値	説明
印刷	メディア設定番号 1～30 に設定されている内容を全て印刷します。

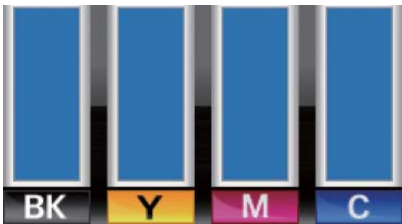
プリンター設定メニュー

（網掛け）はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
サイドマージン（右）	3～25mm	本機にメディアをセットした状態での、メディア右端からの余白を設定します。余白はお使いの製品により異なります。詳細は以下をご覧ください。 「印刷可能領域」63 ページ
サイドマージン（左）	3～25mm	本機にメディアをセットした状態での、メディア左端からの余白を設定します。余白はお使いの製品により異なります。詳細は以下をご覧ください。 「印刷可能領域」63 ページ
印刷開始位置	0～800mm	メディア幅の中央よりに印刷したいなど、［サイドマージン（右）］の設定値よりも左に寄せて印刷したいときなどに設定します。メディア右端から［印刷開始位置］で設定した値が余白となります。［サイドマージン（右）］を設定していると、そこからさらに［サイドマージン（右）］で設定した値が余白となります。余白はお使いの製品により異なります。詳細は以下をご覧ください。 「印刷可能領域」63 ページ
メディア幅検出	ON	メディア幅を検出する（［ON］）/しない（［OFF］）を選択します。メディアを正しくセットしていても、［メディアサイズエラー］が表示されるときは［OFF］に設定して印刷してみてください。ただし、［OFF］で印刷するとメディア外に印刷されることがあります。メディア外に印刷すると、本機の内部がインクで汚れます。通常は［ON］で使用することをお勧めします。
	OFF	
メディア終端検出	ON	メディア終端を検出する（［ON］）/しない（［OFF］）を選択します。メディアを正しくセットしていても、［メディアなしエラー］が表示されるときは［OFF］に設定して印刷してみてください。通常は［ON］で使用することをお勧めします。
	OFF	
斜行エラー検出	ON	メディアが斜めにセットされたときに、操作パネルの画面にエラーを表示して印刷を中止する（［ON］）/中止せずに続行する（［OFF］）を選択します。斜めにセットされると、メディア詰まりの原因となりますので、通常は［ON］で使用することをお勧めします。
	OFF	
メディア浮き検出*2		
メディア浮き検出設定	OFF	印刷中にメディアが浮いているかを検出する（ON）/しない（OFF）を選択します。 ON にすると印刷中メディアが浮くと印刷を停止して、プリントヘッドとのこすれを防ぎます。 印刷中にプリンターから目を離して作業をするときは、ON での使用をお勧めします。 以下の場合は ON にしていても、正常に検出できないことがあります。 • ［メディア幅検出］が OFF になっている • ［プラテンギャップ設定］が 2.5 になっている • 透明なフィルムのメディアを使用している • 光沢が強いメディアを使用している
	ON	
メディア浮き検出レベル	1～5	数値を大きくすると、少しのメディア浮き量で印刷を停止します。 印刷をなるべく停止させないで使用するには、数値を小さくします。
自動ノズルチェック		

<table>
<tr><th colspan="2">設定項目</th><th>設定値</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="2">ノズルチェック頻度</td><td>OFF</td><td rowspan="2">［自動ノズルチェック］を行うタイミングを［OFF］、［1］～［10］ページごとから設定します。［OFF］にすると、自動ノズルチェックは行われません。［1］～［10］ページごとのいずれかにすると、設定したページの先頭にチェックパターンを印刷しながらセンサーで読み取り、自動的にノズルの目詰まりチェックをします。
［自動ノズルチェック］は、全ての目詰まりを完全に検出できるものではありません。また、以下のメディアや環境では［自動ノズルチェック］は実行できません。
• 透明や色の付いたメディアをセットしているとき。
• 直射日光が当たるなど外乱光を受けているとき。
遮光してください。
• 設定メニューの［プラテンギャップ設定］を［2.5］に設定しているとき。
［プラテンギャップ設定］の値を変更してください。</td></tr>
<tr><td>1～10 ページごと</td></tr>
<tr><td rowspan="2">目詰まり時の対応</td><td>印刷続行</td><td rowspan="2">自動ノズルチェックの結果、ノズルの目詰まりが検出されたときの対応を選択します。
［印刷続行］にすると、［ノズル目詰まり検出］とメッセージが表示されますが、そのまま印刷は続行されます。印刷結果を確認いただき、目詰まりの度合いが問題であれば、印刷を中止してヘッドクリーニングを行ってください。
［印刷停止］にすると、［ノズル目詰まり検出］とメッセージが表示され印刷が停止します。印刷結果を確認いただき、目詰まりの度合いに応じて、印刷続行と印刷中止を選択できます。</td></tr>
<tr><td>印刷停止</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">ページ間ノズルチェック印刷</td><td>OFF</td><td rowspan="2">定期的にチェックパターン印刷を行うタイミングを［OFF］、［1］～［10］ページごとから選択します。［OFF］にすると、定期チェックパターン印刷は行われません。［1］～［10］ページごとのいずれかを選択すると、設定したページの先頭にチェックパターンを印刷します。印刷終了後にチェックパターンを目視で確認することで、チェックパターン前後の印刷にかすれや欠けがないかを判断します。</td></tr>
<tr><td>1～10 ページごと</td></tr>
<tr><td colspan="4">定期クリーニング</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>弱</td><td rowspan="4">OFF/1～240 時間後</td><td rowspan="4">定期的にヘッドクリーニングをするクリーニングの強さと、その強さで実施するタイミングを［OFF］、［1］～［240］時間後から選択します。［OFF］にすると、定期クリーニングは行われません。［1］～［240］時間後のいずれかにすると、設定した時間が経過した時点で自動的にヘッドクリーニングします。ただし、印刷中やスリープモード中に設定した時間に至ったときは、それぞれが終了してから定期クリーニングが行われます。
また、時間のカウントは以下のタイミングでリセットされます。
• 本機の電源を入れたとき。
• 本設定の設定値を変更したとき。
• 手動で全列クリーニングを行ったとき。

定期クリーニングを［OFF］にしても、印刷後一定時間が経つとプリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にヘッドクリーニングを行います。</td></tr>
<tr><td>中</td></tr>
<tr><td>強</td></tr>
<tr><td>強力*3</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">ページ間クリーニング</td><td>OFF</td><td rowspan="2">定期的にヘッドクリーニングを行うタイミングを［OFF］、［1］～［10］ページごとから選択します。［OFF］にすると、ページ間クリーニングは行われません。［1］～［10］ページごとのいずれかにすると、設定したページを印刷する前に自動的にヘッドクリーニングを行います。</td></tr>
<tr><td>1～10 ページごと</td></tr>
</table>

設定項目	設定値	説明
ヒーターオフタイマー	15～240 分	エラーが発生していない状態で、印刷ジョブの受信がない状態が続いたとき、全てのヒーターを自動的にオフにできます。本設定では、ヒーターがオフになるまでの時間を設定します。 ヒーターオフタイマーと連動してスリープモードに移行します。スリープモードになると、操作パネルの画面表示が消え、内部のモーター等がオフになり消費電力が抑えられます。オプションの外付け乾燥ファンユニット（SC-S50650 は標準）を装着しているときは、乾燥ファンが止まります。 操作パネルのボタン操作（【⏻】ボタンを除く）をすると、操作パネルの画面表示が復帰します。ただし、この状態でまた何も操作しないと約 30 秒後に再び画面表示は消えます。完全にヒーターオフが解除され通常の状態に復帰するのは、印刷ジョブを受信したり、メディアセットレバーを操作するなど、ハードウェア動作を伴う操作をしたときです。
ヘッドモード＊1	2 ヘッドモード	プリントヘッドが 2 つある製品で、片方のヘッドに目詰まりが発生し、もう片方のヘッドのみで印刷を継続したいときに選択します。 どちらのヘッドで印刷を継続するかは、ノズルの目詰まりチェックでチェックパターンを印刷して確認してください。 「ノズルの目詰まりチェック」68 ページ 「ヘッドモードの調整」69 ページ
	Head1	
	Head2	
プリンター設定初期化	はい	［はい］にすると、［プリンター設定］メニューの各設定値をメーカー設定値に戻します。
	いいえ	

メンテナンスメニュー

メンテナンスメニューは、【 】ボタンを押して直接呼び出すことができます。

設定項目	設定値	説明
ノズルチェック	印刷	チェックパターンが印刷されます。印刷されたチェックパターンを目視で確認し、かすれや欠けがあるときはヘッドクリーニングを行います。 「ノズルの目詰まりチェック」68 ページ
クリーニング		
全列クリーニング Head1/Head2＊1 Head1＊1 Head2＊1	実行（弱）/実行（中）/実行（強）	お使いの製品により、表示される項目が異なります。 チェックパターンでかすれや欠けがあるパターンの番号を確認し、全列またはその番号が含まれているノズル列を指定して、ヘッドクリーニングします。［全列クリーニング］は、SC-S30650 は全てのノズルに対して、SC-S70650 と SC-S50650 は選択したヘッドの全てのノズルに対してヘッドクリーニングします。［クリーニングする列を選択］は、ノズル列を指定し、指定したノズル列に対してのみヘッドクリーニングします。 ヘッドクリーニングのレベルを、［実行（弱）］［実行（中）］［実行（強）］から設定できます。最初は、［実行（弱）］を行ってください。［実行（弱）］を行ってもチェックパターンにかすれや欠けがあるときは、［実行（中）］を行います。［実行（中）］を行ってもチェックパターンにかすれや欠けがあるときは、［実行（強）］を行ってください。 「ヘッドクリーニングの方法」70 ページ
クリーニングする列を選択	実行（弱）/実行（中）/実行（強）	
インク循環＊1		ホワイトおよびメタリックシルバーインク使用時で、印刷結果に色ムラ（濃さが不均一な部分）が見られるときに実施してください。 「リフレッシュ」70 ページ
WH、MS インクリフレッシュ＊1 WH、WH インクリフレッシュ＊1		電源を切っていた期間があり、電源を入れ直した後の印刷結果に色ムラ（濃さが不均一な部分）が見られるときに実施してください。 ［WH、MS インクリフレッシュ］は SC-S70650 の 10 色モード選択時、［WH、WH インクリフレッシュ］は SC-S50650 の 5 色モード選択時に表示されます。 「リフレッシュ」70 ページ

設定項目	設定値	説明
ヘッド洗浄	XX/XX Head1 全列*1 Head2 全列*1 全列	お使いの製品により、表示される項目が異なります。 プリントヘッドを別売のクリーニングカートリッジを使って洗浄します。 選択したノズルに対してヘッド洗浄します。 クリーニングカートリッジの必要本数は、以下の通りです。 全列および Head1 全列、Head2 全列洗浄をするとき： • SC-S70650 10 色モード：10 本 • SC-S70650 8 色モード：8 本 • SC-S50650 5 色モード：10 本 • SC-S50650 4 色モード：8 本 • SC-S30650：4 本 ノズル列を指定して洗浄するとき：2 本 「消耗品とオプション」111 ページ 全列は長期間本機を使用しないときのみ選択してください。
ヘッドメンテナンス	ヘッド移動	プリントヘッドをメンテナンス位置に移動します。ワイパーやキャップ、プリントヘッドの清掃などを行うときは、必ずこのヘッド移動を行ってから清掃作業を行ってください。プリントヘッドを手で動かすと故障の原因となります。 「定期メンテナンス」71 ページ
廃インクカウンタークリア	-	新しい廃インクボトルに交換したら、本設定で廃インクカウンターをクリアします。廃インクカウンターのクリアは、廃インクボトルを交換したとき以外は行わないでください。 廃インクの交換時期が正しくカウントされなくなります。

インク残量表示メニュー

表示項目	説明
BK Y M C	各インクの残量を表示します。インクカートリッジを交換すると、インク残量は自動的にリセットされます。

印刷履歴メニュー

消耗品の使用状況を管理するのにご活用ください。

設定項目	設定値	説明
ジョブ履歴の印刷	印刷	本機内に保存されている印刷ジョブ（最大 10 ジョブ）に関する情報を印刷します。印刷ジョブごとに使用メディア量や使用インク量が印刷されますので消耗品の使用状況が把握できます。
総印刷面積	XXXXXXm^2	総印刷面積（6 桁まで）を表示します。

プリンターステータスメニュー

本機の使用状況や設定状況を管理するのにご活用ください。

設定項目	設定値	説明
プリンターステータスの印刷	印刷	現在の本機の設定状態や定期交換部品の状態を一覧で印刷します。個々の情報を一括して確認でき、定期交換部品の交換時期の予測にも役立ちます。
EDM ステータス	未開始、無効、有効	本機では、この機能は利用できません。
	最終送信時刻：(未送信)、YY/MM/DD HH:MM GMT	
ファームウェアバージョン	XXXXXXX,X_XX,XXXX	本機のファームウェアバージョンを表示します。

ネットワーク設定メニュー

（網掛け部分）はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
IP アドレス設定		
自動	-	IP アドレスの設定を DHCP を使用して行う（[自動]）/手動で行う（[パネル]）を選択します。[パネル] では、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。それぞれの値は、システム管理者にお尋ねください。
パネル	IP：XXX.XXX.XXX.XXX	
	SM：XXX.XXX.XXX.XXX	
	DG：XXX.XXX.XXX.XXX	
BONJOUR	ON	ネットワークインターフェイスが Bonjour を使用する（[ON]）/使用しない（[OFF]）を設定します。
	OFF	
ネットワーク設定の印刷	印刷	現在のネットワーク設定の一覧を印刷します。ネットワーク設定の個々の情報を一括して確認できます。
ネットワーク設定初期化	はい	[はい] にすると、ネットワーク設定メニューの各設定値をメーカー設定値に戻します。
	いいえ	

環境設定メニュー

はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
日時設定	YY/MM/DD HH:MM	内蔵時計の日時を設定します。ここで設定した時間は、ジョブ履歴やプリンターステータスの印刷時に使用されます。
表示言語/Language	日本語	操作パネルの画面の表記言語を設定します。
	English	
	French	
	Italian	
	German	
	Portuguese	
	Spanish	
	Dutch	
	Russian	
	Korean	
	Chinese	
長さ単位	m	操作パネルの画面の表記やパターン印刷時に使用する長さの単位を設定します。
	ft/in	
温度単位	℃	操作パネルの画面の表記で使用する温度の単位を設定します。
	F	
警告ブザー設定	ON	エラーが発生したときに、ブザー音を鳴らす（[ON]）/鳴らさない（[OFF]）を設定します。
	OFF	
アラートランプ設定	ON	エラーが発生したときに、大型アラートランプを点灯する（[ON]）/点灯しない（[OFF]）を設定します。
	OFF	

全設定の初期化メニュー

設定値	説明
はい	［はい］にすると、環境設定メニューの［日時設定］、［表示言語/Language］、［長さ単位］、［温度単位］を除く全ての設定をメーカー設定値に戻します。
いいえ	

困ったときは

メッセージが表示されたとき

以下のメッセージが表示されたら、対処方法の記載を確認し必要な処置をしてください。

メッセージ	対処方法
空の廃インクボトルを準備してください。	廃インクボトルの空き容量が残り少なくなりました。新しい廃インクボトルを用意してください。 ☞「消耗品とオプション」111 ページ
インクカートリッジエラー 正しく認識できません。インクカートリッジをセットし直すか、交換してください。 インクカートリッジエラー 正しく検出できません。インクカートリッジをセットし直すか、交換してください。	• インクカートリッジをセットし直してください。セットし直しても同じエラーが発生するときは、新しいインクカートリッジと交換してください（不良インクカートリッジは取り付けないでください）。 ☞「交換方法」84 ページ • 代替カートリッジをセットし直してください。セットし直しても同じエラーが発生するときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 ☞「交換方法」84 ページ エプソンサービスコールセンターの連絡先 ☞「お問い合わせ先」119 ページ • 結露している可能性があります。4 時間以上室温で放置してから装着し直してください。 ☞「インクカートリッジ取り扱い上のご注意」21 ページ
インクカートリッジエラー クリーニングカートリッジを交換してください。	• クリーニングカートリッジをセットし直してください。セットし直しても同じエラーが発生するときは、新しいクリーニングカートリッジと交換してください（不良クリーニングカートリッジは取り付けないでください）。 ☞「交換方法」84 ページ • 結露している可能性があります。4 時間以上室温で放置してから装着し直してください。
インクが少なくなりました。	インクが残り少なくなりました。新しいインクカートリッジを用意してください。 ☞「消耗品とオプション」111 ページ
ウォーミングアップ中 OK で強制印刷をします。	ヒーターの温度が設定した温度に達していないため、ウォーミングアップしています。ヒーター温度が低くても印刷を開始するときは【OK】ボタンを押してください。
コマンドエラー RIP の設定を確認してください。	• 【Ⅱ·🗑】ボタンを押して［ジョブキャンセル］を行います。インストールされているソフトウェア RIP が本機に適応しているか確認してください。 • SC-S50650 で、［プラテンギャップ］設定を［2.0］にしてホワイトインクを使った印刷をすると、このエラーが表示されることがあります。 【Ⅱ·🗑】ボタンを押し、［ジョブキャンセル］を選択して印刷を中止します。 続いて、［プラテンギャップ］設定を［1.5］にするか、RIP の設定を変更して印刷してください。
装置組み合わせエラー メディア搬送ユニットと巻取りユニットの組み合わせが違います。 正しい組み合わせで装着して、電源を入れ直してください。	標準メディア搬送ユニットと標準自動巻取りユニット、重量メディア搬送ユニットと重量自動巻取りユニットの組み合わせで装着します。組み合わせが間違っているときは、本機の電源を切って、装着し直してください。 ☞『セットアップガイド』（冊子） ☞『重量メディアユニットセットアップガイド』（冊子）
ノズル目詰まり検出 クリーニングをお勧めします。	印刷結果を確認いただき、目詰まりの度合いが問題であれば、印刷を中止してヘッドクリーニングを行ってください。 ☞「ヘッドクリーニングの方法」70 ページ
ファームウェア アップデート エラー アップデートに失敗しました。 電源を入れ直してください。	電源を切り、しばらくたってから電源を入れてください。 LFP リモートパネル 2 で、再びファームウェアをアップデートしてください。 再び同じエラーが発生するときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

メッセージ	対処方法
ヘッドの寿命が近づいています。	プリントヘッドは、定期交換部品です。プリントヘッドの交換時期が近づきました。 ☞「製品寿命と定期交換部品」85 ページ
巻取りユニットが停止しました。	自動巻取りユニットに正しくメディアが取り付けられていません。 【Ⅱ·🗑】ボタンを押して［ジョブキャンセル］を選択して印刷を中止してください。 自動巻取りユニットの Auto スイッチを一旦 Off にしてから、元の設定に戻して、自動巻取りユニットにメディアを取り付けてください。 ☞「メディアの取り付けと巻き取り」49 ページ
メディアサイズエラー 正しいサイズのメディアをセットしてください。	不適切な幅のメディアをセットしました。メディアセットレバーを上げて、メディアを取り除いてください。 本機で使用可能な最小メディア幅は 300mm*です。それ以上の幅のメディアをセットしてください。 適切な幅のメディアをセットしているにもかかわらずエラーメッセージが表示されるときは、設定メニューの［メディア幅検出］を［OFF］にすると印刷を実行できることがあります。 ☞「プリンター設定メニュー」95 ページ *レイヤー印刷時は最小メディア幅が 508mm になります。 レイヤー印刷 ☞「高画質印刷」18 ページ
メディア読み取りエラー メディアまたは印刷状態に問題があります。 詳しくはマニュアルをご覧ください。	【Ⅱ·🗑】ボタンを押すと、エラーが解除されます。 自動ギャップ調整や自動メディア送り補正、自動ノズルチェック時にこのエラーが表示されたときは、以下の点を確認してください。 • 対応していないメディアをセットしていませんか? 透明や色の付いたメディア、トレーシングペーパーでは、正しく実行できません。 • 外乱光の影響を受けていませんか？ 直射日光が当たるなど外乱光を受けているときは、遮光してください。 • 設定メニューの［プラテンギャップ設定］を［2.5］に設定していませんか？ ［プラテンギャップ設定］を［2.5］に設定していると実行できません。 • ノズルが目詰まりしていませんか?（自動ギャップ調整、自動メディア送り補正時） ヘッドクリーニングを行ってください。☞「ヘッドクリーニングの方法」70 ページ それ以外でこのエラーが表示されたときは、セットしているメディアが本機に対応しているかを確認してください。
加圧ローラー位置不正エラー 加圧ローラー位置が不正です メディアセットレバーを解除し、ローラー位置を再セットしてください。	加圧ローラーが以下のいずれかになっています。「印刷可能領域」を参照して、加圧ローラーをセットし直してください。 • 黒いラベルの範囲内に加圧ローラーが 1 つもない • 黒いラベルの範囲内に加圧ローラーが 1 つしかセットされていない • メディアの両端にセットされた加圧ローラーの種類が異なる （加圧ローラー（強）と加圧ローラー（弱）の組み合わせでセットされている） • プリンター設定メニューのメディア幅検出が ON で、メディア幅外側の黒いラベルの範囲内に加圧ローラーがセットされている • 1 つの黒いラベルの範囲内に加圧ローラーが 2 つセットされている ☞「印刷可能領域」63 ページ
レイヤー印刷加圧ローラーエラー ローラー位置が不正です。 加圧ローラーの位置を 再セットしてください。	加圧ローラー（弱）が使用されています。レイヤー印刷時は加圧ローラー（強）を使用してください。 レイヤー印刷 ☞「高画質印刷」18 ページ

メンテナンスコール/サービスコールが発生したときは

エラーメッセージ	対処方法
メンテナンスコール 部品寿命間近/部品寿命到達　XXXXXXXX	本機の交換部品の交換時期が近付きました。 すぐにお買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXX」（メンテナンスコール番号）を必ず伝えてください。 エプソンサービスコールセンターの連絡先 「お問い合わせ先」119 ページ メンテナンスコールは部品を交換しないと解除されません。そのまま使い続けると、サービスコールが発生します。
サービスコール XXXX 系エラー　XXXX 電源を入れ直しても復帰しないときは、上記番号をサービスコールセンターに連絡してください	サービスコールは以下の場合に表示されるエラーメッセージです。 • 電源コードが正しく接続されていないとき • 解除できないエラーが発生したとき サービスコールが発生すると、本機は自動的に印刷を停止します。電源を切り、電源コードをコンセントと本機の電源コネクターから抜いて、接続し直します。本機の電源を数回入れ直します。 再び同じ番号のサービスコールが表示されるときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXX」（サービスコール番号）を必ず伝えてください。 エプソンサービスコールセンターの連絡先 「お問い合わせ先」119 ページ

サービスコール番号対応表

*はエラー種類によって異なります。

キャリッジ系エラー	11**
メディア送り系エラー	12**,15A*,161*
電気回路系エラー	00**,13**,1A**,1F**,20**,3000,Dx**,Fx**
インクシステム系エラー	14**,162*
部品寿命到達	110*, 143*
メカニカル系エラー	15**
ヒーター系エラー	19**

トラブルシューティング

印刷できない（プリンターが動かない）

電源が入らない

■ **電源プラグがコンセントまたは本機から抜けていませんか？**
差し込みが浅くないか、斜めになっていないかを確認し、しっかりと差し込んでください。

■ **電源コンセントに問題がありませんか？**
ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

プリンターとコンピューターの接続に異常がある

■ **ケーブルが外れていませんか？**
プリンター側のコネクターとコンピューター側のコネクターにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

■ **コンピューターの仕様が、それぞれのケーブルの接続条件を満たしていますか？**
インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピューターの種類や本機の仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。
☞「仕様一覧」115 ページ

■ **USB ハブを使用している場合、使い方は正しいですか？**
USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機はコンピューターに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続することをお勧めします。お使いのハブによっては動作が不安定になることがあります。動作が不安定なときは、コンピューターの USB ポートに USB ケーブルを直接接続してください。

■ **USB ハブが正しく認識されていますか？**
コンピューターで USB ハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピューターの USB ポートから、USB ハブを全て外してから、本機の USB ポートとコンピューターの USB ポートに直接接続してみてください。USB ハブの動作に関しては、USB ハブのメーカーにお問い合わせください。

ネットワーク環境下で印刷ができない

■ **ネットワークの設定は正しいですか？**
ネットワークの設定については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

■ **本機とコンピューターを USB 接続して、印刷してみてください。**
USB の接続で印刷ができるのであれば、ネットワークの環境に問題があります。システム管理者に相談するか、お使いのシステムのマニュアルをご覧ください。USB 接続で印刷ができないときは、本書の該当項目をご覧ください。

プリンター側でエラーが発生している

■ **操作パネルのランプ表示と画面のメッセージで確認します。**
☞「操作パネル」15 ページ
☞「メッセージが表示されたとき」101 ページ

プリンターは動くが印刷されない

プリントヘッドは動くが印刷しない

■ **本機の動作確認をしてください。**
チェックパターンを印刷してください。チェックパターンはコンピューターと接続していない状態で印刷できるため、本機の動作や印刷状態を確認できます。☞「ノズルの目詰まりチェック」68 ページ
チェックパターンが正しく印刷されなかったときは、次項をご確認ください。

■ **操作パネルの画面に［モーター自動調整中］というメッセージが表示されていませんか？**
内部のモーターを調整していますので、電源を切らずにそのままお待ちください。

チェックパターンが正常に印刷できない

■ ヘッドクリーニングを行ってください。

ノズルが目詰まりしている可能性があります。ヘッドクリーニングを行ってから再度チェックパターンを印刷してください。

☞「ヘッドクリーニングの方法」70 ページ

■ 本機を長期間使用していなかったのではありませんか？

本機を長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。本機を長期間使用しなかったときの処置 ☞「使用しないときのご注意」20 ページ

印刷品質/印刷結果のトラブル

印刷品質が悪い/ムラがある/薄い/濃い

■ プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質が悪くなります。チェックパターンを印刷してみてください。

☞「ノズルの目詰まりチェック」68 ページ

■ ギャップ調整をしましたか？

印刷結果に粒状感やピントのずれが生じるときは、ギャップ調整を行い、印刷時のプリントヘッドのズレを調整します。

☞「印刷のズレ調整（ギャップ調整）」59 ページ

■ メディア送り補正をしましたか？

メディア送り量が大きくずれると、印刷結果にバンディング（水平方向の帯状の模様や色ムラ、スジ）が発生します。使用するメディアに応じてメディア送り補正をしてください。

☞「メディア送り補正」55 ページ

■ インクカートリッジは推奨品（当社純正品）を使用していますか？

本機は、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インク残量が正常に検出できなくなったりして色合いが変わることがあります。必ず正しいインクカートリッジを使用してください。

■ 古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。インクカートリッジは、個装箱に記載された推奨使用期限か、インクカートリッジの袋を開封した日から 6 ヵ月のうち早いほうの期限までに使い切ってください。

■ ヒーターの温度は適切ですか？

印刷がにじんで汚れたり、インクがだまになったりするときは、ヒーターの温度を上げます。ただし、温度を高くしすぎると、メディアが縮んでしわが寄ったり、変質したりします。
なお、室温が低いとヒーターが設定温度まで達するのに時間がかかることがあります。また、ヒーターは温まっていても、メディアが冷えすぎているとヒーターの効果が出ないことがあります。メディアを室温になじませてから使用してください。

■ メディア選択は正しいですか？

ソフトウェア RIP の設定または本機のメディア選択が実際に印刷するメディアと合っているか確認してください。

■ ［ヘッド移動量］を［データ幅］に設定して印刷していませんか？

設定メニューで［ヘッド移動量］を［データ幅］に設定すると、速度と引き替えに印刷品質が多少低下することがあります。より高品質な印刷を行うときは、［ヘッド移動量］を［プリンター全幅］に設定してください。

☞「プリンター設定メニュー」95 ページ

■ ディスプレイの表示と印刷結果を比較していませんか？

ディスプレイ表示とプリンターで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

■ 印刷中にカバーを開けませんでしたか？

印刷中に前面カバーやメンテナンスカバーを開けると、プリントヘッドが緊急停止するために色ムラが発生します。印刷中はカバーを開けないでください。

■ 操作パネルの画面に［インクが少なくなりました。］と表示されていませんか？

インクが少なくなると、印刷品質に影響が出ることがあります。新しいインクカートリッジに交換することをお勧めします。インクカートリッジを交換しても色味が合わないときは、ヘッドクリーニングを数回実施してください。

■ **ホワイトまたはメタリックシルバーインクで印刷していますか？**

ホワイトおよびメタリックシルバーインクが沈降（成分が液の底に沈んでたまること）している可能性があります。インクカートリッジを取り出してよく振ってから、［インク循環］を数回してください。
それでも改善されないときは、［WH、MS インクリフレッシュ］または［WH、WH インクリフレッシュ］を実施してください。
振り方 ☞「交換方法」84 ページ
☞「リフレッシュ」70 ページ

印刷位置がずれる/はみ出す

■ **メディアのセット位置やマージンの設定は正しいですか？**

メディアを正しくセットしていないと印刷位置がずれたり、データの一部が印刷されなかったりします。また、設定メニューの［サイドマージン］や［印刷開始位置］の設定が適切かを確認してください。
☞「メディアのセット方法（SC-S70650、SC-S50650 の場合）」27 ページ
☞「メディアのセット方法（SC-S30650 の場合）」36 ページ
☞「プリンター設定メニュー」95 ページ

■ **メディアが斜行していませんか？**

設定メニューの［斜行エラー検出］が［OFF］になっているとメディアが斜行していても印刷してしまい、印刷領域からはみ出します。設定メニューで［斜行エラー検出］を［ON］に設定してください。
☞「プリンター設定メニュー」95 ページ

■ **印刷データはメディア幅に納まっていますか？**

印刷イメージがメディア幅より大きい場合、通常は印刷が停止しますが、設定メニューの［メディア幅検出］が［OFF］になっているとメディア幅を超えて印刷してしまいます。設定メニューで［メディア幅検出］を［ON］に設定してください。
☞「プリンター設定メニュー」95 ページ

罫線が左右にガタガタになる

■ **プリントヘッドにズレ（ギャップ）が生じていませんか？（双方向印刷時）**

双方向印刷では、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷します。このとき、プリントヘッドのズレ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷されることがあります。双方向印刷をしていて縦の罫線がずれるときは、ギャップ調整をしてください。
☞「印刷のズレ調整（ギャップ調整）」59 ページ

印刷面がこすれる/汚れる

■ **メディアが厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？**

本機で使用できる仕様のメディアかどうかを確認してください。ソフトウェア RIP を使用して印刷するときのメディアの種類や適切な設定に関する情報は、RIP の製造元にお問い合わせください。

■ **メディアが波打っていませんか？**

メディアによっては使用環境（温度や湿度）により、本機にセットしたままにしていると波打つことがあります。メディアが波打ったときは、操作パネルの【▼】ボタンを押してメディアを送り、波打っている部分を避けて印刷してください。メディアが波打つのを避けるために、温度と湿度を下げることをお勧めします。

■ **メディアにしわや折り目がありませんか？**

メディアにしわや折り目があると、プラテンから浮いた状態になりプリントヘッドとこすれて汚れたり色のムラが生じます。

■ **ワイパーやキャップ、プリントヘッドが汚れていませんか？**

ワイパーやキャップ、プリントヘッドの周りにインクの固まりや糸くずなどが付いているとインクが垂れて汚れることがあります。各部を清掃してください。
☞「定期メンテナンス」71 ページ

■ **プリントヘッドが印刷面をこすっていませんか？**

メディアの印刷面をこすってしまうときには、設定メニューの［プラテンギャップ設定］をメディアに応じて変更してください。
［メディアテンション］を大きくすることで改善することもあります。
☞「プラテンギャップ設定」56 ページ
☞「メディアテンション」58 ページ

メディアのトラブル

メディアにしわが発生する

■ **設定メニューの［メディアテンション］や［印刷時のメディア送り速度］の設定は適切ですか？**

印刷するメディアに応じて、適切に設定されていないと、印刷中にメディアにしわが寄ったり破れることがあります。

☞「メディアテンション」58 ページ
☞「印刷時のメディア送り速度」58 ページ

■ **ヒーターの温度が高すぎませんか？**

ヒーターは、メディアに適した温度設定にしてください。

■ **設定メニューの［テンション測定］を［OFF］にしてみてください。**

メディアによってはテンションを適正に保つための自動テンション測定機能がうまく働かずに弛むなどして正常に印刷できないことがあります。

☞「テンション測定」57 ページ

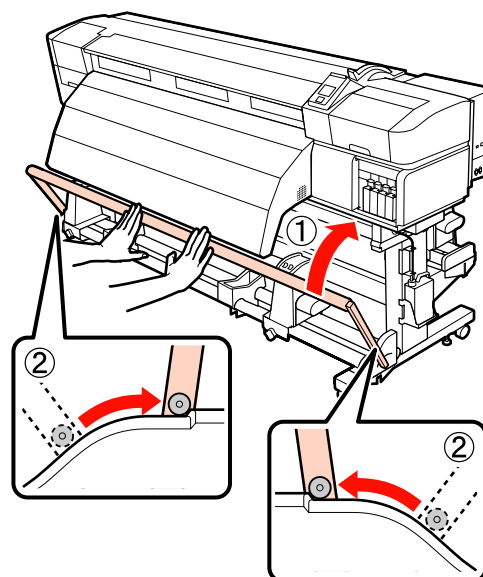
■ **テンショナーがゆがんでいませんか？**

テンショナーに過度の力が加わるとゆがむことがあります。ゆがんだままメディアを巻き取ると、メディアにしわが寄ったり破れることがあります。
テンショナーにゆがみがあるときは、以下のゆがみの直し方を試してみてください。

テンショナーのゆがみの直し方

本体に付属の部品（6 個）を取り付けていたときは、外してからゆがみを直してください。

① テンショナーを本体側に押しつけます。

② テンショナーの両端下部の内側に付いている突起が、ケースに当たるまで押し込みます。

メディア詰まりが起きる

■ **しわや反りのあるメディアをセットしていませんか？**

強くカールしたメディアや先端が折れ曲がっているメディア、しわのあるメディアは、メディア詰まりやメディア送り不具合の元となります。使わないでください。

■ **メディアが厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？**

本機で使用できる仕様のメディアか確認してください。ソフトウェア RIP を使用して印刷するときのメディアの種類や適切な設定に関する情報は、RIP の製造元にお問い合わせください。

■ **吸着力が強くないですか？**

吸着力（メディア経路にメディアを吸着する力）を下げてみてください。☞「吸着力」57 ページ

メディアが終了しても印刷が停止しない

■ 設定メニューの［テンション測定］が［OFF］になっていませんか？

通常は［テンション測定］を［定期］に設定してください。

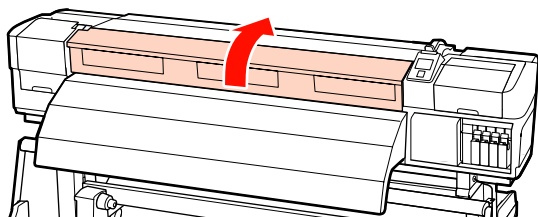
☞「テンション測定」57 ページ

詰まったメディアの取り除き方

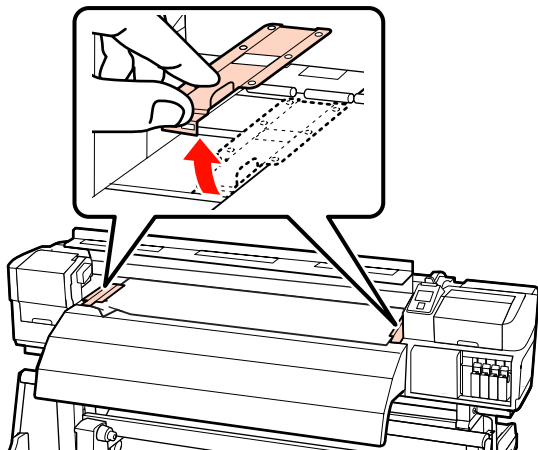
以下の手順で詰まったメディアを取り除いてください。

⚠注意

前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。

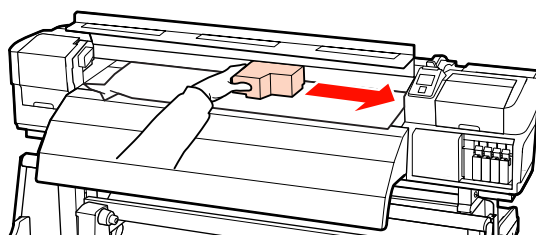
1 前面カバーを開けます。

2 本機の電源を切ります。

画面にメッセージが表示され、電源が切れないときは電源プラグを 2 つとも、コンセントから抜いてください。

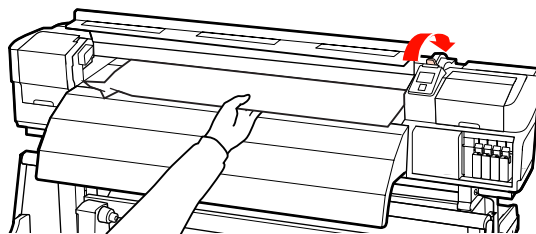
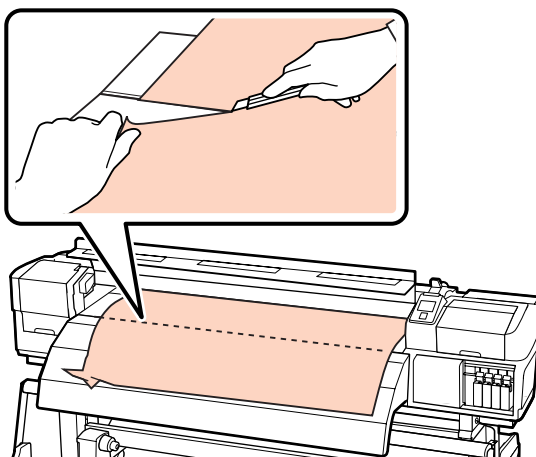
3 メディア押さえ板を取り付けているときは両側とも取り外します。

!重要

メディア押さえ板が変形したときは、本機の使用を停止してください。メディア押さえ板が変形したまま使い続けると、加圧ローラーやプリントヘッドが損傷する原因となります。
お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにお問い合わせください。

☞「お問い合わせ先」119 ページ

4 プリントヘッドがメディア上にあるときは、メディアが詰まっていない方に移動します。

!重要

プリントヘッドは、必ずメディア押さえ板を取り外してから移動してください。変形したメディア押さえ板にプリントヘッドが触れると、プリントヘッドが損傷することがあります。

5 メディアセットレバーを上げます。

6 メディアをカッター溝まで引き出し、破れたりしわになっている部分をカッターでカットします。

7 切り離したメディアを手で巻き戻します。

8 メディアの一部がプリンター内に残っているときは、取り除きます。

9 本機の電源を入れます。

> **!重要**
>
> 電源を切った状態で放置すると、プリントヘッドがキャッピングされていないために乾燥して目詰まりを起こし、印刷再開時に正しく印刷できません。
> 電源を入れると、自動的にキャッピングが行われます。

メディアをセットし直して印刷を再開してください。

☞「メディアのセット方法（SC-S70650、SC-S50650 の場合）」27 ページ
☞「メディアのセット方法（SC-S30650 の場合）」36 ページ

その他

自動的にヒーターが OFF になったりオプションの外付け乾燥ファンユニットが止まる

■ 本機にエラーが発生していない状態で、印刷ジョブの受信が何も行われない状態が続いたときは、プリヒーター、プラテンヒーター、アフターヒーターがオフになります。ヒーターを OFF に移行するまでの時間は、設定メニューの［ヒーターオフタイマー］で変更できます。
☞「プリンター設定メニュー」95 ページ
印刷ジョブを受け付けたり、メディアセットレバーを操作するなど、ハードウェア動作を伴う操作をするとヒーターは復帰します。
なお外付け乾燥ファンユニットは、SC-S50650 には標準で装備しています。

操作パネルの画面表示が消える

■ **スリープモードになっていませんか？**
［ヒーターオフタイマー］により、ヒーターが OFF になると連動してスリープモードになります。ヒーターが OFF に移行する時間はプリンター設定メニューで変更できます。
☞「プリンター設定メニュー」95 ページ
印刷ジョブを受け付けたり、メディアセットレバーを操作するなど、ハードウェア動作を伴う操作をするとヒーターが復帰し、連動してスリープモードも解除されます。

本体内部が赤く光っている

■ **この状態は故障ではありません。**
プリンター内部のランプです。

お問い合わせいただく前に

トラブルが発生したときは、以下をご確認いただくと解消できることがあります。

エプソンのホームページの Q&A

エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）では、お問い合わせの多い内容を Q&A 形式でご紹介しています。トラブルや疑問の解消にお役立てください。

ファームウェアのバージョンアップ

エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）では最新のファームウェアのバージョンアップ情報を提供しています。
ファームウェアのアップデートは LFP リモートパネル 2 で簡単に行えます。詳細は LFP リモートパネル 2 のヘルプをご覧ください。

トラブルが解消されないときは

「困ったときは」の内容やエプソンのホームページで確認をしても、トラブルが解消されないときは、本機の動作確認をした上でトラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先に連絡ください。
☞「サービス・サポートのご案内」117 ページ

付録

消耗品とオプション

本機で使用できる消耗品、オプションは以下の通りです。（2012 年 4 月現在）
最新の情報は、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）をご覧ください。

インクカートリッジ*

プリンター型番	商品名		型番
SC-S70650	インクカートリッジ	ブラック	SC3BK70
		シアン	SC3C70
		マゼンタ	SC3M70
		イエロー	SC3Y70
		ライトシアン	SC3LC70
		ライトマゼンタ	SC3LM70
		グレー	SC3GY70
		オレンジ	SC3OR70
		ホワイト	SC3WW60
		メタリックシルバー	SC3MT35
SC-S50650	インクカートリッジ	ブラック	SC2BK70
		シアン	SC2C70
		マゼンタ	SC2M70
		イエロー	SC2Y70
		ホワイト	SC3WW60
SC-S30650	インクカートリッジ	ブラック	SC2BK70
		シアン	SC2C70
		マゼンタ	SC2M70
		イエロー	SC2Y70

＊プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

☞「交換方法」84 ページ

その他

商品名	型番	備考
クリーニングカートリッジ	SC2CLL	プリントヘッド洗浄時に使用します。
メンテナンスキット	SC2MKIT	メンテナンス作業で必要となる、クリーニング棒と手袋、ワイパー、ワイパークリーナー、フラッシング用吸収材のセットです。 ☞「定期メンテナンス」71 ページ
インククリーナー	SC2CLN	ワイパーのレールやプリントヘッドの周囲の清掃時にから拭きしただけでは取れないインク汚れがあるときに使用します。 ☞「定期メンテナンス」71 ページ
廃インクボトル	SC2WIB	製品付属の廃インクボトルと同等品です。
USB ケーブル＊	USBCB2	Hi-Speed USB/USB に対応しています。
外付け乾燥ファンユニット	OPDFUN	ファンで風を送りインクの乾燥を補助します。SC-S50650 は標準で装備しています。 ☞「メディア管理メニュー」91 ページ
重量メディアユニット	HVMEUN	80kg までの重量メディアに対応した、メディア搬送ユニットと自動巻取りユニットです。

＊ USB 接続時に USB ハブ（複数の USB 機器を接続するための中継機）を使用するときは、コンピューターと直接接続している 1 段目の USB ハブに接続することをお勧めします。お使いの USB ハブによっては動作が不安定になることがあります。動作が不安定なときは、コンピューターの USB ポートに USB ケーブルを直接接続してください。

使用可能なメディア

本機で使用できるメディアの仕様は、以下の通りです。メディアの種類および品質は、印刷結果に大きく影響します。用途に合った適切なメディアをお使いください。また、使用の際の注意事項はそのメディアに付属のマニュアルをご覧になるか、メーカーに詳細をお問い合わせください。メディアを大量に購入する際は、事前にそのメディアに印刷したときの仕上がり具合を確認しておくことをお勧めします。

!重要

しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのあるメディアは使用しないでください。

レイヤー印刷時はターポリン、キャンバスなど対応できないメディアがあります。

標準メディアユニット装着時

紙管サイズ（芯径）	2 インチ、3 インチ
ロール外径	最大 300mm
メディア幅	300＊～1626mm（64 インチ）
メディア厚さ	最大 1mm
ロール重量	最大 40kg

＊レイヤー印刷時は 508mm からになります。
レイヤー印刷 ☞「高画質印刷」18 ページ

重量メディアユニット装着時

紙管サイズ（芯径）	2 インチ、3 インチ
ロール外径	最大 300mm
メディア幅	300＊～1626mm（64 インチ）
メディア厚さ	最大 1mm
ロール重量	最大 80kg

＊レイヤー印刷時は 508mm からになります。
レイヤー印刷 ☞「高画質印刷」18 ページ

移動と輸送

ここでは、本機を移動または輸送する方法について説明します。

移動の方法

ここでは、段差のない同一フロア内を移動する方法を説明します。別の階や建物に移動する方法は、以下をご覧ください。
☞「輸送の方法」114 ページ

⚠注意

本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故のおそれがあります。

!重要

インクカートリッジを取り外さないでください。プリントヘッドノズルが乾燥することがあります。

移動の準備

1. 本機の電源が切れていることを確認します。

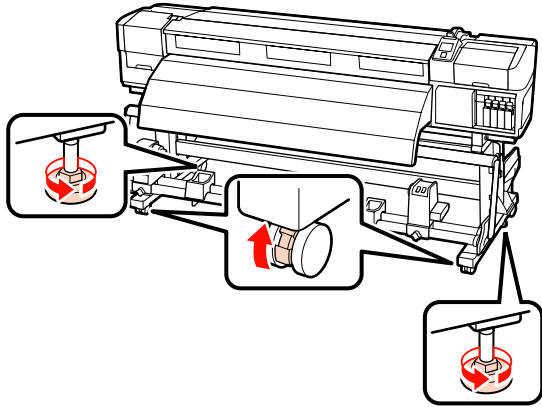
2. 廃インクボトルを取り外します。

   ☞「廃インクボトルの交換」78 ページ

3. 電源コードなど、全ての配線を取り外します。

4. メディア搬送ユニットと自動巻取りユニットからメディアを取り外します。

5 スタンドのロックを解除します。

左右の脚部のキャスターのロックを外し、固定具をしっかり上げてください。

6 本機を移動します。

> **重要**
>
> 専用スタンドのキャスターは、室内の平らな床を短い距離だけ移動するために使用します。輸送のためには、使用できません。

移動後の本機の設定

移動後は、次の手順に従い使用可能な状態にします。

1 設置に適した場所か確認します。

『セットアップガイド』(冊子)

2 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。

『セットアップガイド』(冊子)

3 ノズルチェックを実行して、ノズルの目詰まりがないか確認します。

「ノズルの目詰まりチェック」68 ページ

4 ギャップ調整を実行して、印刷品質を確認します。

「ギャップ調整」56 ページ

輸送の方法

本機を輸送するときは、お買い求めの販売店またはエプソンインフォメーションセンターにご相談ください。
エプソンサービスコールセンターの連絡先 「お問い合わせ先」119 ページ

システム条件

ご使用のソフトウェア RIP のマニュアルでご確認ください。

仕様一覧

本体仕様	
印字方式	オンデマンドインクジェット方式
ノズル配列	SC-S70650: 360 ノズル×2 列×10 色（メタリックシルバー、グレー、ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、オレンジ、ライトシアン、ライトマゼンタ、ホワイト） SC-S50650: 360 ノズル×2×2 列×5 色（ホワイト、ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー） SC-S30650: 360 ノズル×2 列×4 色（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー）
解像度（最大）	1440×1440dpi
コントロールコード	ESC/P ラスター（コマンドは非公開）
紙送り方式	フリクションフィード
内蔵メモリー	メイン用 512MB ネットワーク用 128MB
インターフェイス	High Speed USB 100Base-TX/1000Base-T＊1
定格電圧 （＃1、＃2、＃3＊2）	AC100-120V AC200-240V
定格周波数 （＃1、＃2、＃3＊2）	50-60Hz
定格電流（＃1、＃2）	10A (AC100-120V) 5A (AC200-240V)
定格電流（＃3＊2）	1A (AC100-120V) 0.5A (AC200-240V)

本体仕様	
消費電力	SC-S70650（＃1、＃2 の合計） 動作時:約 800W レディー時:約 580W スリープモード時:約 12W 電源オフ時:0.6W 以下
	SC-S50650（＃1、＃2、＃3＊2 の合計） 動作時:約 895W レディー時:約 775W スリープモード時:約 14W 電源オフ時:0.9W 以下
	SC-S30650（＃1、＃2 の合計） 動作時:約 650W レディー時:約 520W スリープモード時:約 10W 電源オフ時:0.6W 以下
温度	動作時:15～35℃（20～32℃を推奨） 保管時: -20～40℃（40℃の場合 1 ヵ月以内）
湿度	動作時:20～80%（40～60%を推奨）（結露しないこと） 保管時:5～85%（結露しないこと）
外形サイズ	収納時（最小）:幅 2620×奥行き 963×高さ 1311mm 最大時:幅 2620×奥行き 1259×高さ 1650mm
質量＊3	SC-S70650:約 229kg SC-S50650:約 238kg SC-S30650:約 219kg

＊1 シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5 以上）を使用してください。
＊2 SC-S50650 に付属の外付け乾燥ファンユニット
＊3 標準メディアユニット装着時、インクカートリッジ含まず

インク仕様	
形態	専用インクカートリッジ
顔料インク	SC-S70650： メタリックシルバー、グレー、ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、オレンジ、ライトシアン、ライトマゼンタ、ホワイト SC-S50650： ホワイト、ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー SC-S30650： ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー
有効期限	個装箱、カートリッジに記載された期限（常温で保管）
印刷品質保証期限	6 ヵ月（インクカートリッジの袋を開封した日から）
保管温度	梱包保管時： -20～40℃（40℃の場合 1 ヵ月以内） 本体装着時： -10～40℃（40℃の場合 4 日以内） 梱包輸送時： -20～60℃（40℃の場合 1 ヵ月以内、60℃の場合 72 時間以内）
カートリッジ外形寸法	幅 40×長さ 305×高さ 110mm
容量	ホワイト：600ml メタリックシルバー：350ml その他の色：700ml

！重要

インクを詰め替えないでください。

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。
☞「お問い合わせ先」119 ページ

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。
☞「困ったときは」101 ページ

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。
改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター
  ☞「お問い合わせ先」119 ページ

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

- 交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
  年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります。（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料についても有償となります。）
- 本機は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代・部品代＊は無償になるため予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料+技術料+部品代 修理完了後そのつどお支払いください。

＊ 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は、保守対象外となります。

!重要

エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。
エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年)、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、つど修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

お問い合わせ先

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認下さい。http://www.epson.jp/support/

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター:0263-86-7660　・東京修理センター:042-584-8070
・鳥取修理センター:0857-77-2202　・福岡修理センター:092-622-8922

●引取修理サービス（ドアtoドアサービス）に関するお問い合わせ先

＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)受付電話　**050-3155-7150**　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00(弊社指定休日含む)および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通航空で代行いたします。
＊引取修理サービス(ドアtoドアサービス)について詳しくは、エプソンのホームページ でご確認下さい。http://www.epson.jp/support/
＊年末年始(12/30～1/3)の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソンインフォメーションセンター

製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8066　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30　(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8582へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30　(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム

＊詳細はホームページでもご確認いただけます。　http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日　9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!	**http://myepson.jp/**

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト(ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料0120-545-101)でお買い求め下さい。(2011年5月現在)

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス(インク)2011. 05

製品に関する諸注意と適合規格

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

液晶ディスプレイについて

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

プリンター本体の廃棄

事業所など業務でお使いのときは、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。
一般家庭でお使いのときは、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など
以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

Info-ZIP copyright and license

This is version 2007-Mar-4 of the Info-ZIP license.
The definitive version of this document should be available at ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html indefinitely and a copy at http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "P ocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

Bonjour

This printer product includes the open source software programs which apply the Apple Public Source License Version1.2 or its latest version ("Bonjour Programs").
We provide the source code of the Bonjour Programs pursuant to the Apple Public Source License Version1.2 or its latest version until five (5) years after the discontinuation of same model of this printer product. If you desire to receive the source code of the Bonjour Programs, please see the "Contacting Customer Support" in Appendix or Printing Guide of this User's Guide, and contact the customer support of your region.
You can redistribute Bonjour Programs and/or modify it under the terms of the Apple Public Source License Version1.2 or its latest version

These Bonjour Programs are WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.
The Apple Public Source License Version1.2 is as follows.
You also can see the Apple Public Source License Version1.2 at
http://www.opensource.apple.com/apsl/.

APPLE PUBLIC SOURCE LICENSE
Version 2.0 - August 6, 2003

1. General; Definitions. This License applies to any program or other work which Apple Computer, Inc. ("Apple") makes publicly available and which contains a notice placed by Apple identifying such program or work as "Original Code" and stating that it is subject to the terms of this Apple Public Source License version 2.0 ("License"). As used in this License:

1.1 "Applicable Patent Rights" mean: (a) in the case where Apple is the grantor of rights, (i) claims of patents that are now or hereafter acquired, owned by or assigned to Apple and (ii) that cover subject matter contained in the Original Code, but only to the extent necessary to use, reproduce and/or distribute the Original Code without infringement; and (b) in the case where You are the grantor of rights, (i) claims of patents that are now or hereafter acquired, owned by or assigned to You and (ii) that cover subject matter in Your Modifications, taken alone or in combination with Original Code.

1.2 "Contributor" means any person or entity that creates or contributes to the creation of Modifications.

1.3 "Covered Code" means the Original Code, Modifications, the combination of Original Code and any Modifications, and/or any respective portions thereof.

1.4 "Externally Deploy" means: (a) to sublicense, distribute or otherwise make Covered Code available, directly or indirectly, to anyone other than You; and/or (b) to use Covered Code, alone or as part of a Larger Work, in any way to provide a service, including but not limited to delivery of content, through electronic communication with a client other than You.

1.5 "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.

1.6 "Modifications" mean any addition to, deletion from, and/or change to, the substance and/or structure of the Original Code, any previous Modifications, the combination of Original Code and any previous Modifications, and/or any respective portions thereof. When code is released as a series of files, a Modification is: (a) any addition to or deletion from the contents of a file containing Covered Code; and/or (b) any new file or other representation of computer program statements that contains any part of Covered Code.

1.7 "Original Code" means (a) the Source Code of a program or other work as originally made available by Apple under this License, including the Source Code of any updates or upgrades to such programs or works made available by Apple under this License, and that has been expressly identified by Apple as such in the header file(s) of such work; and (b) the object code compiled from such Source Code and originally made available by Apple under this License

1.8 "Source Code" means the human readable form of a program or other work that is suitable for making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated interface definition files, scripts used to control compilation and installation of an executable (object code).

1.9 "You" or "Your" means an individual or a legal entity exercising rights under this License. For legal entities, "You" or "Your" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with, You, where "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. Permitted Uses; Conditions & Restrictions. Subject to the terms and conditions of this License, Apple hereby grants You, effective on the date You accept this License and download the Original Code, a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, to the extent of Apple's Applicable Patent Rights and copyrights covering the Original Code, to do the following:

2.1 Unmodified Code. You may use, reproduce, display, perform, internally distribute within Your organization, and Externally Deploy verbatim, unmodified copies of the Original Code, for commercial or non-commercial purposes, provided that in each instance:
(a) You must retain and reproduce in all copies of Original Code the copyright and other proprietary notices and disclaimers of Apple as they appear in the Original Code, and keep intact all notices in the Original Code that refer to this License; and
(b) You must include a copy of this License with every copy of Source Code of Covered Code and documentation You distribute or Externally Deploy, and You may not offer or impose any terms on such Source Code that alter or restrict this License or the recipients' rights hereunder, except as permitted under Section 6.

2.2 Modified Code. You may modify Covered Code and use, reproduce, display, perform, internally distribute within Your organization, and Externally Deploy Your Modifications and Covered Code, for commercial or non-commercial purposes, provided that in each instance You also meet all of these conditions:
(a) You must satisfy all the conditions of Section 2.1 with respect to the Source Code of the Covered Code;
(b) You must duplicate, to the extent it does not already exist, the notice in Exhibit A in each file of the Source Code of all Your Modifications, and cause the modified files to carry prominent notices stating that You changed the files and the date of any change; and
(c) If You Externally Deploy Your Modifications, You must make Source Code of all Your Externally Deployed Modifications either available to those to whom You have Externally Deployed Your Modifications, or publicly available. Source Code of Your Externally Deployed Modifications must be released under the terms set forth in this License, including the license grants set forth in Section 3 below, for as long as you Externally Deploy the Covered Code or twelve (12) months from the date of initial External Deployment, whichever is longer. You should preferably distribute the Source Code of Your Externally Deployed Modifications electronically (e.g. download from a web site).

2.3 Distribution of Executable Versions. In addition, if You Externally Deploy Covered Code (Original Code and/or Modifications) in object code, executable form only, You must include a prominent notice, in the code itself as well as in related documentation, stating that Source Code of the Covered Code is available under the terms of this License with information on how and where to obtain such Source Code.

2.4 Third Party Rights. You expressly acknowledge and agree that although Apple and each Contributor grants the licenses to their respective portions of the Covered Code set forth herein, no assurances are provided by Apple or any Contributor that the Covered Code does not infringe the patent or other intellectual property rights of any other entity. Apple and each Contributor disclaim any liability to You for claims brought by any other entity based on infringement of intellectual property rights or otherwise. As a condition to exercising the rights and licenses granted hereunder, You hereby assume sole responsibility to secure any other intellectual property rights needed, if any. For example, if a third party patent license is required to allow You to distribute the Covered Code, it is Your responsibility to acquire that license before distributing the Covered Code.

3. Your Grants. In consideration of, and as a condition to, the licenses granted to You under this License, You hereby grant to any person or entity receiving or distributing Covered Code under this License a non-exclusive, royalty-free, perpetual, irrevocable license, under Your Applicable Patent Rights and other intellectual property rights (other than patent) owned or controlled by You, to use, reproduce, display, perform, modify, sublicense, distribute and Externally Deploy Your Modifications of the same scope and extent as Apple's licenses under Sections 2.1 and 2.2 above.

4. Larger Works. You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In each such instance, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code or any portion thereof.

5. Limitations on Patent License. Except as expressly stated in Section 2, no other patent rights, express or implied, are granted by Apple herein. Modifications and/or Larger Works may require additional patent licenses from Apple which Apple may grant in its sole discretion.

6. Additional Terms. You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations and/or other rights consistent with the scope of the license granted herein ("Additional Terms") to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf and as Your sole responsibility, and not on behalf of Apple or any Contributor. You must obtain the recipient's agreement that any such Additional Terms are offered by You alone, and You hereby agree to indemnify, defend and hold Apple and every Contributor harmless for any liability incurred by or claims asserted against Apple or such Contributor by reason of any such Additional Terms.

7. Versions of the License. Apple may publish revised and/or new versions of this License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number. Once Original Code has been published under a particular version of this License, You may continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Original Code under the terms of any subsequent version of this License published by Apple. No one other than Apple has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License.

8. NO WARRANTY OR SUPPORT. The Covered Code may contain in whole or in part pre-release, untested, or not fully tested works. The Covered Code may contain errors that could cause failures or loss of data, and may be incomplete or contain inaccuracies. You expressly acknowledge and agree that use of the Covered Code, or any portion thereof, is at Your sole and entire risk. THE COVERED CODE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT WARRANTY, UPGRADES OR SUPPORT OF ANY KIND AND APPLE AND APPLE'S LICENSOR(S) (COLLECTIVELY REFERRED TO AS "APPLE" FOR THE PURPOSES OF SECTIONS 8 AND 9) AND ALL CONTRIBUTORS EXPRESSLY DISCLAIM ALL WARRANTIES AND/OR CONDITIONS, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES AND/OR CONDITIONS OF MERCHANTABILITY, OF SATISFACTORY QUALITY, OF FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OF ACCURACY, OF QUIET ENJOYMENT, AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. APPLE AND EACH CONTRIBUTOR DOES NOT WARRANT AGAINST INTERFERENCE WITH YOUR ENJOYMENT OF THE COVERED CODE, THAT THE FUNCTIONS CONTAINED IN THE COVERED CODE WILL MEET YOUR REQUIREMENTS, THAT THE OPERATION OF THE COVERED CODE WILL BE UNINTERRUPTED OR ERROR-FREE, OR THAT DEFECTS IN THE COVERED CODE WILL BE CORRECTED. NO ORAL OR WRITTEN INFORMATION OR ADVICE GIVEN BY APPLE, AN APPLE AUTHORIZED REPRESENTATIVE OR ANY CONTRIBUTOR SHALL CREATE A WARRANTY. You acknowledge that the Covered Code is not intended for use in the operation of nuclear facilities, aircraft navigation, communication systems, or air traffic control machines in which case the failure of the Covered Code could lead to death, personal injury, or severe physical or environmental damage.

9. LIMITATION OF LIABILITY. TO THE EXTENT NOT PROHIBITED BY LAW, IN NO EVENT SHALL APPLE OR ANY CONTRIBUTOR BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF OR RELATING TO THIS LICENSE OR YOUR USE OR INABILITY TO USE THE COVERED CODE, OR ANY PORTION THEREOF, WHETHER UNDER A THEORY OF CONTRACT, WARRANTY, TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), PRODUCTS LIABILITY OR OTHERWISE, EVEN IF APPLE OR SUCH CONTRIBUTOR HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES AND NOTWITHSTANDING THE FAILURE OF ESSENTIAL PURPOSE OF ANY REMEDY. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE LIMITATION OF LIABILITY OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THIS LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU. In no event shall Apple's total liability to You for all damages (other than as may be required by applicable law) under this License exceed the amount of fifty dollars ($50.00).

10. Trademarks. This License does not grant any rights to use the trademarks or trade names "Apple", "Apple Computer", "Mac", "Mac OS", "QuickTime", "QuickTime Streaming Server" or any other trademarks, service marks, logos or trade names belonging to Apple (collectively "Apple Marks") or to any trademark, service mark, logo or trade name belonging to any Contributor. You agree not to use any Apple Marks in or as part of the name of products derived from the Original Code or to endorse or promote products derived from the Original Code other than as expressly permitted by and in strict compliance at all times with Apple's third party trademark usage guidelines which are posted at http://www.apple.com/legal/guidelinesfor3rdparties.html.

11. Ownership. Subject to the licenses granted under this License, each Contributor retains all rights, title and interest in and to any Modifications made by such Contributor. Apple retains all rights, title and interest in and to the Original Code and any Modifications made by or on behalf of Apple ("Apple Modifications"), and such Apple Modifications will not be automatically subject to this License. Apple may, at its sole discretion, choose to license such Apple Modifications under this License, or on different terms from those contained in this License or may choose not to license them at all.

12. Termination.

12.1 Termination. This License and the rights granted hereunder will terminate:
(a) automatically without notice from Apple if You fail to comply with any term(s) of this License and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of such breach;
(b) immediately in the event of the circumstances described in Section 13.5(b); or
(c) automatically without notice from Apple if You, at any time during the term of this License, commence an action for patent infringement against Apple; provided that Apple did not first commence an action for patent infringement against You in that instance.

12.2 Effect of Termination. Upon termination, You agree to immediately stop any further use, reproduction, modification, sublicensing and distribution of the Covered Code. All sublicenses to the Covered Code which have been properly granted prior to termination shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, should remain in effect beyond the termination of this License shall survive, including but not limited to Sections 3, 5, 8, 9, 10, 11, 12.2 and 13. No party will be liable to any other for compensation, indemnity or damages of any sort solely as a result of terminating this License in accordance with its terms, and termination of this License will be without prejudice to any other right or remedy of any party.

13. Miscellaneous.

13.1 Government End Users. The Covered Code is a "commercial item" as defined in FAR 2.101. Government software and technical data rights in the Covered Code include only those rights customarily provided to the public as defined in this License. This customary commercial license in technical data and software is provided in accordance with FAR 12.211 (Technical Data) and 12.212 (Computer Software) and, for Department of Defense purchases, DFAR 252.227-7015 (Technical Data -- Commercial Items) and 227.7202-3 (Rights in Commercial Computer Software or Computer Software Documentation). Accordingly, all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

13.2 Relationship of Parties. This License will not be construed as creating an agency, partnership, joint venture or any other form of legal association between or among You, Apple or any Contributor, and You will not represent to the contrary, whether expressly, by implication, appearance or otherwise.

13.3 Independent Development. Nothing in this License will impair Apple's right to acquire, license, develop, have others develop for it, market and/or distribute technology or products that perform the same or similar functions as, or otherwise compete with, Modifications, Larger Works, technology or products that You may develop, produce, market or distribute.

13.4 Waiver; Construction. Failure by Apple or any Contributor to enforce any provision of this License will not be deemed a waiver of future enforcement of that or any other provision. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter will not apply to this License.

13.5 Severability. (a) If for any reason a court of competent jurisdiction finds any provision of this License, or portion thereof, to be unenforceable, that provision of the License will be enforced to the maximum extent permissible so as to effect the economic benefits and intent of the parties, and the remainder of this License will continue in full force and effect. (b) Notwithstanding the foregoing, if applicable law prohibits or restricts You from fully and/or specifically complying with Sections 2 and/or 3 or prevents the enforceability of either of those Sections, this License will immediately terminate and You must immediately discontinue any use of the Covered Code and destroy all copies of it that are in your possession or control.

13.6 Dispute Resolution. Any litigation or other dispute resolution between You and Apple relating to this License shall take place in the Northern District of California, and You and Apple hereby consent to the personal jurisdiction of, and venue in, the state and federal courts within that District with respect to this License. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded.

13.7 Entire Agreement; Governing Law. This License constitutes the entire agreement between the parties with respect to the subject matter hereof. This License shall be governed by the laws of the United States and the State of California, except that body of California law concerning conflicts of law.

Where You are located in the province of Quebec, Canada, the following clause applies: The parties hereby confirm that they have requested that this License and all related documents be drafted in English.
Les parties ont exigé que le présent contrat et tous les documents connexes soient rédigés en anglais.

EXHIBIT A.